



Title	顔師古漢書音義の研究(上)
Author(s)	大島, 正二
Citation	北海道大學文學部紀要, 17(1), 45-238
Issue Date	1969-03-29
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/33331
Type	bulletin (article)
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	17(1)_PL45-238.pdf



[Instructions for use](#)

顔師古漢書音義の研究（上）

大 島 正 二

第1部 序 論

1. 1. 論文の目的と構成

本小論は、漢書に見られる師古音注を整理・考察し、其等が反映する師古の方言、即ち唐代初期の長安方言、の音韻的特徴⁽¹⁾の幾つかを明らかにすることを主要な目的とするもので、1. 序論、2. 考証、3. 本論、4. 資料、の4部より成る。⁽²⁾

1. 2. テキスト

漢書の刊本には殿本、汲古閣本等幾つか有るが、⁽³⁾この小論では主として宋版中最も信頼の置くことのできると言われる百衲本二十四史所収のもの⁽⁴⁾を用い、校書の為に王先謙の「漢書補注」⁽⁵⁾を併せ見た。以下の研究は此等二種のテキストに拠ったものである。なお、師古の漢書音義注が成ったのは前漢書敍例補注に「其敍例有云、歳在重光、律中大呂、是謂涂月、其書始就、重光是辛年、當為貞觀十五年辛丑、承乾以十七年被廢為庶人、則此書之成必在十五年矣、師古於十九年卒、年六十五、則書成時年六十一也」とあることより、貞觀十五年(641A. D.)、師古が61才の時と考えられる。

(1) この小論に於ける音韻とは字音のそれを指す。

(2) 今回は(上)として1. 序論、及び4. 資料を載せる。なお、ここで顔師古漢書音義と呼ぶのは、漢書に散見する師古の音義注の便宜的総称である。

(3) 漢書補注巻首参照。

(4) ここでは「縮印百衲本二十四史、漢書」商務印書館(1958)を用いた。以下「百衲本」と略称す。なおこれは又景祐本とも云われ、その由来等に就いては、張元濟「校史隨筆」商務印書館(1938初版、1957上海)参看。

(5) ここでは便宜上「国学基本叢書、漢書補注」商務印書館(1959)を用いた。以下「補注本」と略称す。

1. 3. 顔師古 (581~645 A. D.)

顔師古に就いては、旧唐書卷七十三本伝、及び新唐書卷百九十八本伝に見られる。ここではその詳細は省き、内、師古の方言の音韻体系を考究する上に留意すべき点を二つ程指摘するに留める。その一つは師古が長安方言の話し手であるということである。師古伝に依ると、先祖は琅邪、臨沂（山東省臨沂市）の人であるが、祖父の代から万年県（陝西省長安県）に移り、師古は長安に生まれ、そこで育った。この事から師古が純粹な長安方言の話し手と考えてまず大過ないと思われる。他の一つは、師古の祖父が北齊の黃門侍郎、顔之推であることである。之推は周知の如く、「顔氏家訓」を著して字画・音訓に就いて考正した人であり、同時に、陸法言等と共に、唐代を通じて最も重く用いられたと推察される切韻の編纂に与り、その序より察するに、かなりの発言力を有していた学者である。切韻が成ったのは隋の仁寿元年（601 A. D.）と云われるから、その時師古は既に成人であった。師古は祖父之推、或は父思魯、或は又叔父の遊秦等を通して經典に対する言語解釈の道の教えを受けたであろうし、切韻に就いての知識を有していたことは想像に難くない。以上二つの事柄は後に師古音注に映された音韻体系（の一部）を見る時、併せ考えるならば興味あるものと思われる。

1. 4. 研究の意義と方法

中国語音韻史を通観する時、唐代は重要な時期と考えられるが、その時代の音韻体系を端的に反映する韻書は散佚し、唐代音を探る最も有効な手段は失なわれている。唐代の音韻史料の特徴の一つはその質に於て多彩であるという点にあるが、殊に音義類に見られる反切資料は唐代音の体系を考究する上に充分利用さるべきである。唐代に注さ

れた音義類は黄淬伯氏の「慧琳一切経音義反切攷」⁽⁶⁾を始め、これ迄にも幾つかの研究が成されているが、未だ整理し尽されてはいない。未着手の音義類の中から師古の漢書音義をまず選んだのは、本資料が二重の意味を持つからである。一はそれが唐代の初期に成ったものであり、中国語音韻史上、唐代初期を埋める史料として重要な価値を持つと考えられることである。唐朝開創が618年、玄応音義が撰されたのは661年、720年頃慧苑音義が成り、784年に慧琳音義の作製が開始されたことを見る時、641年に成ったと言われる師古の漢書音義は他の何れよりも早い資料である。もう一つの意味は、切韻の編者の一人、顔之推を祖父と仰ぐ師古の方言の音韻的特徴と切韻系韻書の示すそれとの異同の多少が、切韻の性格、即ちそれが特定の一方言に基づいたものであるか、或は古今南北の音を折衷して作られたものであるかという、に就いて考察する一つの拠り所を与え得るのではないかと考えられることである。

1.1.に於いて述べた如く、本小論の目的は師古の方言、即ち唐代初期の長安方言、の音韻体系を知ろうとするものであるが、ただここで扱う資料が難字に対する音訓注釈という音義注の性格から分布が偏より、声韻全般を覆うだけの音注例は得られず、またその数も少ない。従ってそれだけで師古音の体系化は望むべくもない。この小論では、一つの拠り所として切韻（広韻）の体系を基準にし、その体系に従って資料を整理、対照、考察することに依り、そこに見られる音韻的特徴を

(6) 歴史語言研究所専刊之六(1931)。なお、これを補うものとして、河野六郎「慧琳一切経音義の反切の特色」中国文化研究会会報5-1(1955)がある。

(7) 周法高「玄応反切考」歴史語言研究所集刊20本上(1948)、歴史語言研究所専刊之四十七、玄応一切経音義反切考附冊「玄応一切経音義」(1962)、水谷真成「慧苑音義音韻攷—資料の分析—」大谷大学研究年報第11集(1959)、沼栄芬「《五経文字》的直音和反切」中国語文130(1964)、王顯「对《干禄字書》的一点認識」中国語文131(1964)、平山久雄「敦煌毛詩音殘卷反切の研究(上)」北海道大学文学部紀要XIV-3(1966)など。

明らかにすることにした。

資料を整理するに当って留意した点の一つは師古音が切韻（広韻）音と異なる語総てに就いて義との関連に於て検討することである。表語文字という漢字の性格を考えるなら、単に字形と音とに依って他と比較し、そこに見られる音の相異を云々するのは極めて危険なことと云わねばならない。師古音が切韻（広韻）音と異なる文字には、(1)意味上其れの仮借字と解釈され、而も師古音と同音を示す別字が求められるもの、(2)特別の読音を示すと解釈されるもの、(3)師古の方言の音韻体系と切韻（広韻）の音韻体系とのズレを示すと解釈されるもの、の三種類が大略考えられよう。(1)(2)の資料的価値は(3)とは異なるのであって、此等は明確に区別されなければならない。ここで扱う資料は幸い文脈、また或るものには義注が与えられているから其等を充分活用し、ほゞ確実に音韻体系のズレを示すと考えられる音注例を抽出し、其等と切韻系韻書を始め同時代に著わされた慧琳、その他の音義書に見られる音韻的特徴との比較を行ないながら、師古音の特徴を見ることにする。

第4部 資料

〔1〕 音注表

凡例

1. 本表は漢書に見られる師古音注(反切及び直音)を切韻(広韻)の体系を基礎として整理、配列したものである。⁽¹⁾用いる中国語音韻学の名称は通例に従う。
2. 各表の配列の方法、順序は次の通りである。
2. 1. 先ず韻類を三根谷体系⁽²⁾に準拠し、Ⅰ、Ⅱ、ⅢA、ⅢB、Ⅳの5類に大別する。内、Ⅰ、Ⅱ、Ⅳは直音類、ⅢA、ⅢBは拗音類である。

Ⅰは主母音が/a, ʌ /のグループで、東₁・冬・模・哈・泰・灰・痕・魂・寒・桓・豪・歌・戈₁・唐・侯・登・覃・談の諸韻、⁽³⁾所謂一等韻、がこれに属する。

Ⅱは主母音が/a, ɐ /のグループで、江・佳・皆・夬・刪・山・肴・麻₂・庚₂・耕・咸・銜の諸韻、所謂二等韻、がこれに属する。

ⅢAは主母音が/a, e /のグループで、支・脂・之・祭・真・臻・諄・仙・宵・麻₃・清・庚₃・幽・侵・鹽の諸韻、所謂三等韻の一部で重

(1) 所謂説為説若、如字、協韻等を示すものは採らないが、師古以外の人(例えば孟康蘇林、応邵等)の音注でも、師古が積極的に「××音是也」と注してあるものはそのまま師古音として採った。また「又音」の旨は一々記してない。なお表作製に当り、平山久雄氏の「敦煌毛詩音残卷反切の研究(上)」(前掲書)を参考にした点の多い旨を付記する。

(2) 三根谷徹先生に依って示された中古音の韻母の体系を言う。cf. 三根谷徹「中古漢語の韻母の体系」言語研究31(1956)。なおⅠ、Ⅱ、ⅢA、ⅢB、Ⅳは本稿で用いる便宜的な呼称である。平山久雄氏は之韻、蒸職韻に関し三根谷体系とは異なった解釈をしている。詳しくは、平山久雄「切韻に於ける蒸職韻と之韻の音価」東洋学報49-1(1966)参照。

(3) 平声韻を以て上・去・入声韻を代表せしめる。但し去声韻しかない韻はその去声の韻目を記す。以下同じ。

紐の対立のあるもの⁽⁴⁾がこれに属する。此等の内、声母が唇・牙喉音（但し子母は除く）で韻図の四等欄に配されているものには甲の、同じく三等欄に配されているものには乙の小字を付す。本表では此等を便宜上声母に付して示す。

Ⅲ Bは主母音が/a、 Λ /のグループで、東₃・鍾・微・魚・虞・廢・欣・文・元・戈₃・陽・尤・蒸・嚴・凡の諸韻、所謂三等韻の一部で重紐の対立のないもの、がこれに属する。

Ⅳは主母音が/e/のグループで、齊・先・蕭・青・添の諸韻、所謂直音四等韻、がこれに属する。

2. 2. 各類内部を等韻に於ける韻撰に従い分類する。

2. 3. 各撰内に於て韻部に分類し、横欄に韻目を平・上・去・入の順に記す。

2. 4. 各韻部内に於て声母を縦欄に配す。声母名及び配列の順序は次の通りである。⁽⁵⁾

唇音 (幫組) 幫・滂・並・明

舌音 { (端組) 端・透・定・泥 (來組) 來
(知組) 知・徹・澄・娘

齒音 { (精組) 精・清・從・心・邪
(莊組) 莊・初・崇・生・俟
(章組) 章・昌・船・書・常・日・羊

牙喉音 (見組) 見・溪・群・疑・曉・匣・影・子

3. 表中に音注を配列する場所は音注字の音が切韻（広韻）の音韻体系に於て占める位置による。それが歸字の音の、切韻（広韻）の音韻

(4) 正確に云うなら、重紐による対立は此等諸韻中、支・脂・祭・真・仙・宵・侵・鹽の8韻に限って、唇・牙喉音声母の下で存在するのであるが、それ以外の諸韻、即ち之・臻・諄・麻・清・庚・幽も対立すべきものは持たなくとも、重紐の甲・乙何れかと性格を同じくすると考えられるので、ここでは両者を区別しなかった。

(5) ここでは等韻学で半舌音とされる來母を舌音に、又半齒音とされる日母、牙喉音に含められる羊母(喻母四等)を共に齒音に組み入れてある。

体系の中で占める位置と一致しない場合には注記する。

3. 1. 注記は、(1) 当該字が百衲本で見られる場所(例えば10頁、上段、右から5行目は10上5のように示す)、(2)そのの広韻に見られる反切を〔広〕の後に、(3)そのの声母、韻目、開・合、等位を()の中にこの順で示す。

3. 2. 師古音が切韻(広韻)音と一致しない文字の内、意味上其等の仮借字(通じて作られるものも含む)と解釈されるものが求められる場合には、そのの広韻の反切、声、韻、開・合、等位と共に3.1.の形式に準拠して示す。その際、*を当該字の左肩に付して他と区別すると共に、そのように解釈する典拠となった書目をcf.の次に記す⁽⁶⁾。又確実な典拠は現在のところ求められないが、その蓋然性有り認められるものには当該字の後に?を付して示す。

3. 3. 注記で用いる書目及び略称は次の通りである。略称は()内に示す。

許慎	「説文解字十五卷」	(説文)
朱駿声	「説文通訓定声十八卷」	(定声)
雷浚	「説文外編十六卷」	(外篇)
桂馥	「説文解字義證五十卷」	(義證)
段玉裁	「説文解字段氏注三十卷」	(段注)
許榘	「誦説文記一卷」	(許記)
高翔麟	「説文字通十四卷」	(字通)
鈕樹玉	「説文解字校録十五卷」	(校録)
王筠	「説文句誦三十卷補正三十卷」	(句誦)
王玉樹	「説文拈字七卷」	(拈字)
席昌	「席氏誦説文記十四卷」	(席記)
陌瑛	「説文解字羣經正字二十八卷」	(正字)

(6) 詳しい考証は、第2部考証篇に譲り、ここでは只、書目を挙げるにとどめる。なお、仮借字の有無に関係なく参照すべき書目が有る場合にもcf.の次に記す。

徐 灝	「説文解字注箋二十八卷」	(徐箋)
鈕樹玉	「説文新附考六卷統考一卷」	(鈕考)
鄭 珍	「説文新附考六卷」	(鄭考)
孔広居	「説文疑疑二卷」	(疑疑)
恵 棟	「恵氏讀説文記十五卷」	(恵記)
毛際盛	「説文新附通誼二卷」	(通誼)
柳榮宗	「説文引經考異十六卷」	(考異)
傅雲龍	「説文古語考補正二卷」	(補正)
沈 濤	「説文古本考十四卷」	(古本)

以上は丁福保編「説文解字詁林及補遺、通檢全十二冊」(台湾商務印書館、1959台一版)所収のものを用いた。

唐写本切韻〔王国維手写法国巴黎国民図書館所蔵本敦煌発見者〕

第一種 (切一)

同上、第二種 (切二)

同上、第三種 (切三)

王仁昫刊謬缺切韻〔劉復敦煌掇瑣鈔刻法国巴黎国民図書館所蔵敦煌唐写本〕 (王一)

同上〔延光室景印及唐蘭手写清故宮所蔵唐写本〕 (王二)

「唐写本唐韻〔国粹学報館景印吳縣蔣斧蔵本〕 (唐)

以上は劉復等編「十韻彙編」(北京大学1936、台湾学生書局影印1963)所収のものを用いた。

周祖謨「廣韻校本附校勘記」(中華書局、1960) (校勘記)

「康熙字典」(中華書局、1958) (字典)

以上の外、便宜上、補注本に見られる王先謙補注は(補注)、百衲本に見られる顔師古注は(師古注)で、各々表わす。なお、師古注に關しては、それが見られる箇所を記す。但し音注例が見られるのと同箇所の場合は記さない。

4. 表中の字体は百衲本に見られるものに拠った。(但し活字印刷の都合で若干差異を生ずる場合もある。内、広韻に無い文字は{ }内に

入れて、広韻で別の字体に作るものは。を左肩に付して示す。字体に関する一々の考証を記すことは省く。

I 類

通 攝

	東	董	送	屋
幫 滂 並 明		布孔 琿 莫孔 蒙 (2) 濛 蠓	莫風 鄜 莫鳳 夢	布木 撲 (1) 普木 扑 夂 步木 僕
透 定 泥	[通] 桐 (3) 大東 箊 [同] 箊 侗 [童] 潼	徒孔 洞 [動] 洞 (4) 桐 (5)		[讀] 殞 積 匿 讒 乃穀 哢 (6) 奴獨 哢 (7)
來				[鹿] 漉 鱗 遠 (8)
精 從	子公 °窳 (9) 嶮 緦 才公 從 (13) [叢] 從 (14)	子孔 °窳 (10) [總] 嶮 (11) 從 縱 (12) [摠] 緦		

心				[速] 鯨
日 羊		而孔 茸 ⁽¹⁵⁾ 弋孔 溶 ⁽¹⁶⁾		
見 溪 匣 影 于	[工] 缸 [空] 倥 [紅] 虹	胡孔 鴻 一孔 滂	[貢] 虹 口弄 控	[屋] 鄺 [育] 煜

	冬		宋	沃
定	徒冬 佟			
見 匣				古篤 梏 古督 鵠 ⁽¹⁷⁾ [告] 部 下督 鵠 胡督 鵠 胡沃 鵠 胡篤 鵠

- (1) 「撲」(1162上7)[廣]普木切(滂屋開一)、*「僕」[廣]博木切(幫屋開一)、cf.補注
(2) 「蒙」(720上10)[廣]莫紅切(明東開一)、*「矇」[廣]莫孔切(明董開一)、cf.字典
(3) 「桐」(773下1)[廣]徒紅切(定東開一)、*「通」?[廣]他紅切(透東開一)、
cf.師古注(228下7)、*「詞」?[廣]徒摠切(定董開一)又徒弄切、cf.定声
(4) 「洞」(1012下9)[廣]徒紅切(定東開一)又徒弄切

- (5) 「桐」 (394上20) [広] cf. (3)、*「桐」? [広] 徒摠切 (定董開一)、cf. 説文
- (6) 「嘒」 (1129上6) [広] 而蜀切 (日燭合三)
- (7) 「嘒」 (1126下11) [広] cf. (6)
- (8) 「遼」 (1005上13) [広] 力玉切 (来燭合三)
- (9) 「窳」 広韻「嘒」に作る。
- (10) 「窳」 (393上3)、cf. (9) 「嘒」 [広] 子紅切 (精東開一)
- (11) 「嘒」 (709上12) [広] cf. (10)
- (12) 「縱」 (231下4) [広] 即容切 (精鍾合四) 又子用切、*「總」? [広] 作孔切 (精董開一)
- (13) 「從」 (231下4) [広] 息拱切 (心腫合四) 又先項切、「縱」の誤写か。「縱」 [広] cf. (12)
- (14) 「從」 (1044上4) [広] cf. (13)、「縱」の誤写か。「縱」 [広] cf. (12)
- (15) 「茸」 (720下12) [広] 而容切 (日鍾合三)。なお広韻では日母と東韻一等 (及びその相当上、去、入声韻) との結合形は見られない。
- (16) 「溶」 (721上20) [広] 余隴切 (羊腫合四) 又音容
- (17) 「鵠」 (408下9) [広] 胡沃切 (匣沃合一)、*「皓」 [広] 古沃切 (見沃合一)、cf. 集韻

遇 授

	模	姥	暮	
幫	布胡 連	(補) 譜		
滂	必胡 連 舖 (鋪) 拈 普胡 拈 ⁽¹⁾ 舖	(普) 溥		
並	(蒲) 圃	步戶 簿 薄戶 簿 (簿) 簿 ⁽²⁾	蒲固 哺 [捕] 哺 [步] 哺	
明	○(摹) ⁽³⁾ 膜	莫戶 莽		
端		(覩) 堵	丁固 敦 丁故 敦 稔 丁護 稔 [妬] 稔	
定	大胡 茶 (塗) 茶 塗 駮 樺 ⁽⁴⁾			
泥	(徒) 塗 (奴) 拏			
來	(盧) 墟 墟		(路) 潞	
精		(祖) 苴 ⁽⁵⁾		

清 心			千故 厝 措 錯 沂 邈 〔素〕
見	〔姑〕 沽 酤	公戶 鹽 〔古〕 盞 賈	工護 酤 〔故〕 沽 〔固〕 鋼 櫛 稱
溪 疑	口胡 剗 〔吾〕 活 郜		五故 忤 〔梧〕 迕 梧 ⁽⁶⁾
曉	火姑 虜 〔呼〕 虜 戲 虜 〔乎〕 虜 〔胡〕 鵠		火故 呼 諱
匣		〔戶〕 枯 呬 〔枯〕 枯 楷 〔扈〕 鄠 一戶 鄠	胡故 媯 下故 涸 ⁽⁷⁾ 〔互〕 媯 〔護〕 護 一故 汗 惡 於度 鄠 ⁽⁸⁾
影	一胡 圻 洿 汗 扞 ⁽⁹⁾ 一故 洿 ⁽¹⁰⁾ 〔烏〕 洿 汗 惡		

	於			
	扞 ⁽¹⁾			
	杆 ⁽²⁾			

- (1)「拊」(1249下11)〔広〕博孤切(幫模合一)
- (2)「簿」(1001下1)。注は音主簿之簿とある。
- (3)「募」広韻「摸」に作る。
- (4)「桴」(1275上6)〔広〕場伯切(澄陌開二)、*「菟」〔広〕同都切(定模合一)、
cf. 外篇
- (5)「苴」(792上2)〔広〕子魚切(精魚開四)又音疽、*「菴」〔広〕則古切(精姥合一)、
cf. 定声、義證、段注
- (6)「梧」(766上17)〔広〕五乎切(疑模合一)、*「梧」〔広〕五故切(疑暮合一)、cf.
定声、外篇
- (7)「涸」(275上18、325下4)〔広〕下各切(匣鐸開一)、*「互」〔広〕胡誤切(匣暮
合一)、cf. 師古注、定声
- (8)「鄔」(150下)〔広〕依倨切(影御開三)又音鳩
- (9)「扞」(1157上18)〔広〕憶俱切(影虞合三)又況于切、*「扞」〔広〕哀都切(影模
合一)、cf. 定声
- (10)「洿」(879下9、1271上15、1284上11)〔広〕侯古切(匣姥合一)又哀都切、*「汚」
〔広〕烏路切(影暮合一)、cf. 師古注
- (11)「扞」(1159上2、9)〔広〕cf. (9)、*「扞」cf. (9)
- (12)「杆」(1170下17)〔広〕羽俱切(于虞合三)、*「朽」〔広〕哀都切(影模合一)、
cf. 段注、補正

蟹 授

	哈	海	代	
並		[倍] 蕢 ⁽¹⁾		
透	吐材 郃 [胎] 鮒 胎 ⁽²⁾		土來 台 土代 貨 土戴 貨 吐戴 貨 他戴 貨 [態] 佗 ⁽³⁾	
定	[臺] 落 駘 [落] 鮒 ⁽⁴⁾	徒在 給	徒戴 逮 [代] 瑋	
來	[來] 涑 邾		郎代 來 ⁽⁵⁾ 徠 ⁽⁶⁾ 盧代 來 ⁽⁷⁾ 徠 ⁽⁸⁾	
精 清 從	[哉] 濊 千才 猜 [才] 纒 [財] 纒	[采] 採 ⁽⁹⁾	[菜] 採	
心	先才 鯁		先代 塞 塞	
見	工來 剗 [該] 骸 荄 垓	[改] 骸 ⁽¹⁰⁾	工代 槩 漑 功代 漑	

溪	咳		口代 慨
疑			[礙] 儼
匣		胡待 闕(11) [亥] 該(12) 闕(13)	
影			[愛] 菱

			泰開
幫			補蓋 沛 普大 沛 涓 涓 普蓋 沛 涓 涓 沸 (14)
端			[帶] 躄 遞 (15) 薑 (16) 土帶 貸 (17) 徒蓋 薑 (18) [大] 鞅 鈞
來			[賴] 瀨 厲 (19)
見			工大 °勾 (20) [蓋] °勾 (20)

溪 溪 影			口蓋 偈 一蓋 噤 一蓋 噤
-------------	--	--	----------------------

	灰	賄	隊	
幫 滂 並 明	布回 杯 〔杯〕 培 ⁽²¹⁾ 普回 坯 〔陪〕 培 郝 〔裴〕 俳 ⁽²⁴⁾	步賄 倍 ⁽²³⁾	布內 諄 悖 ⁽²²⁾ 步內 邶 背 悖 藟 ⁽²⁵⁾ 莫內 冒 ⁽²⁶⁾ 〔妹〕 瑁 昧 冒 ⁽²⁷⁾ 沫 ⁽²⁸⁾ 〔昧〕 瑁	
端 透 定 泥	丁回 堆 敦 礎 他回 推 焯 ⁽³⁰⁾ 大回 隕 徒回 隕 〔頽〕 隕 〔穢〕 隕 乃回 纓 ⁽³¹⁾	它賄 媿 乃賄 媿 能賄 媿	〔對〕 敦 ⁽²⁹⁾ 大內 隊 徒內 隊 徒對 霽	

		餒			
來	[雷] 輻	洛賄 磊 磊 ⁽³²⁾ [磊] 墨 ⁽³³⁾ 彙 ⁽³⁵⁾ 樞	郎內 未 力輩 ⁽³⁴⁾ 未 來內 未 雷 ⁽³⁶⁾ 慮對 礪 禾 ⁽³⁷⁾ 墨 ⁽³⁸⁾		
精清 從心	千回 崔 綾 ⁽⁴¹⁾ 衰 才回 崔	千賄 粹 ⁽³⁹⁾ 萃 ⁽⁴⁰⁾ 崔 ⁽⁴²⁾	子內 粹 千內 倅 淬 焯 [碎] 諄		
見 溪 疑 曉 匣 影	[瓊] 瑰 口回 惺 [恢] 惺 詎 五回 嶷 鯢 ⁽⁴⁶⁾ 窺 ⁽⁴⁶⁾ [回] 瑰 槐 一廻 崴 ⁽⁵¹⁾ [隈] 緄	五賄 隗 [隗] 隗 ⁽⁴⁵⁾ 胡賄 匯 魔	工內 憤 槩 ⁽⁴³⁾ 口內 塊 口對 塊 口廻 ⁽⁴⁴⁾ 恢 呼內 沫 ⁽⁴⁷⁾ 胡內 績 回 ⁽⁴⁸⁾ 沫 ⁽⁴⁹⁾ 胡悔 回 ⁽⁵⁰⁾		

			泰合	
端			丁外 投	
來			來外 爵	
見			古外 會 工外 會 僧 澹 獐 檜	
影			烏外 濊	

- (1) 「蒼」 (85下10、101上19、393上18) 〔廣〕房久切 (並有開三)、*「倍」*「菩」
〔廣〕薄亥切 (並海開一)、cf. 補注
- (2) 「駘」 (174下) 〔廣〕徒哀切 (定哈開一)、*「台」 〔廣〕土來切 (透哈開一)、cf.
定声
- (3) 「伯」 (720上4) 〔廣〕羊己切 (羊止開四) 又夷在切、*「臺」 〔廣〕他代切 (透代
開一)、cf. 義證、集韻
- (4) 「鮐」 (1090上10) 〔廣〕土來切 (透哈開一)
- (5) 「來」 (98上7、989下3、1069下19、1240上16) 〔廣〕落哀切 (來哈開一)、*「徠」
〔廣〕洛代切 (來代開一)、cf. 外篇、集韻
- (6) 「徠」 (1099下3) 〔廣〕里之切 (來之開三)、*「徠」 〔廣〕cf. (5)、cf. 集韻
- (7) 「來」 (79上16、708上5) 〔廣〕cf. (5)、*「徠」cf. (5)
- (8) 「徠」 (871上14) 〔廣〕cf. (6)、*「徠」cf. (6)
- (9) 「採」 (757上4、1040下15) 〔廣〕倉代切 (清代開一)、*「采」? 〔廣〕倉宰切
(清海開一)
- (10) 「骸」 (806下6) 〔廣〕古哀切 (見哈開一)、*「頰」 〔廣〕古亥切 (見海開一)、
cf. 許記
- (11) 「閼」 (194下9) 〔廣〕五漑切 (疑代開一)、*「亥」 〔廣〕胡改切 (匣海開一) cf.
師古注
- (12) 「該」 (194下9) 〔廣〕古亥切 (見海開一)、*「亥」cf. (11)
- (13) 「閼」 (230下10) 〔廣〕cf. (11)、*「亥」cf. (11)

- (14) 「沸」 (706下6) [広] 方味切 (幫未合三)
- (15) 「漚」 (1225上20) [広] 徒禮切 (定齊開四) 又亭繼切、*「帶」? [広] 當蓋切 (端泰開一)
- (16) 「蕘」 (1254下4) [広] 都計切 (端霽開四)
- (17) 「貸」 (932上15) [広] 他代切 (透代開一)
- (18) 「蕘」 (1254下4) [広] cf. (16)
- (19) 「厲」 (408上7) [広] 力制切 (來祭開三)
- (20) 「匂」、広韻「匂」に作る。
- (21) 「楛」 (618下3) [広] 薄回切 (並灰合一)
- (22) 「悖」 (333上18、344上15、365上14、614上5、738下17、808下7、833下10、973下10、1084下18) [広] 蒲味切 (並隊合一) 又蒲沒切、*「諄」 [広] 補妹切 (幫隊合一)、cf. 義證、說文
- (23) 「倍」 (968上8) [広] 薄亥切 (並海開一)
- (24) 「俳」 (39上5) [広] 歩皆切 (並皆開二)、*「俳」 [広] 薄回切 (並灰合一)、cf. 定声
- (25) 「蒹」 (1018上1) [広] 方味切 (幫未合三)、*「孛」 [広] 蒲味切 (並隊合一)、cf. 段注、字通
- (26) 「冒」 (297下5、424上19) [広] 莫報切 (明号開一) 又莫北切、*「瑁」 [広] 莫佩切 (明隊合一)、cf. 外篇、集韻
- (27) 「冒」 (705上7) [広] cf. (27)、*「瑁」 cf. (27)
- (28) 「沫」 (716下3) [広] 莫貝切 (明泰開一) 又無沸切
- (29) 「敦」 (1129上3) [広] 都回切 (端灰合一) 又都昆、都困、度官三切
- (30) 「焯」 (860上9) [広] 常倫切 (常諄合三) 又他昆切、cf. 校録、段注
- (31) 「櫻」 (1052下17) [広] 奴巧切 (泥巧開二) 又奴交切、*「櫻」 [広] 乃回切 (泥灰合一)、cf. 定声、段注
- (32) 「磬」、広韻「磬」に作る。
- (33) 「壘」 (884下18) [広] 力軌切 (來旨合三)、*「磜」? [広] 落猥切 (來賄合一)
- (34) 「輩」、広韻「輩」に作る。
- (35) 「彙」 (189上) [広] 力委切 (來紙合三)
- (36) 「雷」 (621下16) [広] 魯回切 (來灰合一)、*「磜」 [広] 盧對切 (來隊合一)、cf. 集韻
- (37) 「采」、広韻「采」に作る。
- (38) 「壘」 (676下9) [広] cf. (33) *「磜」 [広] 盧對切 (來隊合一)、cf. 集韻
- (39) 「綽」 (1197下14) [広] 子對切 (精隊合一)、*「璫」? [広] 七罪切 (清賄合一)
- (40) 「萃」 (706上8) [広] 秦醉切 (從至合四)、*「璫」 [広] cf. (38)、cf. 補注
- (41) 「衰」 (80上5、331上15) [広] 楚危切 (初支合二) 又所危切、*「緘」 [広] 倉回

切（清灰合一）、cf. 定声，字通

- (42) 「崔」 (711上12) 〔広〕倉回切（清灰合一）又昨回切、*「璫」？〔広〕cf. (38)
(43) 「槩」 (197上8) 〔広〕古代切（見代開一）
(44) 「廻」、広韻「廻」に作る。
(45) 「隗」 (395下6) 〔広〕拳韋切（見微合三）、*「隗」？〔広〕五罪切（疑賄合一）
(46) 「巍」 (1039上2) 〔広〕語韋切（疑微合三）*「嵬」〔広〕五灰切（疑灰合一）、

cf. 集韻

- (47) 「沫」 (229下19、763下15、1186下15) 〔広〕無沸切（明未合三）又莫貝切、*「類」
〔広〕滂内切（曉隊合一）、cf. 師古注
(48) 「回」 (260下9、427上17、1079下1、1137上14) 〔広〕戸恢切（匣灰合一）、*「廻」
〔広〕胡對切（匣隊合一）、cf. 說文
(49) 「沫」 (572下4) 〔広〕cf. (45)、*「類」cf. (45)
(50) 「回」 (674上3、845下4) 〔広〕cf. (46)、*「廻」cf. (46)
(51) 「歲」 (720下15) 〔広〕乙皆切（影皆合二）

臻 攝

	痕	很	恨	
見 匣	胡恩 痕 下恩 痕 根 ⁽¹⁾	[聖] 懇		

	魂	混	恩	沒
幫 滂 並 明	[門] 捫 塵	莫本 濂	[奔] 賁 普頓 湓 ⁽²⁾ 至 ⁽³⁾ 步頓 至 蒲頓 坳 ⁽⁴⁾ [悶] 濂 滿 ⁽⁶⁾	[勃] 滂 蕪 ⁽⁵⁾
端 透 定	[敦] 惇 惇 ⁽⁷⁾ [頓] 敦 土門 惇 吐敦 惇 徒門 腎 敦 ⁽⁹⁾ 惇 ⁽¹⁰⁾ [屯] 敦 ⁽¹¹⁾	徒本 敦 ⁽⁸⁾		丁忽 咄 丁骨 咄
來			來頓 論	
精		子本 撐		

清 從 心		千本 刊 付		千忽 卒 猝 材兀 梓 才兀 梓 先忽 宰
見 溪 疑 曉 匣	[昆] 瓚 [昏] 昏 紺 ⁽¹³⁾ 胡昆 渾 胡温 渾 下昆 渾 緄 ⁽¹⁵⁾ 昆 ⁽¹⁶⁾ 胡門 昆 ⁽¹⁷⁾ 下温 昆 ⁽¹⁸⁾ 下門 昆 ⁽¹⁹⁾ 戶門 昆 ⁽²⁰⁾ [魂] 渾 [寃] 渾	工本 緄 緄 混 ⁽¹²⁾ 口本 悃 苦本 榘 胡本 棍 混 渾 下本 棍 混 輝	工頓 論 胡困 園 濶 胡頓 園 濶 下頓 園 濶 下困 濶	公忽 挖 [骨] 汨 滑 口骨 堀 矻 [兀] 杓 [忽] 芻 吻 胡骨 [○] 鶻 ⁽¹⁴⁾ 鳩 [紇] 齧

- (1) 「根」(653下16) [広] 古痕切(見痕開一)、*「根」[広] 戶恩切(匣痕開一)、
cf. 補注
- (2) 「溢」(430下16、706下6) [広] 蒲奔切(並魂合一)又匹問切
- (3) 「盆」(719上10) [広] 蒲悶切(並恩合一)
- (4) 「坊」(358上15、1092上9) [広] 扶問切(並問合三)又房粉切、*「盆」[広] cf.
(3)、cf. 義證、集韻
- (5) 「菲」(709下16) [広] 敷勿切(滂物合一)、*「葶」? [広] 蒲沒切(並沒合一)
- (6) 「滿」(1104上6) [広] 莫阜切(明緩合一)、*「漶」[広] 莫困切(明恩合一)

cf. 定声、段注、義證

- (7) 「焯」(342下1)〔広〕常倫切(常諄合三)又他昆切、*「敦」〔広〕都昆切(端魂合一)、cf. 定声
- (8) 「敦」(506下13)〔広〕都困切(端恩合一)又都昆、度官、都回三切、*「沌」〔広〕徒損切(定混合一)、cf. 定声、字通
- (9) 「敦」(63下15、1156下7)〔広〕cf. (8)、*「燉」〔広〕徒渾切(定魂合一)、cf. 段注、広韻
- (10) 「焯」(217上5)〔広〕cf. (7)、*「燉」〔広〕cf. (9)、cf. 広韻
- (11) 「敦」(1038下20)〔広〕cf. (8)、*「燉」cf. (9)
- (12) 「混」(1109下3)〔広〕胡本切(匣混合一)、*「昆」〔広〕古渾切(見魂合一)、cf. 師古注
- (13) 「緝」(544上16)〔広〕武巾切(明真開三)
- (14) 「失鳥」(367上14)、広韻「𪗇」に作る。「鳥失」〔広〕徒結切(定屑開四)又夷質切、*「鶻」?〔広〕戸骨切(匣沒合一)
- (15) 「緝」(1188下17)〔広〕古本切(見混合一)
- (16) 「昆」(623下12)〔広〕古渾切(見魂合一)、*「混」〔広〕戸昆切(匣魂合一)、cf. 師古注
- (17) 「昆」(146下、407上20、678下14)〔広〕cf. (16)、*「混」cf. (16)
- (18) 「昆」(671上12)〔広〕cf. (16)、*「混」cf. (16)
- (19) 「昆」(60上18、160上2、415下18、791下4、839下1、897下7)〔広〕cf. (16)、*「混」cf. (16)
- (20) 「昆」(811上3)〔広〕cf. (16)、*「混」cf. (16)

山 撰

	寒	旱	翰	曷
滂 並	普安 番 ⁽¹⁾ 普寒 番 ⁽²⁾			步曷 拔 ⁽³⁾ 肢 ⁽⁴⁾ 步葛 拔 ⁽⁵⁾ 拔 ⁽⁶⁾ 莫葛 昧 ⁽⁹⁾
明	莫干 謨 ⁽⁷⁾ 漫 ⁽¹⁰⁾ 鋸 ⁽¹²⁾ 瞞 ⁽¹⁴⁾ 莫安 曼 ⁽¹⁶⁾ 未安 瞞 ⁽¹⁷⁾		莫旦 曼 ⁽⁸⁾ 莫幹 曼 ⁽¹¹⁾ 綬 ⁽¹³⁾ 莫漢 綬 ⁽¹⁵⁾	
端 透 定	丁安 箠 丁韓 瘴 〔單〕 禪 殫 他丹 擘 ⁽¹⁹⁾ 它丹 駟	徒旱 袒	徒旦 彈 憚 壇 ⁽²⁰⁾ 〔但〕 禮 亶 ⁽²¹⁾ 袒 ⁽²²⁾	丁曷 恒 憚 ⁽¹⁸⁾ 它曷 獺 吐曷 獺 土曷 闌 他曷 闌
來	〔蘭〕 闌	來亶 闌		來曷 刺 來葛 刺

精			(贊) 鄭 (贊) 虞 ⁽²³⁾	
清 從 心	千安 餐 先安 冊 冊 ⁽²⁵⁾			千曷 蔡 ⁽²⁴⁾ 才曷 戠
見	(干) 玗 奸 軒 ⁽²⁷⁾	工旱 稗 竿 ⁽²⁶⁾	(幹) 吁	(葛) 轄
溪		口旱 衍	口旦 °假 ⁽²⁸⁾ 衍	
疑			口翰 衍 (岸) 犴	五曷 枿 五曷 枿 嶸 ⁽²⁹⁾ °藥 ⁽²⁹⁾
曉			下旦 扞 悍	呼曷 獨
匣	下安 邯 (寒) 邯 汗 (韓) 駟 ⁽³⁰⁾		胡旦 扞 悍 胡幹 悍	
影				一曷 遏 闕 一曷 闕 烏曷 闕 (遏) 轄 ⁽³¹⁾

	桓	緩	換	末
幫				(撥) 盍

滂 並 明	[盤] 番 般 盤 癩	[滿] 懣	普半 泮 <small>(32)</small> 潘 [漫] 縵 護	步末 跋 芟 拔 [末] 秣 味 沫 [秣] 昧 昧
端 透 定 泥	它端 湍 大官 搏 徒官 剗 乃官 濡 ³³	乃短 暖 煖 煨 煨	丁奧 斷 丁喚 斷 丁煥 斷 乃喚 儒 <small>34</small> 粟 乃館 慎	丁活 撮 投 他活 脫 稅 它活 脫 脫 土活 脫 吐活 脫
來	[鸞] 巒			來奪 掄
精 清 從 心	子端 鑽 材官 攢 ³⁵ [酸] 俊			千活 撮 千括 撮 倉括 撮

見	工端 貫 〔官〕 莞 涓		工喚 棺 冠 觀 瞞 棺 工煥 棺	工活 栝 工闊 檜 江闊 迺 〔括〕 菩
溪 疑	〔寬〕 髁 五官 抗 五丸 剗 火官 驩		〔奐〕 漚 ³⁶	
曉	〔驩〕 鄰 謹			
匣	〔丸〕 紉 莞 〔桓〕 菴 涓 獮 莞 菴 ³⁹	胡管 院	胡貫 灌 ³⁷ 下館 涓 ³⁸	

- (1) 「番」 (260下8) 〔広〕 普官切 (滂桓合一)
- (2) 「番」 (1145上9) 〔広〕 cf. (1)
- (3) 「拔」 (231下3) 〔広〕 蒲撥切 (並未合一) 又蒲八切
- (4) 「𦵑」 (717下1) 〔広〕 蒲撥切 (並未合一)
- (5) 「𦵑」 (898上19) 〔広〕 蒲撥切 (並未合一)
- (6) 「拔」 (1162上16) 〔広〕 cf.(3)
- (7) 「謾」 (992上6) 〔広〕 母官切 (明桓合一) 又莫半、武延、謾參三切
- (8) 「曼」 (1038上10) 〔広〕 母官切 (明桓合一) 又無販切
- (9) 「昧」 (21下14、463上15、483下18) 〔広〕 莫撥切 (明末合一)
- (10) 「漫」 (593上10、936上14) 〔広〕 莫半切 (明換合一)、*「滿」? 〔広〕 母官切 (明桓合一)
- (11) 「曼」 (704下15、1051下20) 〔広〕 cf. (8)
- (12) 「𦵑」 (694下4) 〔広〕 母官切 (明桓合一)
- (13) 「縵」 (254下8) 〔広〕 莫半切 (明換合一)
- (14) 「瞞」 (369下20) 〔広〕 母官切 (明桓合一)

- (15)「纓」(147上)〔広〕cf. (13)
- (16)「曼」(409上9)〔広〕cf. (8)
- (17)「瞞」(505上5)〔広〕cf. (14)。なお、補注本は反切上字「未」を「末」に作る。
- (18)「憚」(713上5)〔広〕徒案切(定翰開一)、*「恒」〔広〕當割切(端曷開一)、cf. 集韻
- (19)「驛」(1296上2)〔広〕徒干切(定寒開一)、*「譚」〔広〕他干切(透寒開一) cf. 定声
- (20)「壇」(704下15、1038上10)〔広〕徒干切(定寒開一)、*「薑」〔広〕徒案切(定翰開一)、cf. 定声
- (21)「薑」(771下17、1271上12)〔広〕多早切(端早開一)、*「但」〔広〕徒案切(定翰開一)、cf. 師古注(85)上8、845下1)
- (22)「袒」(668上6)〔広〕徒早切(定早開一)又除馮切、*「但」〔広〕cf. (21)、cf. 定声、段注
- (23)「鄜」(30上13)〔広〕昨何切(從歌開一)、*「鄜」〔広〕則肝切(精翰開一)、cf. 定声、段注
- (24)「蔡」(754上11、1164下9)〔広〕倉大切(清泰開一)
- (25)「𦉳」(86上5、1127上18、1246下20)〔広〕所姦切(山刪開二)又所晏切
- (26)「竿」(1134下6)〔広〕古寒切(見寒開一)、*「筭」〔広〕古早切(見早開一)、cf. 集韻
- (27)「軒」(886下4)〔広〕胡安切(匣寒開一)、*「干」?〔広〕古寒切(見寒開一)
- (28)「侃」、広韻「侃」に作る。
- (29)「夔」、広韻「𦉳」に作る。
- (30)「駢」(1058上6)〔広〕丘姦切(溪刪開二)又侯肝切
- (31)「輻」(720上6)〔広〕古達切(見曷開一)
- (32)「潘」(409下19)〔広〕普官切(滂桓合一)
- (33)「潘」(400上12、410上20、412上13)〔広〕乃官切(泥寒開一)、cf. 校勘記
- (34)「𦉳」(942下3)〔広〕而兗切(日獮合三)、*「𦉳」〔広〕奴乱切(泥換合一)、cf. 義證、段注
- (35)「攢」(709下6)〔広〕在玩切(從換合一)、*「𦉳」〔広〕在丸切(從桓合一)、cf. 外篇
- (36)「𦉳」(1051下20)〔広〕胡玩切(匣換合一)
- (37)「灑」(418下5)〔広〕古玩切(見換合一)、*「渙」〔広〕火貫切(曉換合一)、cf. 定声
- (38)「涇」(337上7)〔広〕古玩切(見換合一)
- (39)「𦉳」(1087上10)〔広〕古玩切(見換合一) *「𦉳」〔広〕胡官切(匣桓合一)、cf. 句說、集韻

效 攝

	豪	皓	号	
幫 明		[保] 葆 綵 莫保 茆(1)	莫報 眊 媚 耗(2) 莫到 耗(3) [毛] 耗(4) [冒] 媚	
透 定 泥	宅牢 條 土高 洮 饜 悞 吐高 洮 饜 徒高 駒 駒 檣 洮(6) 大高 濤 [桃] 駒 眊 駝 [逃] 駒 眊 乃高 獠 嶼 覆		[導] 道(5)	

來	來高 醪 〔勞〕 滂 〔牢〕 醪 潦(7)	〔老〕 潦 輶		
精 清	千高 操	〔藻〕 澡	千到 造 操 躁(8)	
從 心	索高 搔	先老 燥 先早 掃	七到 造 才到 漕 先到 譟 埽	
見	〔皐〕 咎	工老 稿 菓 皐 口老 槁	工到 誥 〔誥〕 浩(9)	
溪 疑	〔敖〕 警		五到 驚 。 𪔐(10)	
曉	火高 撓 呼高 撓		呼到 好 耗 耗 火到 耗 呼倒 好	
匣		胡老 浩 顯 胡考 顯		
影	一高 ° 𪔐(11)	〔浩〕 灑 〔鎬〕 滴		

(1)「茹」(196上8)〔広〕莫飽切(明巧開二)

(2)「耗」(53下3, 695下18, 1086下6)〔広〕呼到切(曉号開一)又荒内切, *「𪔐」

- 〔広〕莫報切（明号開一），cf. 師古注
- (3) 「耗」（695下18）〔広〕cf. (2), *「眊」cf. (2)
- (4) 「耗」（133上3）〔広〕cf. (2), *「眊」cf. (2)
- (5) 「道」（46上7）〔広〕徒皓切（定皓開一），*「導」〔広〕徒到切（定号開一），cf. 師古注（1174下18）
- (6) 「洮」（216上9）〔広〕土刀切（透豪開一）
- (7) 「濼」（707下20）〔広〕盧皓切（來皓開一），*「滂」〔広〕魯刀切（來豪開一），cf. 集韻
- (8) 「躁」（189下）〔広〕則到切（精号開一）
- (9) 「浩」（406下20, 844上15）〔広〕胡老切（匣皓開一）
- (10) 「嶷」（1041下4）。広韻「整」に作る。「整」〔広〕五勞切（疑豪開一）
- (11) 「燠」，広韻「燂」に作る。

果 撰

	歌	哥	箇	
滂	普何 陂(1) 頗(3) 普河 陂(4) 頗(5)	普我 頗(2)		
並	蒲何 繁(6) 番(7) 蒲河 繁(8) 番(9)			
明		莫可 麼(10)		
端 透	[多] 羈(11) [它] 挖		土賀 拖 挖(12) 吐賀 拖 挖(13)	
定	徒何 池 佗 沱 陁(16) 他(17) 它(18) 徒河 佗 它(19) 大河 池	徒可 挖 拖(14) 大可 拖(15) [佗] 挖		
來		來可 柯 洛可 柯		

精 清	子何 璦 ⁽²⁰⁾ 千何 蹉 磋		[佐] 左	
從	材何 嗟 才何 贊 ⁽²¹⁾ 才多 贊 ⁽²²⁾ 〔嗟〕 贊 ⁽²³⁾			
心	先河 娑			
見	[歌] 荷 ²⁴ [柯] 荷 ²⁵		古賀 箇	
溪		[可] 柯 ²⁶	口賀 珂	
疑	五何 蛾 〔娥〕 峨 ²⁷ 嶷			
曉	火何 呵			
匣	[何] 荷 苛			
影	[阿] 痲	烏可 間 ²⁸		

	戈	果	過	
幫	[波] 嶧			
透		他果 隋 佗果 攜		
來		來果 羸 郎果 羸		
從	在戈 瘞 才戈 瘞			

心	座 ⁽²⁹⁾ 素和 莎 先和 蕤			
見	工禾 過 [戈] 渦			
溪		口果 顆 敷		
匣			胡卧 和 乎卧 和	
影	一戈 倭			

- (1) 「破」 (719上10, 958下12) [広] 彼為切 (幫支開三), *「坡」 [広] 滂禾切 (滂戈合一), cf. 段注, 定声
- (2) 「頗」 (29下15, 766上19, 1053上6) [広] 普火切 (滂果合一) 又普波切 (滂戈合一)
- (3) 「頗」 (1116下8) [広] cf. (2)
- (4) 「破」 (704上20) [広] cf. (1), *「坡」 cf. (1)
- (5) 「頗」 (553下17) [広] cf. (2)
- (6) 「繁」 (859上18) [広] 薄波切 (並戈合一)
- (7) 「番」 (1945上6) [広] 博禾切 (幫戈合一) 又補過, 普官, 孚袁, 附袁四切
- (8) 「繁」 (93下15, 169下, 1010上6) [広] cf. (6)
- (9) 「番」 (1152下7) [広] cf. (7)
- (10) 「麼」 (1279上10) [広] 亡果切 (明果合一)
- (11) 「鄴」 (138下, 166上) [広] 都寒切 (端寒開一)
- (12) 「拈」 (883下19) [広] 託何切 (透歌開一), *「拖」 [広] 吐邏切 (透箇開一), cf. 広韻, 定声
- (13) 「拈」 (1049上7) [広] cf. (12), *「拖」 cf. (12)
- (14) 「拖」 (710上19, 711下16) [広] 吐邏切 (透箇開一), *「拈」 [広] cf. (12) cf. 定声
- (15) 「拖」 (706下1) [広] cf. (14), *「拈」 cf. (14)
- (16) 「拖」, 広韻「陀」に作る。
- (17) 「他」 (465下7) [広] 託何切 (透歌開一), *「駄」 [広] 徒河切 (定歌開一), cf. 拈字
- (18) 「它」 (20上6, 30下8, 139上, 1157下8) [広] 託何切 (透歌開一), *「駄」 [広] cf. (17), cf. 拈字
- (19) 「它」 (463下15, 713上6) [広] cf. (18), *「駄」 cf. (18)

- (20) 「逡」 (191下) [広] 七何切 (清歌開一) 又七可切
- (21) 「鄮」 (555上6) [広] 則肝切 (精翰開一) 又作管切, *「虚郎」 [広] 昨何切 (從歌開一), cf. 師古注 (399上10)
- (22) 「鄮」 (453下4) [広] cf. (21), *「虚郎」 cf. (21)
- (23) 「鄮」 (399上10) [広] cf. (21), *「虚郎」 cf. (21)
- (24) 「荷」 (389上13) [広] 胡歌切 (匣歌開一), *「荷」 [広] 古俄切 (見歌開一), cf. 定声, 段注
- (25) 「荷」 (398下13) [広] cf. (24), *「荷」 cf. (24)
- (26) 「砢」 (708上18) [広] 來可切 (來禡開一)
- (27) 「峨」, 広韻「義」に作る。
- (28) 「聞」 (711上12) [広] 許下切 (曉馬開二), *「聞」 [広] 烏可切 (影哥開一), cf. 段注
- (29) 「座」 (189下, 191下、961下7) [広] 徂臥切 (從過合一)

宕 攝

	唐開	蕩開	宕開	鐸開
幫			[謗] 榜(1)	布各 襮
滂	普郎 滂			[博] 膊
並	步行 榜(2)		步浪 傍	普各 尊
	[旁] 方(3)			膊
	仿(4)			步各 泊
明	莫郎 芒	[莽] 芒(5)		[莫] 鄭
	茫			鏝
				漠
				謨(6)
端		[黨] 讜		
透	吐郎 闔	他朗 黨(7)		土各 榑
	託郎 闔	它莽 黨(8)		他各 榑
				[託] 拓
定	[唐] 蜻	[蕩] 場(9)	徒浪 邊	徒各 度
	碭		宕 碭	大各 度
			湯(11)	澤(13)
			[蕩] 盪	[鐸] 澤(12)
			蕩	
			蕩	
			[湯] 蕩	
			[宕] 碭	
			湯(13)	
來	[郎] 琅		[浪] 間	來各 櫟

	浪 莨 〔狼〕 粮 浪 〔浪〕 狼 〔琅〕 浪			〔洛〕 櫟 櫟 ⁽¹⁴⁾
澄				直洛 著 ⁽¹⁵⁾
精 清 從		子朗 駟		千各 錯 庠 ⁽¹⁶⁾ 〔疇〕 錯 才各 苻 苻 材各 苻
生				所各 數 ⁽¹⁷⁾
見 溪 疑 曉	工郎 亢 亢 ⁽¹⁹⁾ 〔岡〕 亢 亢 ⁽²⁰⁾ 〔剛〕 亢 ⁽²¹⁾ 亢 ⁽²²⁾ 〔康〕 穰 五剛 印	口浪 伉 炕 口朗 忼	古浪 伉 ⁽¹⁸⁾ 〔抗〕 亢 亢 閱	〔閣〕 格 〔抗〕 炕 五各 鏑 鄂 〔愕〕 鶻 呼各 郝 鄙

匣	下郎	行	胡朗	沈	胡浪	行	胡各	溷
		杭			亢 ⁽²³⁾		格 ⁽²⁴⁾	
		亢 ⁽²⁵⁾			沈 ⁽²⁶⁾		下各	格 ⁽²⁷⁾
	戶郎	行						
	胡剛	行						
影	胡郎	行						
	烏郎	決 ⁽²⁸⁾	烏朗	塊	一浪	盞		
				軼				

	唐合	蕩合	宕合	鐸合
溪			[曠] 績	
曉		呼廣 荒 ⁽²⁹⁾		
匣	胡光	胡廣 潢 ⁽³⁰⁾		胡郭 鑊
	[皇]			溷
	[黃]			
影	烏皇			一郭 腰
	汪			烏郭 蝮
				於鑊 蝮

- (1) 「榜」(706下5) [廣] 北孟切 (幫映開二) 又薄庚切, *「舫」 [廣] 補曠切 (幫宕開二), cf. 定聲, 段注
- (2) 「榜」(800下4) [廣] 薄庚切 (並庚開二) 又北孟切, *「旁」 [廣] 步光切 (並唐開一), cf. 定聲
- (3) 「方」(494下12) [廣] 府良切 (幫陽開三), *「旁」 [廣] 步光切 (並唐開一), cf. 段注, 席記

- (4)「仿」(707上15)〔広〕妃兩切(滂養開三), *「彷彿」〔広〕步光切(並唐開一), cf. 段注, 集韻
- (5)「芒」(1043下3)〔広〕莫郎切(明唐開一)又音亡, *「莽」?〔広〕模朗切(明蕩開一)
- (6)「謨」(1283上16)〔広〕莫胡切(明模合一)
- (7)「黨」(484下9, 700上7, 772下15, 868下6)〔広〕多朗切(端蕩開一), *「儻」〔広〕他朗切(透蕩開一), cf. 師古注(585下14, 1060上2)
- (8)「黨」(1040下18)〔広〕cf. (7), *「儻」cf. (7)
- (9)「場」(1230下12)〔広〕與章切(羊陽開四), *「塲」〔広〕徒朗切(定蕩開一), cf. 補注
- (10)「澤」(719下10)〔広〕場伯切(澄陌開二)
- (11)「湯」(413上7)〔広〕他浪切(透宕開一)又他郎, 式羊二切
- (12)「澤」(407下4)〔広〕cf. (10)
- (13)「湯」(395上18)〔広〕cf. (11)
- (14)「櫟」(712下7)〔広〕郎擊切(來錫開四)又音藥, *「栝」〔広〕盧各切(來鐸開一), cf. 集韻
- (15)「著」(1285上16)〔広〕直略切(澄葉開三)。なお補注本は反切下字「洛」を「略」に作る。これに従うなら、本字は葉韻欄に移されるべき。
- (16)「唐」(366下15)〔広〕秦昔切(從昔開四)又七削切。或は「厓」の誤写か。「厓」は〔広〕七雀切(清鐸開一)
- (17)「數」(632上7)〔広〕所角切(生覺合二)。なお補注本は反切下字「各」を「角」に作る。これに従うなら、本字は覺韻欄に移されるべき。
- (18)「仇」(1125上17)〔広〕苦浪切(溪宕開一), *「兪」〔広〕古郎切(見唐開一), cf. 定声, 正字
- (19)「仇」(134下, 648上4)〔広〕cf. (18), *「兪」cf. (18)
- (20)「仇」(135下)〔広〕cf. (18), *「兪」cf. (18)
- (21)「仇」(551上18, 767上20)〔広〕cf. (18), *「兪」cf. (18)
- (22)「仇」(1044下3)〔広〕苦浪切(溪宕開一)又口庚切, *「岡」〔広〕古郎切(見唐開一), cf. 師古注(1039下19)
- (23)「兪」(1049下5)〔広〕苦浪切(溪宕開一)又古郎切, *「吭」〔広〕下浪切(匣宕開一), cf. 定声
- (24)「格」(719下10)〔広〕古落切(見鐸開一)
- (25)「兪」(472上3, 567上19)〔広〕古郎切(見唐開一)又苦浪切, *「肱」*「頑」〔広〕胡郎切(匣唐開一), cf. 定声, 段注
- (26)「亢」(228下13, 1043下3)〔広〕胡郎切(匣唐開一)又胡郎切

- (27) 「格」 (653下16) 〔広〕 cf. (24)
- (28) 「決」 (421上1) 〔広〕 烏朗切 (影蕩開一) 又於良切
- (29) 「荒」 (602下14, 721上5, 1186下9, 1239上7) 〔広〕 呼光切 (曉唐合一) 又呼浪切,
*「慌」? 〔広〕 呼晃切 (曉蕩合一)
- (30) 「漬」 (708下5) 〔広〕 乎曠切 (匣宕合一) 又音黃, *「滉」 〔広〕 胡廣切 (匣蕩合一),
cf. 外篇

流 攝

	侯	厚	候	
滂 並 明	薄侯 夏 蒲溝 培 平侯 培 莫侯 質(1)	普口 剖 〔剖〕 葩 〔部〕 葩	莫豆 瞿 霽(2) 莫侯 霽(3) 莫構 瞽 〔茂〕 袤	
透 定 泥	〔偷〕 偷 〔投〕 掄 乃侯 孺		〔豆〕 逗 逗 奴豆 耨 乃構 耨	
來	〔樓〕 婁 螻	來口 婁 隄(4)		
精 清 從	子侯 陬	才垢 鰕(8)	〔奏〕 走 千豆 湊 轉 族(5) 千后 趣(6) 千後 趣(7)	
見	功侯 句	〔垢〕 詬	工豆 讎	

	工侯 緱 〔鉤〕 句 〔邊〕 殺			購 鉤 工侯 鉤(9) 〔搆〕 購 備(10) 〔構〕 覲 口豆 區(11) 〔寇〕 濫 備(12)
溪	苦侯 滄 口侯 搆 〔強〕 滄			
疑	五侯 吽(13)	五口 偶 謁 牛吼 馮(14) 〔藕〕 馮(15) 〔后〕 后		
匣	〔侯〕 餽			胡構 後 〔后〕 詬(16)
影	一侯 區 謳 嘔 漚 優(17) 於侯 嘔 烏侯 歐 烏溝 歐 〔甌〕 樞(18)	一口 歐 歐 烏后 歐 烏垢 歐		一侯 漚 一構 漚

(1)「賢」(347上18、505下14)〔広〕莫候切(明候開一)。なお補注本は反切下字「侯」を「候」に作る。これに従うなら、本字は候韻欄に移されるべき。

(2)「霽」(328下11、359上3・10)〔広〕莫紅切(明東開一)、*「瘖」〔広〕莫候切(明候開一)、cf.段注

(3)「霽」(1921上13)〔広〕cf.(2)、*「瘖」cf(2)

(4)「隴」(411下1)〔広〕落侯切(來候開一)又力主切

(5)「族」(193下14)〔広〕昨木切(從屋開四)、*「族」〔広〕倉奏切(清候開一)、

cf.集韻

- (6) 「趣」 (377 下4) 〔広〕 倉苟切 (清厚開一) 又七屢切
- (7) 「趣」 (180 下) 〔広〕 cf. (5)
- (8) 「𧮛」 (535 上17) 〔広〕 祖鉤切 (從侯開一) 又七逾、仕垢二切
- (9) 「鉤」 (819 下19) 〔広〕 古侯切 (見侯開一)、*「句」 〔広〕 古侯切 (見侯開一)
cf. 定声。なお補注本は反切下字「候」を「侯」に作る。これに従うなら、本字は侯韻欄に移されるべき。
- (10) 「儻」 (328 下11) 〔広〕 古項切 (見講開二) 又虚項切、*「恂」 〔広〕 古候切 (見侯開一) 又苦候切、cf. 段注
- (11) 「區」 (359 上10) 〔広〕 豈俱切 (溪虞合三)、*「恂」 〔広〕 苦候切 (溪侯開一) 又古候切、cf. 段注
- (12) 「儻」 (328 下11) 〔広〕 cf. (9)、*「恂」 cf. (9)
- (13) 「吽」 (801 上2) 〔広〕 呼后切 (曉厚開一)
- (14) 「遇」 (411 下18) 〔広〕 遇俱切 (疑虞合三)
- (15) 「遇」 (411 下18) 〔広〕 cf. (13)
- (16) 「話」 (611 下19) 〔広〕 古厚切 (見厚開一) 又呼候切、*「詢」 〔広〕 胡遯切 (匣侯開一)、cf. 義登、正字
- (17) 「優」 (801 上2) 〔広〕 於求切 (影尤開三)
- (18) 「樞」 (417 上12) 〔広〕 昌朱切 (昌虞合三)、*「樞」 〔広〕 烏侯切 (影侯開一)、
cf. 外篇

曾 攝

	登開	等開	燈開	德開
滂 並		普肯 鄘		蒲北 匱 蝮 ⁽¹⁾ 伏 ⁽²⁾ 服 ⁽³⁾
明			莫鄧 緡	步得 匱 莫克 冒 莫北 冒 〔墨〕 緡
透 定				土得 貳 吐得 貳 徒得 臆
來	來登 稜			
精 心	〔曾〕 罽			先得 塞
見	工登 緡		工贈 恒 ⁽⁴⁾	

(1)「蝮」(356下19)〔廣〕芳福切(滂屋開三)，*「蝮」? 〔廣〕匹北切(滂德開一)

(2)「伏」(1136上15)〔廣〕房六切(並屋開三)，*「匱」〔廣〕蒲北切(並德開一)，
cf. 定聲，段注

(3)「服」(829下12, 1048上3, 1050下15, 1233下11)〔廣〕房六切(並屋開三)，*「匱」
〔廣〕cf. (2), cf. 集韻

(4)「恒」(1284上16)〔廣〕胡登切(匣登開一)，*「亘」〔廣〕古鄧切(見燈開一)，
cf. 定聲，徐箋

咸 攝

	單	感	勤	合
端 透	丁含 眈			它合 潔 濕 吐合 潔 濕 關(1)
定 泥	大含 潭 〔譚〕 鐔 〔南〕 樽	徒感 嗑 湛(2)		大合 逕 〔沓〕 逕 〔納〕 納
來		來感 康(3)		盧合 拉
清 從 心		千感 憎 瘡(4) 〔慘〕 瘡(5) 才感 憎(6)		先合 駮 霄
見 溪 疑 匣 影	工含 淦 古含 淦		〔紺〕 淦 口紺 坎(7) 下紺 鱗(9) 胡關 感(12) 胡紺 含(13)	工合 蛤 〔關〕 蛤 合 郃 〔合〕 郃 五合 {吸} 𪗇(8) 〔合〕 蓋(10) 一合 邑(14)
		胡感 頤 泔(11) 一感 唵		

	烏感 晦 暗(16) 闇(17)		烏合 邑(15)
--	------------------------	--	----------

	談	敢	閔	盍
端	丁甘 儻 擔		丁濫 儻(18) 都濫 儻(19)	
透	都甘 澹(20) 吐甘 儻(21)			土盍 蝶 它盍 闞(22) 吐臘 闞(23)
定	徒甘 澹 大甘 澹 〔談〕 澹 郟	大覽 澹 徒敢 啗 大敢 淡	大濫 澹 徒濫 澹 啗 儻 淡	徒臘 闞 〔踢〕 闞(24)
泥	乃甘 誦(25)			
來		來敢 攬(26) 〔攬〕 攬(27)		來盍 臘
清		千敢 慳(28)		
見				古盍 蓋 公盍 蓋 公臘 蓋
溪			口濫 瞰 苦濫 瞰	口盍 〇 穰(29)
曉		呼敢 闞(30) 火敢 嶽(31)		
匣	下甘 郟 胡甘 酣	胡敢 郟(32)		

- (1) 「闌」(763上10) [廣] 徒蓋切(定盍開一)
- (2) 「湛」(720下8) [廣] 徒減切(定賺開二)
- (3) 「廩」(1038上6) [廣] 力稔切(來寢開三), *「瓊」[廣] 盧感切(來感開一),
cf. 外篇
- (4) 「瘡」(1015下10) [廣] 七然切(清仙開四), *「替」[廣] 七感切(清感開一),
cf. 定聲
- (5) 「瘡」(111下2) [廣] cf. (4), *「替」cf. (4)
- (6) 「替」(964下9) [廣] cf. (4)
- (7) 「坎」(1042上3) [廣] 苦感切(溪感開一), *「憾」[廣] 苦紺切(溪勘開一),
cf. 外篇
- (8) 「炭」(1039上18, 1040上16) [廣] 烏紺切(影勘開一), *「陪」[廣] 烏感切(影
感開一), cf. 外篇, 義證
- (9) 「羶」(32下5, 549上1) [廣] 陟降切(知絳開二)又呼貢切, cf. 師古注
- (10) 「蓋」(948下19) [廣] 胡臘切(匣盍開一)
- (11) 「甘」(1040上12) [廣] 古三切(見談開一), *「沼」? [廣] 胡感切(匣感開一)
- (12) 「感」(737下15, 1020上10) [廣] 古禪切(見感開一), *「憾」[廣] 胡紺切(匣勘
開一), cf. 外篇, 集韻
- (13) 「含」(1099上20) [廣] 胡男切(匣覃開一), *「玲」[廣] 胡紺切(匣勘開一),
cf. 正字
- (14) 「邑」(666上6) [廣] 於汲切(影緝開三), *「呬」[廣] 烏荅切(影合開一),
cf. 外篇, 集韻
- (15) 「邑」(102上17, 1037上6) [廣] cf. (14)*「呬」cf. (14)
- (16) 「陪」(1039上18, 1040上16) [廣] 烏紺切(影勘開一), *「陪」[廣] 烏感切(影
感開一), cf. 外篇, 義證
- (17) 「闇」(1044下4) [廣] 烏紺切(影勘開一), *「曉」[廣] 烏感切(影感開一),
cf. 義證
- (18) 「儻」(1089下17, 1279上4) [廣] 都甘切(端談開一), *「甗」[廣] 都濫切(端開
開一), cf. 外篇, 集韻
- (19) 「儻」(582下9) [廣] cf. (18), *「攢」[廣] 都濫切(端開開一), cf. 外篇, 集韻
- (20) 「澹」(630下20) [廣] 徒甘切(定談開一)又徒覽, 徒濫二切
- (21) 「儻」(273上9) [廣] cf. (18)
- (22) 「闇」(405上15) [廣] 許及切(曉緝開三)
- (23) 「闇」(917下18) [廣] 徒蓋切(定盍開一)
- (24) 「闇」(405上15) [廣] cf. (22)

- (25) 「誦」(410下19) , 広韻「誦」に作る。「誦」〔広〕汝塩切(日塩開三)
- (26) 「搯」(316下4) 〔広〕魯甘切(來談開一) , *「擧」〔広〕盧敢切(來敢開一) ,
cf. 師古注
- (27) 「搯」(1280下14) 〔広〕cf. (26) , *「擧」cf. (26)
- (28) 「替」(762下13) 〔広〕七感切(清感開一)又青忝切
- (29) 「磻」, 広韻「磻」に作る。
- (30) 「閔」(1284下5) 〔広〕火斬切(曉謙開二)又苦暫切, *「喊」? 〔広〕呼覽切(曉
敢開一)
- (31) 「嵌」(1038下6) 〔広〕才敢切(從敢開一)又口銜切
- (32) 「邯」(1266上11) 〔広〕胡甘切(匣談開一)又音寒, *「滔」? 〔広〕cf. (11)

II 類

江 攝

	江	講	絳	覺
滂 並 明	[彪] 駟	白講 梔 平項 蟀		匹角 朴 平卓 服(1) [電] 馥(2) 武卓 藐
知 徹 澄 娘	丑江 蠢 丈江 撞 幢		竹巷 懸	竹角 蹕(3) 直角 濯 [濁] 鐳 女角 搨
初 崇 生	初江 銜 楚江 銜 [憲] 銜 搨	所項 懣(4)		初角 齶 躡 仕角 湼 滯 士角 湼 山角 嗽 數 所角 數
見	[江] 扛			居學 攢(5) [角] 較 椎 推 确(6) [較] 推

溪				口角 推 愨 丘角 [°] 愨(7)
匣	下江 降 戸江 降 湖江 降			
影				[渥] 偃 [握] 渥 刷

(1) 「服」 (656下4) [広] 房六切 (並屋開三)

(2) 「餓」 (1271上12) [広] 房六切 (並屋開三), *「餓」 [広] 蒲角切 (並覚開二),
cf. 字典

(3) 「蹕」 (981上2) [広] 敕角切 (徹覚開二), *「卓」 [広] 竹角切 (知覚開二), cf.
定声, 義證

(4) 「攪」 (239下12) [広] 所江切 (山江開二)

(5) 「攪」 (1288下11) [広] 虚郭切 (映鐸合一), *「推」 [広] 古岳切 (見覚開一),
cf. 集韻

(6) 「确」 (671上13) [広] 胡覚切 (匣覚開二), *「角」 [広] 古岳切 (見覚開二), cf.
字通

(7) 「愨」 (243下6), 広韻「愨」に作る。「愨」 [広] 苦角切 (溪覚開二)

蟹 攝

	佳開	蟹開	卦開	
並		薄蟹 罷		
莊 崇 生			側懈 責(1) 仕解 毗 仕懈 毗 皆(2) 所懈 曬	
疑 匣 影	[厓] 暉 [崖] 厓 暉 於佳 洼 烏佳 娃	[蟹] 解 懈	五懈 暉 厓(3) 胡懈 解 於解 阮(4) 於懈 隘	

	皆開	駭開	怪開	
滂 並	[排] 俳		普拜 湃 蒲拜 憊	
徹 澄			丑界 薑(5) 丑介 蒂(6) 丑芥 蒂(7) 丈介 鷹(8)	
莊 崇	仕皆 儕		側介 祭	

見 溪 疑	〔皆〕 菱	口駭 錯 五駭 駭		
匣 影			〔鼈〕 鼈 一介 喝 ⁽⁹⁾	

	佳合	蟹合	卦合	
並 見 匣	工蛙 媯		〔稗〕 稗 ⁽¹⁰⁾ 〔卦〕 註 胡卦 澣	

	皆合	駭合	怪合	
見 溪 匣	〔懷〕 懷		〔怪〕 壞 口怪 蕘 丘怪 蕘 ⁽¹¹⁾	

			夫	
溪			〔快〕 贈	

(1) 「蕘」(963下2) 〔広〕 側革切(莊麥開二), *「債」〔広〕 側賣切(莊卦開二), cf. 集韻, 通誼

(2) 「皆」(944下11, 981上17) 〔広〕 在詣切(從霽開四)又才賜切, *「毗」〔広〕 七懈切(崇卦開二), cf. 集韻, 義證

- (3)「厓」(981上17)〔広〕五佳切(疑佳開二), *「暉」〔広〕五懈切(疑卦開二), cf. 疑疑, 鈕考
- (4)「阨」(115上15)。補注本は反切下字「解」を「懈」に作る。
- (5)「薑」(582上11)〔広〕丑轄切(徹夬開二)
- (6)「帶」(707上16)〔広〕都計切(端霽開四), *「憇」〔広〕丑轄切(徹夬開二), cf. 字通
- (7)「蓊」(602下19)〔広〕cf. (6), *「憇」cf. (6)
- (8)「膺」(712上14)〔広〕宅買切(澄蟹開二)又池爾切
- (9)「喝」(706下5)〔広〕於轄切(影夬開二)
- (10)「稗」(444下7), 注は音穉稗之稗とある。
- (11)「蕘」(14下3)〔広〕苦怪切(溪怪合二)

山 撰

	刪開	潛開	諫開	鎔開
崇 生	士顏 辱(1) 所姦 潛 珊 〔刪〕 珊 疝 訕 珊(4)		山諫 疝 所諫 訕 珊(3)	〔刷〕 選(2)
見 匣 影	〔姦〕 間(5) 〔姦〕 間(6) 菅	下板 間	下諫 軒 〔晏〕 鸞	〔轄〕 轄(7) 一轄 轄(8) 轄(9)

	山開	產開	禰開	黠開
莊 初		初限 姦		壯黠 札
見 匣 影	〔閑〕 間 間		工覓 間 古覓 間 居覓 間	工黠 戛 居黠 拮(10) 拮(11) 〔戛〕 楷 頤 於黠 乚

				軋 窳
--	--	--	--	--------

	刪合	潛合	諫合	鎋合
幫 滂 明	[班] 般	府板 阪 ⁽¹²⁾ 普板 販 ⁽¹³⁾		[媯] 謾 [慢] 謾 媯
見 疑 匣 影	工頑 綸 胡頑 郇 [環] 輓 烏還 彎	下串 環 ⁽¹⁶⁾ 烏板 縮 烏版 縮	工宦 貫 ⁽¹⁴⁾ 五宦 蕪 [患] 環 ⁽¹⁵⁾ [宦] 環 ⁽¹⁷⁾	五刮 別

	山合	產合	禰合	黠合
知				竹滑 鷓 ⁽¹⁸⁾
匣 子				乎八 猾 于拔 滑 ⁽¹⁹⁾

- (1) 「孱」(720上5) [廣] 士山切(崇山開二)又士連切
(2) 「選」(950下20) [廣] 思兗切(心獮合四)又息絹切, *「鯨」[廣] 力輟切(來薛合三), cf. 師古注
(3) 「媯」(115下7) [廣] 蘇干切(心寒開一), *「諫」[廣] 所晏切(山諫開二)又所姦切, cf. 師古注
(4) 「媯」(115下7) [廣] cf. (3), *「諫」[廣] 所姦切(生刪開二)又所晏切, cf. (3)

- (5) 「蒨」(573下15)〔広〕古閑切(見山開二)
- (6) 「蒨」(907下13, 1061上7)〔広〕cf. (5)
- (7) 「磻」(1048下7)〔広〕古黠切(見黠開二)又枯鏑切, *「轄」? 〔広〕胡瞎切(匣鏑開二)
- (8) 「磻」(1048下7)〔広〕其謁切(群月開三)又渠列切, *「嫫」? 〔広〕烏黠切(影黠開二)
- (9) 「轄」(1044下8)〔広〕古達切(見曷開一)
- (10) 「拈」(885下6)〔広〕居質切(見質開四)又音結, *「戛」〔広〕古黠切(見黠開二)
cf. 集韻
- (11) 「拈」(1048下8)〔広〕古屑切(見屑開四), *「戛」〔広〕cf. (10), cf. 定声
- (12) 「阪」(958下12)〔広〕扶板切(並消合二)又音返
- (13) 「阪」(85上)〔広〕扶板切(並消合二)又音板
- (14) 「貫」(609上6, 610上3)〔広〕古丸切(見桓合一)又音灌, *「慣」〔広〕古患切(見諫合二), cf. 定声, 段注
- (15) 「環」(1004上18)〔広〕戸閑切(匣刪合二), *「纒」〔広〕胡慣切(匣諫合二),
cf. 定声
- (16) 「環」(858下20)〔広〕cf. (15), *「纒」cf. (15)
- (17) 「環」(12上5, 461下4, 670上11)〔広〕cf. (15), *「纒」cf. (15)
- (18) 「鷄」(706下15)〔広〕丁滑切(端黠合二)又丁刮, 丁括二切
- (19) 「滑」(1056上13)〔広〕戸八切(匣黠合二)

效 撰

	肴	巧	效	
幫 滂 並	[包] 苞 [苞] 胞 普交 泡 步交 魚 蒲交 培		普孝 窮 普教 窮	
知 徹 澄 娘	竹交 嘲 嘲 女交 饒 饒		丑孝 蹕 直孝 濯 濯 女孝 橈 女教 橈 淖(1) 撓(2)	
莊 初 崇 生	莊交 孤 初教 詵 [巢] 鄭 所交 旃 筭 梢 梢 山交 筭 梢 梢			
見	[交] 筭(3)	[絞] 伎	工孝 窖	

			[狡] 佼 姣	學	
溪	口交 礲 苦交 礲 敵				
疑			五巧 𨾏 五絞 𨾏		
曉	火交 𨾏 諱 ⁽⁴⁾ 鷓 ⁽⁵⁾ [𨾏] 呼 ⁽⁶⁾				
匣	衡交 洩 [肴] 洩 [爻] 笈 殺			下教 校 [效] 校 洩 ⁽⁷⁾	
影	一交 窅				

- (1) 「淖」(42下18, 191上, 293下12, 663上12, 891上11) [広] 奴教切(泥効開二)
- (2) 「撓」(820下11, 1108下7) [広] 奴巧切(泥巧開二)又音蒿, *「撓」[広] 奴交切(泥効開二), cf. 定声, 義證
- (3) 「笈」(428上15) [広] 古巧切(見巧開二)又胡茅切
- (4) 「諱」(656下5) [広] 荒鳥切(曉模合一)又火故切, *「鷓」[広] 許交切(曉肴開二), cf. 集韻
- (5) 「鷓」(709上5) [広] 古肴切(見肴開二), *「鷓」[広] 許交切(曉肴開二), cf. 集韻
- (6) 「呼」(800下11), 広韻に音注字「𨾏」なし。今集韻に見られる虚交切に従いここに置く。
- (7) 「洩」(399下15) [広] 胡茅切(匣肴開二)

假 撮

	麻開	馬開	禡開	
幫 並 明	蒲巴 杷 〔麻〕 [○] 穽(1)	布馬 把	莫亞 駢	
知 徹 澄	丈加 茶 直加 秬		竹駕 咤 丑亞 [○] 姪(2)	
莊 崇	側加 楸 齟(3) 壯加 齟(3) 士牙 槎		莊亞 漶	
見 疑 匣	工遐 葭 〔加〕 葭 駕 〔家〕 葭 〔猥〕 葭 〔牙〕 衙 〔遐〕 蝦	工雅 假 工暇 假	工下 賈 工暇 賈 〔價〕 賈	

	麻合	馬合	禡合	
生		山寡 蓓		
見	〔瓜〕 媯			

		駟 渦(4)		
溪	[跨]	夸		
	[夸]	誇		
曉	火瓜	譁		
	呼華	譁		
匣	胡蝸	蛙(5)	戸化	華
	[華]	驩	下化	華
			胡化	華
				擲
影	一瓜	衣		

- (1)「藝」，広韻「蟻」に作る。
- (2)「姪」，広韻「詫」に作る。
- (3)「齟」(801上1) [広] 牀呂切(崇語開二)，*「誑」 [広] 側加切(莊麻開二)，cf. 集韻，段注
- (4)「渦」(413上7) [広] 烏禾切(影戈合一)又古禾切，*「蝸」 [広] 古華切(見麻合二)，cf. 定声
- (5)「蛙」(355下14) [広] 烏媯切(影佳合二)又烏瓜切，*「蝦」? [広] 胡加切(匣麻開二)

梗 攝

	庚開	梗開	映開	陌開
幫 滂 並 明	普庚 °享 ⁽¹⁾ 亨 並庚 亨 ⁽⁴⁾ [彭] 榜 朝 澎		方孟 榜 [孟] 盟	[魄] 泊 ⁽²⁾ [魄] 泊 ⁽³⁾ 莫客 佰 莫白 鷺 伯 ⁽⁵⁾ [韻] 拍 ⁽⁶⁾
知 澄 娘	丈庚 漬 ⁽⁷⁾ 女庚 攘 ⁽⁸⁾			竹客 磔
莊 初 崇	初行 槍 初衡 鎗 槍 ⁽¹¹⁾ 鏗 ⁽¹²⁾ 仕庚 倫 [倫] 槍 ⁽¹³⁾			壯客 措 ⁽⁹⁾ 莊客 措 ⁽¹⁰⁾ 仕客 昨 醋
見 溪	[庚] 杭 漚 口庚 坑 口衡 阡	工杏 綆 [鯁] 綆 梗		工客 骼 [格] 骸 ⁽¹⁴⁾

曉 匣	火庚 亨		下孟 行 下更 行 胡更 行 胡孟 橫	胡格 輅 ⁽¹⁵⁾
影	於行 嚶 ⁽¹⁶⁾			

	耕開	耿開	諍開	麥開
幫 滂	補耕 緹 普耕 杼 普萌 秤 彌 磅 ⁽¹⁷⁾			
明	[萌] 明 ⁽¹⁸⁾ 邛 ⁽²⁰⁾	莫耿 邛 ⁽¹⁹⁾		
定				徒屮 譎 ⁽²¹⁾
來	力耕 磷 ⁽²²⁾ 力莖 駢 ⁽²³⁾			
知				陟厄 譎 張革 適 ⁽²⁴⁾ [譎] 適 ⁽²⁵⁾
澄 娘	丈耕 橙 丈莖 橙			女革 疒
崇	士耕 峭 仕耕 嶢			

溪 影	口耕 鏗 丘耕 鏗 ⁽²⁶⁾ 於耕 櫻			[兀] 搯
--------	--------------------------------------	--	--	-------

	庚合	梗合	映合	陌合
影				鳥號 獲

	耕合	耿合	諍合	麥合
曉 匣 影	呼宏 匄 [宏] 閔 紘 嶸 {嶸} 於宏 泓			[獲] 緝 ⁽²⁷⁾ 漬 ⁽²⁸⁾

(1) 「享」，広韻「亨」に作る。

(2) 「泊」(1047上5, 1277下13) [広] 傍各切(並鐸開一), *「怕」[広] 普伯切(滂陌開二), cf. 外篇

(3) 「泊」(299下13) [広] cf. (2), *「怕」cf. (2)

(4) 「亨」(21上9) [広] 撫庚切(滂庚開二)

(5) 「伯」(250上8・17, 415上4) [広] 博陌切(幫陌開二), *「陌」[広] 莫白切(明陌開二), cf. 定声, 外篇

(6) 「拍」(1157上16) [広] 普伯切(滂陌開二), *「拈」[広] 莫白切(明陌開二), cf. 字典

(7) 「漬」(63上4, 404上6) [広] 宅耕切(澄耕開二)

(8) 「攘」(603上17) [広] 汝陽切(日陽開三), *「翌」[広] 乃庚切(泥庚開二), cf. 段注

(9) 「措」(598上4) [広] 倉故切(清暮合一), *「窄」[広] 側伯切(莊陌開二),

- cf. 師古注 (1269上10)
- (10) 「措」 (1269上10) [広] cf. (9), *「筴」 cf. (9)
- (11) 「拍」 (719下16) [広] 初兩切 (初養開二) 又七良, 七養二切, *「檜」 [広] 楚庚切 (初庚開二)、cf. 段注, 拈字
- (12) 「鏗」 (437上18) [広] 口莖切 (溪耕開二), *「鎗」? [広] 楚庚切 (初庚開二)
- (13) 「檜」 (603上17) [広] 楚庚切 (初庚開二), *「偵」 [広] 助庚切 (崇庚開二), cf. 外篇
- (14) 「輅」 (1050下15) [広] 枯駕切 (溪禡開二), *「輅」 [広] 古伯切 (見陌開二),
cf. 義證
- (15) 「輅」 (1051上2) [広] 洛故切 (來暮合一), *「輅」 [広] 胡格切 (匣陌開二),
cf. 義證
- (16) 「嬰」 (1045上13) [広] 烏莖切 (影耕開二)
- (17) 「磅」 (708上20) [広] 撫庚切 (滂庚開二)
- (18) 「明」 (404下16) [広] 武兵切 (明庚開三) *「萌」? [広] 莫耕切 (明耕開二)
- (19) 「邨」 (398上8) [広] 莫幸切 (明梗開二) 又武庚切
- (20) 「邨」 (398上8) [広] 武庚切 (明庚開二) 又莫幸切
- (21) 「謫」 (1260上17) [広] 陟革切 (知麥開二) 又丈厄切
- (22) 「譌」 (720下14) [広] 力珍切 (來真開三) 又力刃切, なお広韻では來母と耕韻 (及び
その相当上, 去声韻) との結合形は見られない。
- (23) 「駘」 (1044上12) [広] 郎丁切 (來青開四), cf. (22)
- (24) 「適」 (43下8) [広] 之石切 (章昔開三) 又施隻, 都歷二切, *「謫」 [広] 陟革切
(知麥開二), cf. 師古注
- (25) 「適」 (1260上17) [広] cf. (24), *「謫」 cf. (24)
- (26) 「鏗」 (225上16) [広] cf. (12)
- (27) 「糳」 (12上11) [広] 呼麥切 (曉麥合二)
- (28) 「濫」 (147下, 1155下6) [広] 胡卦切 (匣卦合二)

咸 攝

	咸	賺	陷	洽
澄		直減 湛(1)		
初崇	初咸 攙(2) 士咸 淺(3) 曉(4)			
見匣	工咸 緘 居咸 緘(5)	{減} 咸(6)		工洽 邲 裕 [夾] 夾 下夾 狹 胡夾 狹 [洽] 洽 [狹] 陔

	銜	檻	鑑	狎
澄				丈甲 喋 霽
崇生	士銜 °嶺(7) 所銜 {轄}			所甲 {啞} 霽(8)
見溪曉匣	工銜 監 口銜 嶽(9)			火甲 呬 下甲 霽 {狎} 狎

影				匣
				押 ⁽¹⁰⁾
			烏狎	壓
				厭 ⁽¹¹⁾
		一甲	厭 ⁽¹²⁾	

- (1)「湛」(391上20)〔広〕直深切(澄侵開三)又徒減切
- (2)「撻」(719下16, 1035下10)〔広〕楚銜切(初銜開二)又士咸切
- (3)「澣」(708上19)〔広〕士減切(崇謙開二)
- (4)「𣪗」(122下)〔広〕鋤銜切(崇銜開二)
- (5)「緘」(1200上8)〔広〕古咸切(見咸開二)
- (6)「咸」(166上, 1081上12)〔広〕胡譏切(匣咸開二), *「減」?〔広〕下斬切(匣謙開二)
- (7)「𣪗」, 広韻「𣪗」に作る。
- (8)「嘗」(1037下16)〔広〕蘇合切(心合開一)又音嘗, *「嘗」〔広〕山洽切(生洽開二), cf. 定声, 鈕考
- (9)「𣪗」(710下5, 1038上13, 1045上18)〔広〕去金切(溪侵開三)、*「𣪗」〔広〕口銜切(溪銜開二), cf. 集韻, 鈕考。なお、百衲本(1038上13)は反切上定を「己」に作るが、補注本に従い「口」に改む。
- (10)「押」(1053下14)〔広〕古狎切(見狎開二), *「𣪗」〔広〕胡甲切(匣狎開二), cf. 補注
- (11)「厭」(546上3)〔広〕於葉切(影葉開四)又於琰切, *「壓」〔広〕烏甲切(影狎開二), cf. 定声, 段注
- (12)「厭」(363下17, 508上17, 1182下9)〔広〕cf. (11) *「壓」cf. (11)

III A 類

止 攝

	支開	紙開	寘開	
幫甲		〔俾〕 髀	彼義 陂 波 波(1)	
乙	彼奇 陂 彼皮 陂 波(2) 〔陂〕 波(3)	必爾 髀 〔彼〕 {髀}		
滂乙	〔披〕 鈹 被(4)	丕蟻 披 丕靡 披 被(5) 普彼 披 〔婢〕 埤		
並甲	頻移 裨 〔脾〕 埤		皮義 被 陂(6) 波(7)	
乙	〔疲〕 邨 罷 〔皮〕 蕃(9)	疲彼 被 皮彼 被 罷 亾(10) 〔被〕 骹(11) 亡俾 彌(12) 莫爾 彌(14)	〔被〕 被(8)	
明甲	〔珥〕 芊			
乙	武皮 靡(13) 〔靡〕 攢 〔糜〕 靡(15) 〔穢〕 靡(16)			
來	〔離〕 罹 灘	力爾 攏(17) 纒(18)	力智 離	

	(麗) 嬋 離	離(19)		
徹	丑支 曬 丑知 絳(20) (擲) 攤(21)			
澄	(池) °笊(22)	丈爾 阡 直氏 阡		
娘	女支 梔(23)	女綺 梔(24)		
精	子移 訾 鄱 (貲) 庇(25)	(紫) 訾 訿 莊 姐(26)	子賜 積	
清	千移 妻(27)		千賜 刺	
從	才斯 疵 庇(28)	才爾 紫(28)	才賜 訾 (漬) 訾 毗(30)	
心	(斯) °厮(31) 源 礪 徙(32)			
生	山支 醜 所宜 纜(33) 灑(34)	山爾 筵 維 躡 纜 (麗) 纜	所智 曬 山豉 曬 酒(35) 所寄 酒(36) (灑) 酒(37)	
章	止支 禊 (支) 氏 °祗(38) 雉 祗(39)	之爾 枳 (軹) 枳 (只) 枳 軹 (紙) 抵(40)	章豉 伎 之豉 伎 賓	

<p>昌書</p> <p>常</p> <p>羊</p>	<p>上支 侈</p> <p>[移] 提</p> <p>蛇</p> <p>虵</p> <p>移</p>	<p>[侈] 痕(41)</p> <p>式尒 °弛(42)</p> <p>弛</p> <p>式爾 弛</p> <p>弛</p> <p>[氏] {阨}</p> <p>弋尒 施</p> <p>施(43)</p> <p>弋爾 迪</p> <p>雉(44)</p> <p>施(45)</p> <p>羊氏 雉(46)</p>	<p>弋豉 馳</p> <p>馳</p> <p>易</p> <p>弋賜 馳</p> <p>亦豉 易</p>	
<p>見乙</p> <p>溪甲</p> <p>乙</p> <p>群乙</p> <p>疑乙</p> <p>曉乙</p> <p>影甲</p> <p>乙</p>	<p>居宜 奇</p> <p>畸</p> <p>筋(47)</p> <p>踦(48)</p> <p>丘宜 崎</p> <p>[奇] 琦</p> <p>[儀] 涯</p> <p>°儀(50)</p> <p>許宜 戲</p> <p>於奇 猗</p> <p>[猗] 旃</p> <p>裨</p> <p>[猗] 媿(51)</p>	<p>居蟻 倚</p> <p>居綺 倚</p> <p>居尒 剖</p> <p>口婢 窺(49)</p> <p>魚綺 錡</p> <p>牛爾 錡</p> <p>[蝟] 錡</p> <p>[蟻] 齟</p> <p>齟</p> <p>於綺 猗</p> <p>鞞</p> <p>旃</p> <p>倚</p> <p>奇(52)</p>	<p>其寄 騎</p>	<p>於義 隋</p>

	脂開	旨開	至開	
幫甲		[匕] 泚 ⁽⁵³⁾	必寐 比 庇 鼻 瘳	
乙		布几 泚 [鄙] 泚	[比] 泚 必二 瘳 [祕] 費 闕	
滂乙		匹履 庀 ⁽⁵⁴⁾	必備 漚 匹備 漚 普懿 漚	
並甲	[毗] 比		頻寐 比 頻二 比 皮祕 鼻 ⁽⁵⁶⁾ [備] 穠 [媚] 郡	
明乙	[肩] 郡	平鄙 仵 ⁽⁵⁵⁾		
來	力遲 驪 ⁽⁵⁷⁾		[利] 泣 莅	
知	竹尸 厖 [抵] 厖 ⁽⁵⁸⁾	竹指 擻	竹二 躓 鷲 ⁽⁵⁹⁾	
澄	直尸 坻 [遲] 坻 直夷 添 ⁽⁶⁰⁾		丈二 遲 直二 遲 致 ⁽⁶¹⁾	
精 清 從	子私 齎 千私 鄴 才私 茨 資 齊	[姊] 秭		

生	(師) 篩			
章	執夷 氐 (氐) 氐 (脂) 氐	之履 底 底 ⁽⁶²⁾ (指) 底 砥		
昌 船 書 常	尺夷 鷗 式夷 著 十夷 祁 ⁽⁶⁵⁾ 上夷 祁 ⁽⁶⁶⁾ 上尸 祁 ⁽⁶⁷⁾			(示) 視 ⁽⁶³⁾ 式二 識 ⁽⁶⁴⁾
羊	(夷) 夷	弋癸 唯		弋季 遺 弋二 易 ⁽⁶⁸⁾ 弋示 易 ⁽⁶⁹⁾ (肆) 荔 ⁽⁷⁰⁾
見乙 群甲 乙 疑乙 曉乙	(奠) 覲 巨夷 祁 鉅夷 祁 五伊 獮			鉅奠 洎 牛奠 劓 許器 鼻 ⁽⁷¹⁾ 許奠 殮 ⁽⁷²⁾ 鼻 ⁽⁷³⁾

	之	止	志	
來		(里) 俚 媿		
知		竹里 徵		

徹澄			丑吏 怡 直吏 治 丈吏 治 〔值〕 植
精 從 心 邪	〔茲〕 孳 疾茲 茨(75)	〔子〕 孳(74) 先祀 鯁(76) 〔泉〕 摠(77) 〔似〕 糶 食(78) 〔祀〕 汜(79)	先寺 思 先嗣 筭 息嗣 筭
莊 初 崇 生	側其 蓄 〔豸〕 輻 楚疑 輻 仕疑 蒼		側事 蓄(80) 山吏 使 所吏 使
章 昌 書 日 羊	〔止〕 陟 時 〔詩〕 郭 〔而〕 輻 弋之 治(88) 〔怡〕 台	〔耳〕 洱 〔異〕 食	昌志 織(81) 式志 識(82) 織(83) 式異 識(84) 志(85) 式吏 志(86) 戍餌 志(87) 〔餌〕 珥

	胎 頤			
見乙	[其] 箕 [基] 期 ⁽⁸⁹⁾ [恭] 期 ⁽⁹⁰⁾			
溪乙			丘吏 亟	
群甲		其已 邛 ⁽⁹¹⁾ 鉅己 邛 ⁽⁹²⁾		
乙	[其] 棋 碁 騏 嶷			
疑乙	[疑] 嶷	[擬] 儷	魚吏 儷	
曉乙	許其 嗜 娛 諉 戲 ⁽⁹⁴⁾		許吏 憲 喜 ⁽⁹³⁾	
	[僖] 戲 ⁽⁹⁵⁾			
影乙	於其 噫 於期 噫	於起 倚 ⁽⁹⁶⁾	於記 衣 ⁽⁹⁷⁾	

	支合	紙合	寘合	
來		[爨] 燊	力瑞 累 燊	
澄	直垂 錘		直睡 錘 直瑞 脛 女瑞 諉 媪 ⁽⁹⁸⁾	
娘				
心	息規 ⁽⁹⁹⁾ 畦 息隨 畦	先藥 嶺 先藥 °嶺 ⁽¹⁰⁰⁾		

	先隨 畦 (101)	[髓] 漙		
初	初為 衰 楚危 衰	初委 揣		
章 常 羊	 [垂] 倕 弋隨 蠟 醜 (104)	之累 篳 止樂 (102) 篳	章瑞 惴 之瑞 惴 睡 (103)	
見乙 溪乙 疑乙 曉甲 乙 于	 [危] 洧 火規 墮 °墮 (109) [魔] 戲 (110) [蕪] 鄔	[詭] 隨 鏡 丘毀 塊 (105) 空彘 蛙 (106) 空樂 蛙 (107) [跪] 侷 (108) 于詭 遠	 許為 戲 (111)	

	脂合	旨合	至合	
來	力隹 彙 力追 彙 累 (112) 彘 (113)	力水 誅 葦		

澄	直隹 椎 直推 椎 直追 椎 直類 隊(114) 隧(115)		直類 懟 墜 直值 越	
精 清 從 心 邪	[雖] 睢	子水 催 將水 權(117)	[醉] 雷(116) [翠] 萃(118) 才醉 頰 先遂 邃(119) [遂] 隧 襚 隊(120)	
生			所類 率	
常 日 羊	[誰] 誰 睡(121) 人隹 痿(122) [絀] 踈(123) [維] 淮	弋突 唯	弋季 遺	
見乙 溪乙 群甲 乙 曉甲 于	[葵] 鄭 呼惟 睢	[軌] 區 篋 [揆] 悻(124) 于軌 洧 [鮪] 洧 瘡	丘位 喟 葵季 悻 [區] 黃 呼季 睢	

- (1) 「波」 (116上1) [広] 博禾切 (幫戈合一), *「陂」 [広] 彼義切 (幫寘開三) 又彼為切, cf. 定声, 段注
- (2) 「波」 (116上1, 1261下10) [広] cf. (1), *「陂」 [広] 彼為切 (幫支開三) 又彼義切, cf. (1)
- (3) 「波」 (901下2) [広] cf. (2), *「陂」 cf. (2)
- (4) 「被」 (175下, 1036上2, 1038上12) [広] 皮彼切 (並紙開三) 又平義切, *「披」 [広] 敷羈切 (滂支開三), cf. 定声, 字通
- (5) 「被」 (716下14) [広] cf. (4)
- (6) 「陂」 (665上10) [広] 彼義切 (幫寘開三)
- (7) 「波」 (1156上15) [広] cf. (1)
- (8) 「被」 (389上13), 注は音被馬之被とある。
- (9) 「番」 (757下20, 907上5) [広] 附衰切 (並元合三)
- (10) 「𠵼」 (425下13) [広] 敷悲切 (滂脂開三), *「𠵼」? [広] 符悲切 (並脂開三)
- (11) 「陂」 (648下10) [広] 文彼切 (明紙開三)
- (12) 「彌」 (672下14) [広] 武移切 (明支開四), *「𠵼」 [広] 綿婢切 (明紙開四), cf. 正義, 集韻
- (13) 「靡」 (614上11, 1016上10, 1080上6, 1211上10, 1269上16) [広] 文彼切 (明紙開三) *「靡」 [広] 靡為切 (明支開三), cf. 集韻
- (14) 「彌」 (1044下9) [広] cf. (12), *「𠵼」 cf. (12)
- (15) 「靡」 (250下18, 668上18, 780下19, 860下4, 1051上6, 1161下17) [広] cf. (13), *「靡」 cf. (13)
- (16) 「靡」 (47上12) [広] cf. (13), *「靡」 cf. (13)
- (17) 「纒」 (711上11) [広] 盧計切 (來齊開四), *「累」 [広] 力委切 (來紙合三), cf. 補注
- (18) 「纒」 (710上13) [広] 所綺切 (生紙開三), *「纒」? [広] 呂支切 (來支開三)
- (19) 「離」 (643上7, 709下14) [広] 呂支切 (來支開三) 又力智, 郎計二切
- (20) 「絺」 (28上19) [広] 丑飢切 (徹脂開三)
- (21) 「攏」 (1052上2) [広] 呂支切 (來支開三), *「攏」 [広] 丑知切 (徹支開三), cf. 義證, 集韻
- (22) 「籠」, 広韻「籠」に作る。
- (23) 「屨」 (1037下18) [広] 女夷切 (娘脂開三) 又女履切
- (24) 「屨」 (1037上1) [広] 女履切 (娘旨開三) 又音尼, *「旒」 *「𠵼」 [広] 女氏切 (娘紙開三), cf. 段注
- (25) 「疵」 (709上5) [広] 疾移切 (從支開四), *「𠵼」 [広] 即移切 (精支開四), cf. 段注
- (26) 「𠵼」 (958上5, 1136下3) [広] 茲野切 (精馬開四)
- (27) 「𠵼」 (613下7) [広] 取私切 (清脂開四) 又七西切

- (28)「蕪」(1090上10)〔広〕即移切(精支開四)
- (29)「庇」(127上16)〔広〕七賜切(清寔開四)。なお補注本は帛字「庇」を「疵」に作る。
「疵」〔広〕cf. (25)
- (30)「臙」(1094上9)〔広〕七懈切(崇卦開二), *「皆」〔広〕疾智切(從寔開四),
cf. 定声, 集韻
- (31)「廡」, 広韻「廡」に作る。
- (32)「徙」(405上7, 750上8, 1144下11)〔広〕斯氏切(心紙開四)
- (33)「纒」(1037下15)〔広〕cf. (18), *「襪」?〔広〕所宜切(生支開二)
- (34)「灑」(717上18, 1041下6)〔広〕所寄切(生寔開二)又所綺, 所蟹, 砂下三切, *
「灑」〔広〕所宜切(生支開二)
- (35)「洒」(804上5)〔広〕先體切(心齊開四)又所賣切, *「灑」〔広〕cf. (34), cf. 定声,
集韻
- (36)「洒」(654上5, 1197下9)〔広〕cf. (35) *「灑」cf. (35)
- (37)「洒」(232上8, 654上5, 1197下9)〔広〕cf. (35), *「灑」cf. (35)
- (38)「抵」, 広韻「抵」に作る。
- (39)「抵」(651下6, 660上19)〔広〕旨夷切(章脂開三), *「抵」〔広〕章移切(章支開
三), cf. 定声, 徐箋
- (40)「抵」(994下7)〔広〕都禮切(端齊開四), *「抵」〔広〕諸氏切(章紙開三), cf.
段注, 集韻
- (41)「痾」(993上2)〔広〕章移切(章支開三)又旨夷切。なお、十韻彙編索引によると
「痾」には支, 脂韻の他に紙韻が五代刊本切韻に見られる如くなっているが、その該当箇
所は破損して見ることができない。
- (42)「弛」, 広韻「弛」に作る。
- (43)「施」(1038上16)〔広〕式支切(書支開三)又式鼓, 以寔二切, *「迤」〔広〕移爾
切(羊紙開四), cf. 定声, 段注
- (44)「雉」(397上17)〔広〕直几切(澄旨開三)
- (45)「施」(709上19)〔広〕cf. (43), *「迤」cf. (43)
- (46)「雉」(584上20)〔広〕cf. (44)
- (47)「躄」(355上6)〔広〕去奇切(溪支開三), *「奇」〔広〕居宜切(見支開三), cf.
定声
- (48)「躄」(864下20)〔広〕去奇切(溪支開三)又居綺切, *「奇」〔広〕cf. (47), cf. 定
声
- (49)「窺」(588上12)〔広〕去隨切(溪支合四), *「跄」〔広〕丘弭切(溪紙開四), cf. 外篇
- (50)「躄」, 広韻「躄」に作る。
- (51)「棋」(1294下10)〔広〕去其切(溪之開三)

- (52) 「奇」 (643上7) [広] 居宜切 (見支開三) 又渠礪切, *「倚」 [広] 於綺切 (影紙開三), cf. 定声, 集韻
- (53) 「汎」 (413下17) [広] 房脂切 (並脂開四)
- (54) 「疋」 (150上) [広] 匹婢切 (滂紙開四)
- (55) 「任」 (390上11) [広] 敷悲切 (滂脂開三), *「邳」? [広] 符悲切 (並脂開三)
- (56) 「喚」 (216下7) [広] 匹備切 (滂至開三)
- (57) 「驪」 (407下5) [広] 呂支切 (來支開三)
- (58) 「底」 (826上9) [広] 諸市切 (章止開三), *「砥」 [広] 旨夷切 (章脂開三), cf. 段注。なお音注字「砥」は「祗」の誤写か。「祗」 [広] 旨夷切 (章脂開三)
- (59) 「鷺」 (1136上17) [広] 脂利切 (章至開三)
- (60) 「沛」 (114上) [広] 興之切 (羊之開四), *「坻」 [広] 直尼切 (澄脂開三), cf. 集韻
- (61) 「致」 (710下5) [広] 陟利切 (知至開三), *「緻」? [広] 直利切 (澄至開三)
- (62) 「底」 (425下11) [広] 都禮切 (端齊開四), *「砥」 [広] 職雉切 (章旨開三), cf. 集韻
- (63) 「視」 (1249下3, 1261下5) [広] 常利切 (常至開三) 又音是, *「示」 [広] 神至切 (船至開三), cf. 定声
- (64) 「識」 (1071上4) [広] 職吏切 (章志開三)
- (65) 「邳」 (530下8) [広] 渠脂切 (群脂開三), *「提」 [広] 是支切 (常支開三), cf. 定声。
なおお三, 切二, 王二には「邳」に又音として市支反 (常支開三) が見られる。
- (66) 「邳」 (78上8, 347下4, 686上4) [広] cf. (65), *「提」 cf. (65)
- (67) 「邳」 (183下) [広] cf. (65), *「提」 cf. (65)
- (68) 「易」 (917上2) [広] 以岐切 (羊寘開四)
- (69) 「易」 (713下14) [広] cf. (68)
- (70) 「荔」 (411上19) [広] 力智切 (來寘開三) 又音隸
- (71) 「喚」 (216下7) [広] 匹備切 (滂至開三), *「呬」 [広] 虚器切 (曉至開三), cf. 集韻
- (72) 「瘡」 (176上) [広] 於計切 (影齊開四)
- (73) 「喚」 (1044上6) [広] cf. (71)
- (74) 「芋」 (254下2) [広] 疾置切 (從志開四), *「籽」 [広] 即里切 (精止開四), cf. 段注
- (75) 「茨」 (757上4) [広] 疾資切 (從脂開四)
- (76) 「鯉」 (238上1) [広] 蘇來切 (心哈開一), *「蕙」 [広] 胥里切 (心止開四), cf. 外篇
- (77) 「鯉」 (232下3) [広] 息茲切 (心之開三), *「蕙」? [広] cf. (76)
- (78) 「食」 (1088下17, 1115上18) [広] 羊吏切 (羊志開四) 又乘力切, *「飢」? [広] 祥吏切 (邪志開四), cf. 集韻

- (79) 「汜」(21下9, 1281下19) [広] 符咸切(並凡合三)又音汎、*「汜」[広] 詳里切(邪止開四), cf. 師古注
- (80) 「菑」(737下19) [広] 側持切(莊之開二), *「俶」[広] 側吏切(莊志開二), cf. 定声, 段注
- (81) 「織」(263下12) [広] 職吏切(章志開三)又音職, *「熾」[広] 昌志切(穿志開三) cf. 師古注
- (82) 「識」(278下19, 281下17, 290上14, 510上8, 735下7, 830下2, 1214下20, 1268上16) [広] cf. (85) *「幟」[広] 式吏切(書志開三), cf. 定声
- (83) 「織」(858下4) [広] cf. (80), *「幟」[広] cf. (82), cf. 師古注
- (84) 「識」(434上10, 1115上11, 1182下14) [広] cf. (82), *「幟」cf. (82)
- (85) 「志」(163上, 558下2) [広] 職志切(章志開三), *「幟」[広] cf. (82), cf. 鈕考
- (86) 「志」(136上) [広] cf. (85) *「幟」cf. (85)
- (87) 「志」(569上13) [広] cf. (85), *「幟」cf. (85)
- (88) 「治」(409下3) [広] 直之切(澄之開三), cf. 段注
- (89) 「期」(936下14) [広] 渠之切(群之開三), *「朞」[広] 居之切(見之開三), cf. 外篇, 定声
- (90) 「期」(61上16) [広] cf. (89) *「朞」cf. (89)
- (91) 「邳」(397下17) [広] 墟里切(溪止開三)又渠記切
- (92) 「邳」(142下) [広] cf. (91)
- (93) 「喜」(562上14) [広] 虛里切(曉止開三), *「熹」[広] 許記切(曉志開三), cf. 段注
- (94) 「戲」(711下11) [広] 許鴉切(曉支開三)
- (95) 「戲」(333上20) [広] cf. (94)
- (96) 「倚」(963上13) [広] 於綺切(影紙開三)
- (97) 「衣」(483下7) [広] 於既切(影未開三)又音衣
- (98) 「婁」(447上3) [広] 竹惠切(知寘合三)
- (99) 「規」, 広韻「規」に作る。
- (100) 「嶺」, 広韻「嶺」に作る。
- (101) 「睦」(445下15), 百衲本, 反切上字を「元」に作るが, 今補注本に従い「先」に改む。
- (102) 「樂」, 広韻「樂」に作る。
- (103) 「腫」(150上) 馳偽切(澄寘合三)又羽求切
- (104) 「臚」(231上9, 416下2) [広] 許規切(曉支合四), *「蠟」[広] 悅吹切(羊支合四), cf. 句讀
- (105) 「境」(393下9) [広] 過委切(見紙合三)

- (106) 「蛙」 (645下4) [広] 丘弭切 (溪紙開四)
- (107) 「蛙」 (1234上8, 1295上1) [広] cf. (104)
- (108) 「隗」 (711上11) [広] 過委切 (見紙合三)
- (109) 「墮」, 広韻「墮」に作る。
- (110) 「戲」 (1139下9) [広] 許羈切 (曉支開三) 又荒烏, 香義二切
- (111) 「戲」 (464上11) [広] 香義切 (曉寘開三) 又許羈, 荒烏二切
- (112) 「累」 (84下6, 387上13, 408上1, 409下3, 765上13, 1047下19, 1129上10, 1141上7)
[広] 良僞切 (來寘合三) 又力委切
- (113) 「彙」 (147上, 410下3, 717下16, 1133下7, 1177上13) [広] 力委切 (來紙合三)
- (114) 「隊」 (708上20, 888下16, 1161下17, 1232下14) [広] 徒對切 (定隊合一), *「墜」
[広] 直類切 (澄至合三), cf. 段注
- (115) 「隱」 (1223下2) [広] 徐醉切 (邪至合四), *「墜」, [広] cf. (112), cf. 集韻,
拈字
- (116) 「簡」 (424上11) [広] 但兗切 (從彌合四), *「構」, [広] 將遂切 (精至合四) 又醉
緩切, cf. 師古注
- (117) 「權」 (709上14) [広] 昨回切 (從灰合一) *「噉」, [広] 遵誅切 (精旨合四), cf.
定声
- (118) 「萃」 (706上8) [広] 秦醉切 (從至合四), *「翠」, [広] 七醉切 (清至合四), cf.
補注
- (119) 「遼」, 広韻「遼」に作る。
- (120) 「隊」 (410下8, 1252下18, 1255下2, 1257下4) [広] cf. (111), *「遼」 [広]
徐醉切 (邪至合四), cf. 定声
- (121) 「腫」 (707上11, 786下7) [広] cf. (100) *「腫」? [広] 是為切 (常支合三)
- (122) 「痿」 (106上13, 477上13, 776上8) [広] 人垂切 (日支合三) 又於為切
- (123) 「痿」 (106上13) [広] 烏禾切 (影戈合一), *「痿」? [広] cf. (120)
- (124) 「悻」 (1083上10) [広] 其季切 (群至合四), *「悻」, [広] 求葵切 (群旨合四),
cf. 集韻

蟹 攝

			祭開	
並甲			[蔽] 蔽	
徹			丑制 滯(1)	
生			所例 殺(2)	
章 昌 書 常 羊			征例 狝 充制 癘 式制 貫 [筮] 瀦 弋制 泄 躄 [曳] 推 襍	
見乙 溪乙 疑甲 影乙 于			居例 °薊(3) 丘例 揭 起厲 偈(4) [藝] 蕪 於例 瘵 乙例 瘵 于例 {瘵}(5)	

			祭合	
知			竹芮 臘	
章			之銳 贅	

書			式芮 稅 說	
日			式銳 說 〔稅〕 蛻 人銳 汭 而銳 汭 〔芮〕 汭	
見乙			居衛 刷(6)	
于			檠(7) 〔衛〕 榘 〔轉〕	

- (1)「滯」(708上18)〔広〕直例切(澄祭開三), *「愆」〔広〕丑例切(微祭開三),
cf. 義證
- (2)「殺」(894上11, 898上6, 1020下17, 1048上12, 1250上2)〔広〕所拜切(生怪開二)
又所八切
- (3)「罰」, 広韻「罰」に作る。
- (4)「偈」(856下11)〔広〕其勰切(群祭開三), *「惕」〔広〕去例切(溪祭開三),
cf. 集韻
- (5)「瘞」王二には見られる。なお補注本は「瘞」に作る。「瘞」〔広〕於屬切(影祭開三)
- (6)「刷」(1039下1)〔広〕居月切(見月合三), *「刷」〔広〕居衛切(見祭合三),
cf. 定声
- (7)「檠」(377下4)〔広〕居月切(見月合三)又其月切

臻 攝

	真開臻	軫開	震開	質開櫛
幫甲	[眞] {瀕}		必刃 擯	[必] 毘 [畢] 鞞
乙	彼旻 玗 彬			
	[彬] 邠			
	[邠] 彬			
	[斌] 彬			
滂乙	匹人 繽 嬪 (2)			普密 拂 (1)
並甲	[頻] {瀕}			頻一 佻
	瀕 (3)			蒲必 邲
乙		頻忍 膺 膺		步必 叱 (4) [弼] 蕪 (5)
明乙	武巾 岷 緝 [旻] 珉 緝 [緝] 閏			
來	[隣] 隣 隣 [隣] 隣	來忍 隣 (6)	[吝] 隣 隣° [吝] (7) [藺] {隣} (8)	[栗] 溧 慄
知	竹人 填 竹真 填	竹刃 填 (9)		竹乙 厓 (10) 銓 [窒] 銓
徹	丑人 縝			丑日 踳 丑失 扶

澄			丈刃 診	丑乙 扶
從心		才忍 費 ⁽¹¹⁾	[訊] 迅 [信] 汛 訊 洒 ⁽¹²⁾	[悉] 蟋
莊 初崇 生	側巾 榛 [臻] 榛 漆 楚人 灑 ⁽¹³⁾ 仕人 榛 ⁽¹⁴⁾ 士臻 榛 ⁽¹⁵⁾ 所巾 藝 [詵] 藝		楚刃 灑 山刃 洒 ⁽¹⁶⁾	[率] 蟀
章 昌書 常日 羊	[眞] 滇 ⁽¹⁷⁾ 慎 ⁽¹⁸⁾ 充人 曠 [身] 娠 [辰] 振 弋人 蟻	之忍 振 [軫] 診 [引] 蟻	式刃 呻 [胤] 醕	之日 桎 邳 [質] 邳 蛭 隲 [刃] 仞 軻 [逸] 軼
見甲 溪甲 群乙		求閱 窞 菌	鉅刃 僅 巨刃 廛 [覲] 廛	[吉] 邳 ⁽¹⁹⁾ 口一 詰 其乙 姑 巨乙 乞 ⁽²⁰⁾

疑乙	牛巾 訢 ⁽²¹⁾ 〔銀〕 垠	〔斷〕 听	魚覲 愁	魚乙 仡 ⁽²²⁾
曉乙				許乙 肸 許密 旻 ⁽²³⁾
影甲	〔因〕 茵 網 堙			
于				于筆 洵 于密 洵

	真合諄合	軫合準合	震合稔合	質合術合
來	〔倫〕 淪 〔綸〕 淪			力出 率 ⁽²⁴⁾ 〔律〕 壘 ⁽²⁵⁾
知				竹出 宙 竹律 宙 張律 宙 丑出 怵 〔黜〕 怵
徹	丑倫 梲 椿			
精 清	〔遵〕 嶠 七旬 逵 千旬 逵 遁 ⁽²⁷⁾ 蹲 ⁽²⁸⁾ 嶠 ⁽²⁹⁾		〔俊〕 浚 ⁽²⁶⁾	
從 心	〔荀〕 郇 恂 响		〔峻〕 浚 駿 ⁽³¹⁾ 蓓 ⁽³³⁾	才恤 躄 先聿 怵 ⁽³⁰⁾ 先律 怵 ⁽³²⁾ 〔戍〕 怵 ⁽³⁴⁾

邪	{枸} 〔詢〕{枸} 〔巡〕 糾 馴 〔旬〕 馴			詠
章 船	之純 諄	之允 純	之閏 諄	〔沐〕 術 〔術〕 沐 鷓 ⁽³⁵⁾
書 常	〔純〕 醇		〔舜〕 胸	
羊	〔淳〕 純 弋旬 枸 ⁽³⁶⁾ 弋春 枸 ⁽³⁷⁾ 弋均 枸 ⁽³⁸⁾			〔聿〕 獮 鷓
見甲	〔均〕 鈞 鈞			
溪乙	去輪 困 〔困〕 箇			
群甲				揆聿 獮 ⁽³⁹⁾
影乙	於倫 韻			

- (1)「拂」(939下11, 1039上18, 1233下3, 1239下10, 1247下16)〔広〕敷勿切(滂物合三)
- (2)「嬪」(1233下14)〔広〕符真切(並真開四)
- (3)「濱」(691上1, 704上5)〔広〕必鄰切(幫真開四), *「頻」〔広〕符真切(並真開四), cf. 集韻
- (4)「唼」(709下16)〔広〕蒲結切(並屑開四), *「𪗇」 *「苾」〔広〕毗必切(並質開四), cf. 定声
- (5)「菑」(188下)〔広〕敷勿切(滂物合一)
- (6)「麟」(1037下5)〔広〕力珍切(來真開三)又良刃切
- (7)「𪗇」, 広韻「吝」に作る。
- (8)「躡」, 補注本は「躡」に作る。これも広韻になし。
- (9)「墳」(240下8, 339下1, 362下10, 468下10, 483上9, 491下15, 493上9, 527上14, 528上

13, 652上2, 728上2, 736上6, 745下11, 748上5, 793上16, 945下15, 1150下20, 1155下17, 1158下13, 1224下15, 1232上15, 1234下15, 1248下9, 1256下4, 1266下14, 1267下17)

〔広〕陟鄰切(知真開三)

(10)「屋」, 広韻「宍」に作る。

(11)「齎」(8下12)〔広〕徐刃切(邪震開四)又疾刃切

(12)「洒」(804上5)〔広〕先禮切(心蒼開四)又所賣切, *「汎」〔広〕息普切(心震開四), cf. 集韻

(13)「瀨」(396下20)〔広〕七遼切(清震開四)又側説, 初覲二切

(14)「榛」(711下8)〔広〕側説切(莊臻開二), *「榛」〔広〕士臻切(崇臻開二), cf. 集韻

(15)「榛」(1035下19)〔広〕cf. (14), *「榛」cf. (14)

(16)「洒」(232上8)〔広〕cf. (12)。なお補注本は反切下字「刃」を「鼓」に作る。これに従うなら本字は寘韻欄に移されるべき。

(17)「濱」(397上1)〔広〕都年切(端先開四)

(18)「慎」(141上)〔広〕時刃切(常震開三)

(19)「邗」(1037下17)〔広〕之日切(章質開三)

(20)「仡」(917上7)〔広〕魚迄切(疑迄開三)又許訖切。なお王二には巨乙反が見られる。

(21)「訢」(592上4)〔広〕許斤切(曉欣開三), *「閏」〔広〕語巾切(疑真開三), cf. 師古注

(22)「仡」(1038下5)〔広〕cf. (20)

(23)「夏」(769下5)〔広〕許劣切(曉薛合一)又莫發切

(24)「率」(181下)〔広〕所類切(生至合二)又所律切

(25)「壘」(709上19)〔広〕力軌切(來旨合三), *「律」?〔広〕呂郵切(來術合三)

(26)「淩」(1121上12)〔広〕私閏切(心稗合四), *「駿」?〔広〕子峻切(精稗合四)

(27)「遁」(465下10)〔広〕徒損切(定混合一)又音鈍, *「遼」〔広〕七倫切(清諄合四) cf. 義證, 集韻

(28)「躄」(1041下10)〔広〕祖尊切(從魂合一), *「墮」〔広〕七倫切(清諄合四), cf. 集韻, 古本

(29)「嶙」(1038下9)〔広〕將倫切(精諄合四)

(30)「林」(1150下1)〔広〕丑律切(徹術合三), *「誅」〔広〕辛聿切(心術合四), cf. 師古注(59下13)

(31)「鯨」, 広韻「麴」に作る。

(32)「林」(258下15)〔広〕cf. (30), *「誅」cf. (30)

(33)「蓓」(711上10)〔広〕息遺切(心脂合四)又蘇果, 沙瓦二切, *「陵」〔広〕私閏切(心稗合四), cf. 定声

(34)「怵」(59下13)〔広〕cf. (32), *「誅」cf. (32)

- (35) 「鷗」 (333上9) [広] 餘律切 (羊術合四), *「述」 [広] 食聿切 (常術合三), cf. 段注, 義證
- (36) 「杓」 (1272下18) [広] 居勻切 (見諄合四)
- (37) 「杓」 () [広] cf. (36)
- (38) 「杓」 (217上4) [広] cf. (36)
- (39) 「孺」 (1037下4) [広] 況必切 (曉質開四)。なお王一, 唐には其事反が見られる。

山 掇

	仙開	彌開	線開	薛開
幫甲 乙 滂甲 並甲 明甲 乙	〔鞭〕 篔 編 匹延 扁 〔篇〕 扁 〔翩〕 扁 〔便〕 榧 武連 謾 莫連 謾	莫踐 湏 汚 彌善 汚 湏 〔俛〕 俛(1)	頻面 便 〔面〕 備	〔鬣〕 驚 彼列 別
來	〔連〕 漣	力展 連(2) 力善 連(3) 〔鞞〕 蓮 連(4)		〔列〕 洌
知 澄 娘	竹連 鱣 竹延 𩇛(5) 直連 纒(7) 躔 〔纏〕 躔 揮(8)	女展 輓(9)		竹劣 剔 〔輓〕 剔 〔綴〕 致(6)
精		〔踐〕 淺		

見甲 乙	吉延 甄(17)	〔蹇〕 蹇	口羨 謹	居桀 偈(18)
溪甲 乙	〔蹇〕 蹇(19)			其列 碣
群乙				巨列 揭
疑乙				〔桀〕 揭
				牛列 闕 °孽(20)
影乙	於連 媽 闕 〔焉〕 闕	一扇 郛(22)	魚列 闕 °孽(20) 蘇(21)	
		一戰 郛(23)		

	仙合	獮合	線合	薛合
來	力全 緜 力專 緜			
知 澄		〔篆〕 塚	張戀 傳 直戀 傳	
精 清 從	子全 鑄 千金 荃 悛 〔錢〕 佺	子充 蒿(24) 徂充 蒿 材充 蒿		子悅 菴 叢(25) 千劣 荃(26)

心邪	[宣] 擅	自充 吮 息充 選 辭充 簡 (27)		
生				所劣 刷
章 昌 常 日 羊	[專] 篆 喘 馴 (28) 搏 (29) 上專 顛 (30) 人緣 堦 而緣 堦 如緣 堦 弋全 蠃 鈇 拍 鳶	章免 劓 之充 劓 昌充 喘 上充 縛 (31) 人充 粟 螟 軟 而充 粟 如充 磳 弋鬪 沈 [充] 沈	而掾 襦 (32)	之說 悅 昌悅 獸 尺悅 獸 人說 熇 如閱 擣 (33) 而悅 汭 (34) (悅) 說
見甲 乙 溪甲 乙 群乙 曉甲	工椽 璽 (35) 欺全 僂 (36) 去權 黍 (37) 其專 {倦} [拳] 蜷 捲 (38) [權] 捲		工掾 狷 (絹) 狷 (眷) 眷	呼悅 威 許悅 威

- (21) 「藪」 (712下9) [廣] 魚祭切 (疑祭開四), *「臬」 [廣] 五結切 (疑屑開四),
cf. 師古注
- (22) 「鄺」 (416下5, 1269上20) [廣] 於臆切 (影阮開三) 又於建切
- (23) 「鄺」 (396下2) [廣] cf. (22)
- (24) 「雋」 (583上3) [廣] 徂究切 (從孺合四)
- (25) 「叢」 (569下8) [廣] 才外切 (從泰合一), *「蕊」 [廣] 子悅切 (精薛合四),
cf. 師古注
- (26) 「荃」 (664上4) [廣] 此緣切 (清仙合四), *「絳」 [廣] 七絕切 (清薛合四),
cf. 師古注
- (27) 「簡」 (404上18) [廣] cf. (24)
- (28) 「專」 (147上) [廣] 旨究切 (章彌合三) 又之囀切, *「專」 [廣] 職緣切 (章仙合三),
cf. 師古注 (528上18, 757上16)
- (29) 「搏」 (479下9) [廣] 持究切 (澄彌合三), *「專」 [廣] cf. (28), cf. 集韻、惠記
- (30) 「顛」 (182上) [廣] 職緣切 (章仙合三)
- (31) 「鱗」 (186下) [廣] 旨究切 (章彌合三) 又職緣切
- (32) 「襍」 (146下) [廣] 入朱切 (日虞合三) 又乃亂切, *「梗」? [廣] 而究切 (日彌合三),
cf. 義證
- (33) 「搗」 (704上9) [廣] 儒佳切 (日脂合三) 又而樹切, *「搗」 [廣] 如劣切 (日薛合三),
cf. 外篇
- (34) 「洎」 (389下6) [廣] 而銳切 (日祭合三)
- (35) 「邨」 (398下17) [廣] 吉掾切 (見線合四), *「甄」 [廣] 居延切 (見仙開三), cf. 集韻
- (36) 「僂」 (602下10) [廣] 渠殞切 (群軫合三)
- (37) 「拳」 (676上12) [廣] 居倦切 (見線合三), *「券」 [廣] 丘円切 (溪仙合三),
cf. 定聲, 集韻
- (38) 「塿」 (1040下2) [廣] 居轉切 (見彌合四), *「券」? [廣] 巨員切 (群仙開三)
- (39) 「蛭」 (1039下7) [廣] 於緣切 (影仙合四) 又狂究切, *「蠟」 [廣] 香究切 (曉彌合三),
cf. 校錄, 集韻
- (40) 「蛭」 (186上) [廣] cf. (39)

効 攝

	宵	小	笑	
幫甲	必遙 杓 標 標 。廳(1) 森(2) 飄(3)			
滂甲	匹宵 嫖 匹遙 標 標(4) 漂 票 票(5)		匹妙 漂 剽 標 標 票(5)	
乙	匹姚 漂 匹昭 標(6) 票		正妙 剽 匹照 剽	
並甲	頻遙 瓢	頻小 莛	頻妙 票(7) 標(8) 標(9) 剽(10)	
明甲		莫小 杪 杪 [杪] 杪 杪	[妙] 眇(11)	
來	來朝 漻(12)		良笑 繚(13) 力笑 獠(14)	
澄	直遙 朝 丈昭 朝			

<p>精</p> <p>清</p> <p>從</p> <p>心</p>	<p>[譙] 鏹</p> <p>才消 樵</p> <p>在消 樵</p> <p>焦⁽²²⁾</p> <p>[樵] 嶠</p>	<p>子小 湫</p> <p>樛⁽¹⁶⁾</p> <p>剗⁽¹⁸⁾</p> <p>剗⁽¹⁹⁾</p> <p>千小 悄</p> <p>材小 愀⁽²⁰⁾</p>	<p>子笑 趨⁽¹⁵⁾</p> <p>癩⁽¹⁷⁾</p> <p>醜</p> <p>[醜] 趨</p> <p>千笑 峭</p> <p>才笑 煦</p> <p>趨⁽²¹⁾</p> <p>醜⁽²³⁾</p> <p>材笑 誚</p> <p>在笑 黠⁽²⁴⁾</p> <p>先召 削⁽²⁵⁾</p>	
<p>章</p> <p>常</p> <p>日</p> <p>羊</p>	<p>之遙 釗</p> <p>上遙 招⁽²⁶⁾</p> <p>[韶] 招⁽²⁷⁾</p> <p>[鏡] 繞</p> <p>弋昭 軺</p> <p>繇</p> <p>[遙] 軺</p> <p>瑤</p> <p>[繇] 鈔</p> <p>[姚] 鈔</p>	<p>如紹 繞</p> <p>人沼 擾</p> <p>[鏡] 擾</p> <p>弋少 漾</p>	<p>[繞] 擾⁽²⁸⁾</p>	
<p>見乙</p> <p>溪乙</p> <p>群乙</p>	<p>去昭 嶠⁽³⁰⁾</p> <p>丘昭 獯⁽³²⁾</p> <p>鉅昭 蟠</p>	<p>[矯] 矯</p> <p>蟠</p> <p>躄</p>	<p>居召 驕⁽²⁹⁾</p> <p>丘召 獯⁽³¹⁾</p> <p>其召 橋⁽³³⁾</p>	

	鉅驕	僑			
		嬌			
		喬 ⁽³⁴⁾			
	[橋]	驕			
	[僑]	嬌			
曉乙	許驕	敲			
	許昭	敲			
		獯			
影甲	一遥	要		一妙	要
	於驕	夭			
于	于驕	鴞			
	羽驕	鴞			

- (1) 「麤」，広韻「麤」に作る。
- (2) 「森」(360上1, 705下10, 712下10) [広] 以贖切(羊豔開四)，*「森」[広] 甫遙切(幫宵開四)，cf. 定声
- (3) 「飄」(581上5) [広] 撫招切(滂宵開三)，*「森」[広] cf. (2), cf. 師古注
- (4) 「標」(1038下17) [広] 甫遙切(幫宵開四)
- (5) 「粟」(334上1, 984下4, 1048上16) [広] 撫招切(滂宵開三)，*「標」*「標」?[広] 匹妙切(滂笑開三)
- (6) 「縹」(1051下5) [広] 敷沼切(滂小開四)
- (7) 「粟」(137上, 146下, 334上1, 685上6, 984下4, 1045上2, 1048上16) [広] cf. (5)
- (8) 「標」(1015下18) [広] 匹妙切(滂笑開三)又撫招切
- (9) 「標」(12下10) [広] 匹妙切(滂笑開三)又撫招，符少二切
- (10) 「剽」(419下2, 419下13, 424下17, 586上5, 597下9, 608上1, 665上12, 857下8, 995下20, 1078上14, 1161上7) [広] 匹妙切(滂笑開三)又符霄切
- (11) 「眇」(94上8, 437上16, 666上7, 1047下7, 1052下9, 1062上2) [広] 亡沼切(明小開四)
- (12) 「漻」(230下6) [広] 落蕭切(來蕭開四)
- (13) 「縹」(400上9) [広] 力小切(來小開三)
- (14) 「獯」(706上13) [広] 落蕭切(來蕭開四)又知卯，盧皓二切。なお王二には力召反が見られる。
- (15) 「趨」(1041下2) [広] 千水切(清旨合四)，*「趨」[広] 子肖切(精笑開四)，cf. 補注，段注
- (16) 「櫟」(1186上13) [広] 鉅交切(崇肴開二)，*「勦」[広] 子小切(精小開四)，

cf. 考異

(17)「瘡」(223上20)〔広〕側教切(莊効開二), *「焦」?〔広〕昨焦切(從宵開四),

cf. 集韻

(18)「剝」(1177下5), 広韻「剝」に作る。「剝」〔広〕子了切(精篠開四), *「勦」

〔広〕cf. (16), cf. 考異, 定声

(19)「剝」(1177下5, 1256下4, 1269上18)〔広〕cf. (17), *「勦」cf. (17)

(20)「揪」(714下12)〔広〕親小切(清小開四)

(21)「趨」(1041下2)〔広〕cf. (15), *「趨」?cf. (15)

(22)「焦」(1285上2)〔広〕即消切(精宵開四), *「焦」〔広〕cf. (17), cf. 外篇

(23)「黠」(16上5, 550下2, 1154上20)〔広〕昨焦切(從宵開四), *「諛」〔広〕才笑切(從笑開四), cf. 説文。なお王一には「黠」に才笑反が見られる。

(24)「黠」(486下8)〔広〕cf. (23), *「諛」cf. (23)

(25)「削」(594上8, 1092上8)〔広〕息約切(心葉開四), *「鞘」〔広〕私妙切(心笑開四), cf. 定声, 徐箋, 鈕考

(26)「招」(183上, 1040下7)〔広〕止遥切(章宵開三)

(27)「招」(230上18, 719下14)〔広〕cf. (26)

(28)「擾」(33上16)〔広〕而沼切(日小開三)

(29)「驕」(720上20)〔広〕舉喬切(見宵開三)

(30)「嶠」(1043上9)〔広〕渠廟切(群笑開三)又音喬, *「蹻」?〔広〕去遥切(溪宵開四)

(31)「獯」(687上3)〔広〕五弔切(疑嚄開四), *「趨」?〔広〕去遥切(溪宵開四),

cf. 師古注

(32)「獯」(687上3)〔広〕cf. (31), *「趨」cf. (31)

(33)「橋」(1041下3)〔広〕巨嬌切(群宵開三)

(34)「喬」(501下13)〔広〕舉喬切(見宵開三)

假 攝

	麻開	馬開	禡開	
精 從 邪	 似嗟 邪		子夜 借 才夜 藉 籍(1)	
章 昌 日 羊	 而遮 婁 兒遮 婁 弋奢 邪 茶(2)	[者] 堵 昌野 哆	 弋舍 射 [夜] 射	
曉乙			火亞 呼(3)	

(1)籍 (1078上18) [広] 秦昔切 (從昔開四), *「藉」? [広] 慈夜切 (從禡開四)

(2)茶 (414上4) [広] 宅加切 (澄麻開二) 又音徒

(3)呼 (10下16) [広] 荒烏切 (曉模合一), *「呼」 [広] 呼訝切 (曉禡開二), cf. 句誦, 字通

梗 攝

	清開	靜開	勁開	昔開
幫甲 乙 並甲	[并] 絝(1)			必亦 辟 頻亦 辟 [關] 辟 [璧] 辟
來	力成 令 力征 令			郎益 鄺(2)
知 徹 澄	[貞] 鄭 禎 漬		丑政 偵	丑益 𠵼 持益 𠵼 鄺(3) 直益 鄺(4)
精 清 從 心	[精] 氏 菁 先營 駢		才姓 請 材姓 請 才性 奔 請 阱(6) 材性 請 阱(7)	[脊] 駢 趨亦 厓(5) [昔] 渴

章	(征) 鉦 (正) 鉦			之亦 撫 跣 跣 之石 撫 射 射 食亦 郝 式亦 整
船書				
常羊	(成) 盛	弋井 郢	時政 盛	亦石 射 余赤 錫 弋赤 憚 弋尺 繹 [亦] 憚 嶧 嶧 [憚] 嶧 [驛] 嶧 [易] 易 ⁽⁸⁾
見乙				居碧 獲 ⁽⁹⁾ 俱碧 獲 ⁽¹⁰⁾
曉乙 影甲		一井 廢	朽政 詞	[益] 噍

	清合	靜合	勤合	昔合
羊	[當] 仰			[役] 疫
溪甲	[傾] 頃			

	庚開	梗開	映開	陌開
幫乙			彼命 鄺 乘 ⁽¹⁾	
並乙	[平] 枰			
見乙	[審] 檠 ⁽²⁾		其敬 檠	[戟] 檠
群乙	巨京 檠			
乙	其京 鱣			
疑乙				[逆] 繼

	庚合	梗合	映合	陌合
于	[榮] 蝶			

- (1) 「耕」 (1051下18) [広] 北萌切 (幫耕合二), *「井」? [広] 府盈切 (幫清開四)
- (2) 「鄺」 (394上1, 491上1) [広] 郎擊切 (來錫開四) 又力知切
- (3) 「鄺」 (394上1, 491上1) [広] cf. (2)
- (4) 「鄺」 (550上3) [広] cf. (2)
- (5) 「厝」 (400上7) [広] 倉各切 (清鐸開一)
- (6) 「阱」 (258下3) [広] 疾郢切 (從靜開四), *「穿」 [広] 疾政切 (從勁開四),
cf. 段注
- (7) 「阱」 (1015下9) [広] cf. (6), *「穿」 cf. (6)
- (8) 「易」 (661下5), 注は音改易之易とある。
- (9) 「獲」 (183下) [広] 居縛切 (見藥合三)
- (10) 「獲」 (645上8) [広] cf. (9)
- (11) 「乘」 (346上17) [広] 兵永切 (幫梗開三), *「椽」 [広] 陂病切 (幫映開三),
cf. 定声, 義證
- (12) 「檠」 (679下17) [広] 渠京切 (群庚開三), *「檠」 [広] 居影切 (見梗開三),
cf. 広韻

流 攝

	幽 開	黠 開	幼 開	
明甲	亡虬(1)繆			
來	力幽 膠(2)	力糾 繆(3) 蓼(4)		
見甲	居蚪 繆 繆(6) 繆(7) 居虬(1)繆 繆(8) 繆(9)	[糾] 赴	古幼 赴(5)	
群甲	[蚪] 璆 觥 球(10) [虬](1)觥 球(11)			
曉甲	許蚪 休(12) 許虬(1)休(13) 虛蚪 休(14)			
影甲		一糾 黠		
于	于虬(1)獠(15) 蔡(16) [由] 蔡(17)			

(1)「虬」，広韻「蚪」に作る。

(2)「膠」(1040上12) [広] 力求切(來尤開三)

(3)「繆」(719下20) [広] 力幽切(來幽開四)又翹糾切

(4)「蓼」(720上9) [広] 盧烏切(來篠開四)

(5)「赴」(720上4) [広] 居黠切(見黠開四)。なお反切下字「幼」に関し、補注に「先

謙曰、官本古幼之幼作有」と有る。

(6)「摻」(349下3)〔広〕古肴切(見肴開二)又音留, *「糝」〔広〕居蚪切(見幽開四),
cf. 補注

(7)「糝」(352下6)〔広〕魯刀切(來豪開一)又力報切

(8)「摻」(1150下5)〔広〕cf. (5), *「糝」cf. (5)

(9)「糝」(1199下8)〔広〕莫浮切(明尤開三), *「糝」〔広〕cf. (5), cf. 定声, 字
通

(10)「球」(1048下8)〔広〕巨鳩切(群尤開三), *「糝」〔広〕渠幽切(群幽開四), cf.
説文, 義證

(11)「球」(389下12)〔広〕cf. (9), *「糝」cf. (9)

(12)「休」(839上18)〔広〕許尤切(曉尤開三), *「憊」〔広〕香幽切(曉幽開四), cf.

定声, 集韻

(13)「休」(393上12, 394下3, 396下9)〔広〕cf. (11), *「憊」cf. (11)

(14)「休」(37上1)〔広〕cf. (11), *「憊」cf. (11)

(15)「獠」(126下)〔広〕許交切(曉肴開二)

(16)「蔡」(401上8)〔広〕倉大切(清泰開一)

深 攝

	侵	寢	沁	緝
來	[林] 琳 [淋] 滲(2)			[立] 颯(1)
知 徹 澄 娘	竹林 鑑(3) 丑林 郴 直林 湛 女林 恁(4)			
精 清 從 邪	才心 瀾 [尋] 鐔 鐔 潭(6)		子枉 竊 子禁 侵 子鳩 侵 千浸 沁	[集] 輯 楫(5)
初 崇 生	初林 嶠(7) 仕林 岑 士林 岑 謹(8) 仕金 嶠(9) 所林 摻(10) [森] {嶠}		初禁 讖 山禁 滲	
章	之林 葳 箴 鍼			

書	[斟] 斟	[審] 沈 暉 暉		
常	上林 謹 [謹] 湛 ⁽¹⁾			[十] 什 [什] 汁 ⁽²⁾
日	人禁 紆		人禁 任	
見乙			角甚 儼	[汲] 汲 [級] 級
群乙	其禁 衿 ⁽³⁾	其錦 禁 鉅錦 儼	其禁 禁	
疑乙	牛林 峯 [吟] 峯	魚錦 吟 ⁽⁴⁾		
曉乙				許及 吸 [翕] 歛
影甲	一尋 惜			
乙	於今 瘡		於禁 瘡 飲	
于				于及 煜

- (1)「颯」(152上,1138上19) [廣] 蘇合切(心合開一)
- (2)「滲」(1042上6) [廣] 所禁切(生沁開二), *「淋」? [廣] 力尋切(來侵開三)
- (3)「鑑」(459下20,486下19,814下12,1049下10,1279上9) [廣] 丑甚切(徹寢開三), *「榘」[廣] 知林切(知侵開三), cf. 集韻
- (4)「慙」(130上,152下) [廣] 如林切(日侵開三)又音荏
- (5)「楫」(291上4,608下5,1259上14) [廣] 即葉切(精葉開四), *「楫」[廣] 秦入切(從緝開四), cf. 集韻
- (6)「潭」(1035上20,1036上13,1050上11) [廣] 徒含切(定覃開一), *「溲」[廣] 徐林切(邪侵開四), cf. 定声
- (7)「嶮」, 廣韻「嶮」に作る。
- (8)「謹」(424下10) [廣] 氏任切(常侵開三)
- (9)「嶮」(1045上11) [廣] 昨淫切(從侵開四), *「岑」[廣] 鋤林切(崇侵開四), cf. 定声
- (10)「搽」(720下10) [廣] 所咸切(生咸開二)又所減切

- (11) 「湛」 (185下) [広] 徒減切 (定嫌開二) 又直心切, * 「燿」 [広] 氏任切 (常侵開三),
cf. 定声
- (12) 「汁」 (136下) [広] 之入切 (章緝開三), * 「什」 [広] 是執切 (常緝開三), cf.
定声
- (13) 「衿」 (1036上1) [広] 居吟切 (見侵開三)。広韻には「其」に見母音も有るが, 師
古音注では通常「其」は群母音の上字として用いられているので一応こゝに置く。
- (14) 「吟」 (1050上4) 魚金切 (疑侵開三) 又宜禁切

咸 攝

	塩	琰	豔	葉
幫乙	彼廉 砭			
透				吐獵 闕(1)
來	(親) 廉 (廉) 簾		力贍 斂	
知娘	竹占 霑			(輒) 輒 女涉 躡 躡(2) 籥(3) (躡) 籥 籥(4)
精 清 從 邪	子廉 漸 (潛) 潛 濕 似廉 溥			(接) 睫 楫 捷(5) (妾) 噤 緘 (捷) 嶮(6) 緘(7)
章 昌	 昌占 滄 佔 ¹⁰		之贍 占 昌贍 襜	之涉 懽 懽 懼 誦(8) 昌涉 沾(9)

書 常 日 羊	人占 °韻(11) 弋占 錫(12) 〔櫛〕 陆 〔闔〕 陆	式冉 陝 上冉 剡 弋冉 剡 〔琰〕 淡	弋瞻 焱 炎(13) 〔豐盍〕 揆(14)	式涉 葉 〔攝〕 歛 弋涉 葉
見乙 群乙 曉乙 影甲 乙 于	其炎 鍼 鉗 拊 箝 其占 箝 其廉 柑(16) 〔淹〕 奄(17)	居儉 檢(15) 〔儉〕 芡 〔險〕 獫 一琰 厭	一豔 厭 一艷 厭 一瞻 厭	一葉 厭 伊葉 厭 一涉 厭 于輒 鎋 °轟(18)

- (1) 「闔」 (1186下13)〔広〕 許及切 (晚緝開三), *「蹋」? 〔広〕 徒蓋切 (定蓋開一)
- (2) 「攝」 (715下3) 〔広〕 奴協切 (泥估開四)
- (3) 「箝」 (337上12) 〔広〕 奴協切 (泥估開四), *「鏘」 〔広〕 尼輒切 (娘葉開三), cf. 段注, 集韻
- (4) 「箝」 (232上9) 〔広〕 cf. (3), *「蹋」? 〔広〕 尼輒切 (娘葉開三)
- (5) 「捷」 (70下4, 1179下9) 〔広〕 疾葉切 (從葉開四), *「捷」〔広〕 即葉切 (精葉開四), cf. 師古注
- (6) 「嶠」 (710下7), 広韻「嶠」に作る。「嶠」〔広〕 子入切 (精緝開四), *「嶠」〔広〕 疾葉切 (從葉開三), cf. 集韻
- (7) 「漣」 (1043下14) 〔広〕 七接切 (清葉開四)
- (8) 「轟」 (147下, 394上18) 〔広〕 而涉切 (日葉開三), *「轟」 〔広〕 之涉切 (章葉開三), cf. 定声, 外篇

- (9) 「咕」(654下15)〔広〕他協切(透估開四), *「詰」?〔広〕叱涉切(昌葉開三)
- (10) 「估」(1115下14)〔広〕丁兼切(端添開四), *「駭」〔広〕處占切(昌塩開三), cf. 集韻
- (11) 「顛」, 広韻「𪔐」に作る。
- (12) 「銛」(601上14)〔広〕息廉切(心塩開四)
- (13) 「炎」(368下9, 384上1, 514下2, 723下3, 1038下6, 1204上3)〔広〕于廉切(于塩開三), *「焰」〔広〕以瞻切(羊豔開四), cf. 段注, 集韻
- (14) 「揆」(229下2)〔広〕舒贍切(書豔開三)
- (15) 「檢」, 広韻「檢」に作る。
- (16) 「柑」(337上12)〔広〕古三切(見談開一), *「筭」〔広〕巨淹切(群塩開三), cf. 補注, 義證
- (17) 「奄」(705上2)〔広〕衣儉切(影琰開三), *「菴」〔広〕央炎切(影塩開三), cf. 外篇
- (18) 「畢」, 広韻「嘩」に作る。

III B 類

通 攝

	東	董	送	屋
幫 滂 並 明	〔風〕 楓 〔馮〕 汎 濕			方目 覆 ⁽¹⁾ 〔福〕 徧 芳目 覆 芳六 蝮 敷福 蝮 芳福 覆 復 ⁽²⁾ 扶福 復 方目 復 扶目 復 防目 復 房目 復 房福 復 〔服〕 復 班 蝮 ⁽³⁾ 〔伏〕 宓 ⁽⁴⁾
定		徒孔 網 ⁽⁵⁾		
來	來東 權 〔隆〕 °瘡 ⁽⁷⁾ 〔隳〕 瓏 龔 籠 ⁽⁸⁾	來孔 籠 ⁽⁹⁾		

知 徹 澄 娘	(冲) 种		竹仲 中 衷	丑六 情(9) 〔軸〕 妯 〔逐〕 筑 女六 惡
精 清 心	(嵩) 娥			子木 鏃 子六 踰 。 蹇(10) 子育。 蹇(10) 。 蹇(11) 千六。 蹇(10)
章 書 羊	〔終〕 螽 弋中 彤	(勇) 容		式六 條 弋六 粥 〔育〕 粥 清
影				於六 郁 陝 奠 煥 奧(12)

	鍾	腫	用	燭
幫 滂	〔峯〕 封(14)	方勇 泛(13)		

來				[綠] 淥 [録] 遠
知 澄				竹足 瘰 丈欲 躅
精	子庸 從 ¹⁵ 子容 從 ¹⁷	子勇 縱 ¹⁶	子用 癢 縱 從 ¹⁸	千欲 ¹⁰ 𨔵 ¹⁹ [促] 趣
清	千容 攃 樞 從 七庸 樞 從 七容 樞 從 千庸 樞 從 千松 樞			
從 心		先勇 從 [竦] 從 相勇 莖 ²⁰	才用 從 材用 從	
章 昌 常 日	之容 松 之庸 鍾 ²¹ (鍾) 鍾 ²² 人庸 茸	之勇 種 尺勇 衝 ²³ 上勇 {瘡} 如勇 °兀 ²⁴ 穴 人勇 穴 茸 ²⁵		之欲 屬 [觸] 蜀 [辱] 鄜 縵

羊	[容] 俗 溶 鎔	[勇] 容 ²⁶		[浴] 浴 [欲] 醵
見		久勇 拱 [拱] 菴	居用 供 居共 供	居足 榻 居玉 恭
溪		丘勇 恐		
疑	魚龍 喞 [馮] 喞 綢 遇 ²⁷			
曉	[洵] 洵	許勇 洵		
影	於龍 雍 瓿 ²⁸ [雍] 雍			

- (1) 「覆」(93上20, 639下10) [広] 芳福切 (滂屋開三) 又敷救切
- (2) 「復」(688下17) [広] 房六切 (並屋開三)
- (3) 「瘦」(356下19) [広] 芳福切 (滂屋開三)
- (4) 「宓」(155上6, 1052下2) [広] 彌畢切 (明質開三) 又美畢切、*「慮」[広] 房六切 (並屋開三), cf. 師古注
- (5) 「網」(1043下14) [広] 徒紅切 (定東開一) 又徒弄切
- (6) 「蘿」(720下12) [広] 盧紅切 (來東開三) 又音龍
- (7) 「癩」, 広韻「癩」に作る。
- (8) 「寵」(411下9) [広] 丑隴切 (徹腫合三)
- (9) 「檣」(606上8) [広] 許竹切 (曉屋開三), *「蕃」? [広] 丑六切 (徹屋開三)
- (10) 「蹙」, 広韻「蹙」に作る。
- (11) 「臧」, 広韻「臧」に作る。
- (12) 「輿」(328下8, 359上11, 1240上6) [広] 烏到切 (影号開一), *「煥」[広] 於六切 (影屋開三), cf. 師古注
- (13) 「泛」(66上11) [広] 房乏切 (並乏合三) 又孚梵切, *「嬰」[広] 方勇切 (幫腫合三), cf. 師古注
- (14) 「封」(1162下16) [広] 府容切 (幫鍾合三), *「峯」? [広] 敷容切 (滂鍾合三)
- (15) 「從」(784下8, 1284下18) [広] 七恭切 (清鍾合四), *「縱」[広] 即容切 (精鍾合四)

- 又子用切，cf. 定声，段注
- (16) 「縱」(578下1)〔広〕cf. (15)
- (17) 「從」(38下13, 54下14, 237上9, 434下6, 459下19, 465上19, 465下3, 497下4, 518上19, 519下17, 539上2, 546下9, 562下5, 614下4, 623上13, 639下7, 645下1, 647上1, 657上3, 659下13, 790上9, 1049上11, 1092下10, 1106下4, 1177下13, 1291上20)〔広〕cf. (15), *「縱」cf. (15)
- (18) 「從」(875上5, 947下1, 1015下8, 1025下18)〔広〕cf. (15), *「縱」〔広〕子用切(精用合四) 又即容切，cf. (15)
- (19) 「躉」(1044下11), cf. (10), 「躉」〔広〕七宿切(清屋開四) 又子六切, *「促」〔広〕七玉切(清燭開四), cf. 定声
- (20) 「苳」(720下10)〔広〕作孔切(精董開一)
- (21) 「蝻」(356上2)〔広〕直容切(澄鍾合三), *「蚣」〔広〕職容切(章鍾合三), cf. 義證
- (22) 「蝻」(48上1)〔広〕cf. (21), *「蚣」cf. (21)
- (23) 「衝」(720下10)〔広〕尺容切(昌鍾合三)
- (24) 「冗」, 広韻「冗」に作る。
- (25) 「茸」(601上10, 763上10, 764上15, 917下8, 1186下13)〔広〕而容切(日鍾合三)
- (26) 「容」(231下4)〔広〕餘封切(羊鍾合四)
- (27) 「遇」(531上9, 544下12, 549下19)〔広〕牛具切(疑遇合三)
- (28) 「嚳」(1162上8)〔広〕烏貢切(影送開一), *「嚳」〔広〕於容切(影鍾合三), cf. 段注, 義證

止 攝

	微開	尾開	未開	
見	居衣 機	居豈 蟻		
群	居依 璣			
	[機] 璣			
	噉			
	巨衣 幾			
	巨依 {琦}			
	鉅依 碯			
	{琦}			
	璣(1)			
	墮(2)			
	[畿] 璣(3)			
[祈] 璣(4)				
噉(5)				
斬(6)				
疑	牛衣 沂			
	牛依 沂			
	魚衣 沂			
曉	[稀] 欸		許氣 欸	
			許既 墜	
			噉	
			欸	
影	[衣] 陔			

	微合	尾合	未合	
幫		[匪] 柴	方味 芾	
			[沸] 懋(7)	

滂	芳非 斐	敷尾 菲	(扉) 菲(8)
並	(肥) 賁 瘕	(斐) 菲	扶味 蜚 扉 菲 腓 葩 費 扶未 費 (翡) 蜚 (未) 昧(9)
明		(尾) 臺	
曉	許圍 輝 (輝) 輝 (暉) 輝	許尾 虫	
影		於 虺 礪	
于	(韋) 津	于 匪 偉	(謂) 蝟

- (1) 「職」(805下3)〔広〕居依切(見微開三), *「幾」?〔広〕渠希切(群微開三)
- (2) 「陞」(719上12)〔広〕五來切(疑哈開一), *「礪」〔広〕渠希切(群微開三), cf. 師古注
- (3) 「穢」(664上5)〔広〕cf. (1), *「幾」? cf. (1)
- (4) 「穢」(389上7, 424上19)〔広〕cf. (1), *「幾」? cf. (1)
- (5) 「職」(721上19)〔広〕居依切(見微開三)
- (6) 「斬」(755下17)〔広〕渠之切(群之開三)
- (7) 「懸」(228上2)〔広〕房密切(並質開三), *「髣」?〔広〕芳未切(滂未合三)
- (8) 「菲」(64下3)〔広〕芳非切(滂微合三)
- (9) 「昧」(754上11)〔広〕莫佩切(明隊合一)

遇 授

	魚	語	御	
泥			乃據 女(1)	
來	力於 臚 慮(2) 〔慮〕 爐 慮(3) 〔閏〕 慮(4)		〔慮〕 鏡	
知		竹呂 褚 紵(5) 張呂 紵(6) 著(7)	竹庶 著 竹助 著 竹筋 著	
徹	丑於 據			
澄	丑居 據 直閏 屠 〔除〕 屠 著 蔭 〔儲〕 屠	丈與 芋 丈呂 杼 直呂 杼(9) 〔佇〕 紵	直庶 著 著(8)	
娘	女居 絮(10)		尼據 女	
精	子餘 沮 且 子余 沮 且 子閏 沮 且		子豫 沮 且(11)	

清 從 心	子如 且 千餘 疽 千余 苴 疽 沮 苴 七余 苴 先余 胥 先於 胥 先餘 胥	才汝 咀 材汝 咀 才呂 咀 才與 咀 先呂 胥 思呂 稽	千豫 狙 千絮 狙	
莊 生	側於 菹	[組] 沮 ⁽¹²⁾ [所] 稽 ⁽¹⁴⁾	側據 禮 ⁽¹³⁾ 所據 踧 所慮 踧	
章 船 日 羊	[諸] 楮 食諸 柔 ⁽¹⁵⁾ 人諸 茹 人餘 絮 ⁽¹⁶⁾ 弋於 懷 ⁽¹⁷⁾ [余] 仔	神汝 杼 食汝 杼 杼 [汝] 茹 [予] 杼 ⁽¹⁸⁾	人庶 洳 茹 人豫 洳 茹 汝據 茹	
見	[居] 踞		居庶 倨 [據] 倨 踞 据 ⁽¹⁹⁾ [倨] 裾 ⁽²⁰⁾	

溪	(祛) 陆	(詎) 遽	其庶 遽
群	其据 遽 ⁽²¹⁾	(鉅) 遽	
	(渠) 遽	虞	
		柜	
		(拒) 嵩 ⁽²²⁾	
疑	(魚) 郚 ⁽²³⁾	牛呂 圍	牛助 語
曉	(虛) 嘘		
	歔		
影	歔		
			乙據 郚
			於據 郚
			闕 ⁽²⁴⁾
			於庶 郚
			飫
			淤
			闕 ⁽²⁵⁾

	虞	虞	遇	
幫	甫無 拊	文府 {嚙}		
	方于 鈇	[甫] 篋		
	拊 ⁽²⁶⁾			
	[夫] 邦			
	鈇			
	[扶] 篋			
	[膚] 拊			
	鈇			
	拊 ⁽²⁷⁾			
滂	[敷] 紂	芳羽 拊	[赴] 什	
	鄜	[摹] 撫		
	[郭] 鄜			
	[孚] 葦			

並	桴 枹 ⁽²⁸⁾ 步扶 匍 ⁽²⁹⁾ 〔扶〕 匍 ⁽³⁰⁾ 邦 ⁽³¹⁾	〔輔〕 腐	〔鮒〕 附 〔附〕 坳 鮒 賻 傳 ⁽³²⁾	
明	毛無 耗 ⁽³³⁾	〔嫵〕 嫵 〔舞〕 嫵 〔侮〕 嫵 〔武〕 嫵 〔僞〕 僞	〔務〕 驚	
來	力于 婁 力朱 葦	力主 儻 庾	力具 錄 ⁽³⁴⁾ 力住 累 ⁽³⁵⁾	
知	〔誅〕 跽	竹庾 拄 竹羽 拄 竹甫 柱	竹具 拄 ⁽³⁶⁾	
澄	直俱 赴 ⁽³⁷⁾		〔住〕 逗	
精 清 心	子踰 媛 〔趨〕 取 ⁽³⁸⁾ 〔須〕 縑		子喻 足	
莊 生	側于 苴 ⁽³⁹⁾	山羽 數	數具 數 所具 數	
昌 書	昌于 樞 式陶 輪 〔輪〕 郇 俞 ⁽⁴⁰⁾			

<p>常 日 羊</p>	<p>[殊] 洙 銖 懦 渝 愉 俞 楡 覩 陶 窰 媮 揄</p>	<p>[暨] 痘 弋主 蠹 [愈] 蠹 瘡 俞⁽⁴³⁾ [庚] 蠹 [庚] 痘⁽⁴⁴⁾</p>	<p>[諭] 覩 [喻] 渝⁽⁴¹⁾ 俞⁽⁴²⁾</p>	
<p>見 溪 群 曉</p>	<p>[鉤] {胸} [區] 區 嶇 其于 {胸} 濯 句 巨俱 句 鉅于 鉤⁽⁴⁷⁾ [衢] 臞 [勸] 句 濯 鵠 鉤⁽⁴⁸⁾ 鉤⁽⁴⁹⁾ {胸} 況于 媮</p>	<p>九禹 萬 [矩] 枸 其羽 窶 況羽 媮</p>	<p>居具 懼⁽⁴⁵⁾ 居足 拘⁽⁴⁶⁾ 鉅句 臞 [瞿] 懼</p>	

影 于	盱	詡		
	許于 媯	許羽 栩		
	盱	詡		
	霧	栩		
	响 ⁽⁵⁰⁾	況矩 栩		
	{胸}	{詡} 栩		
	响 ⁽⁵¹⁾			
	香于 盱			
	响 ⁽⁵²⁾			
	羽俱 杆	{禹} 郵	於付 嘔 ⁽⁵³⁾	
	{于} 杆	瑀	于具 雨	
	竿		芋	
	邗			
迂				
霧				
吁 ⁽⁵⁴⁾				

- (1) 「女」 (1296上4) [広] 尼據切 (娘御開三)
- (2) 「慮」 (128下) [広] 良侶切 (來御開三), *「櫛」 [広] 力居切 (來魚開三), cf. 広韻
- (3) 「慮」 (555上1) [広] cf. (2), *「櫛」 cf. (2)
- (4) 「慮」 (421下5) [広] cf. (2), *「櫛」 cf. (2)
- (5) 「紵」 (629上18) [広] 直呂切 (澄語開三)
- (6) 「紵」 (509下7) [広] cf. (5)
- (7) 「著」 (836上10) [広] 陟慮切 (知御開三) 又張略, 長略二切
- (8) 「著」 (331下5, 401上8, 420下19, 532上2) [広] cf. (7), *「箸」 [広] 遲倨切 (澄御開三), cf. 定声
- (9) 「杼」 (1232上10) [広] 神與切 (船語開三) 又音序, *「杼」? [広] 直呂切 (澄語開三)
- (10) 「絮」 (931下17) [広] 尼據切 (娘御開三)
- (11) 「苳」 (792上2) [広] 子魚切 (精魚開四) 又音痕
- (12) 「沮」 (165下) [広] 側魚切 (莊魚開二), *「俎」 [広] 側呂切 (莊魚開二), cf.

定声

- (13)「𩺰」，広韻「𩺰」に作る。
- (14)「𩺰」(1036下8)〔広〕相居切(心魚開四)，*「𩺰」〔広〕踈拳切(生語開四)，
cf. 外篇
- (15)「柔」(711上4)〔広〕耳由切(日尤開三)，*「𩺰」?〔広〕神輿切(船語開三)，
cf. 補注
- (16)「𩺰」(931下17)〔広〕cf. (10)
- (17)「𩺰」，広韻「𩺰」に作る。
- (18)「𩺰」(1179下9)〔広〕以諸切(羊魚開四)
- (19)「𩺰」(1086下4)〔広〕九魚切(見御開三)，*「𩺰」〔広〕居御切(見御開三)，
cf. 定声，段注
- (20)「𩺰」(720上2)〔広〕九魚切(見魚開三)，*「𩺰」?〔広〕居御切(見御開三)
- (21)「𩺰」(782上2)〔広〕其據切(群御開三)
- (22)「𩺰」(1095上19)〔広〕俱雨切(見麌合三)又音禹
- (23)「𩺰」(118下,130下,402下20)〔広〕五乎切(疑模合一)
- (24)「𩺰」(426下4)〔広〕烏前切(影先開四)又於乾，於歇，烏葛三切，*「𩺰」〔広〕
依倨切(影御開三)，cf. 師古注
- (25)「𩺰」(1044下20)〔広〕cf. (24)，*「𩺰」cf. (24)
- (26)「𩺰」(124上)〔広〕芳武切(滂麌合三)
- (27)「𩺰」(451上12,1061下4)〔広〕cf. (25)
- (28)「𩺰」(920上4,1051上5,1085下11)〔広〕防無切(並虞合三)又布交，縛謀二切
- (29)「𩺰」(90上19)〔広〕甫無切(幫虞合三)，*「𩺰」〔広〕防無切(並虞合三)，
cf. 集韻，徐箋
- (30)「𩺰」(402上19)〔広〕cf. (28)，*「𩺰」cf. (28)
- (31)「𩺰」(402上18)〔広〕甫無切(幫虞合三)
- (32)「𩺰」(19下8,1231上1)〔広〕方遇切(幫遇合三)，*「𩺰」〔広〕符遇切(並遇
合三)，cf. 師古注(870下12)
- (33)「𩺰」(133上3)〔広〕荒内切(曉隊合一)又火号切
- (34)「𩺰」(866下6)〔広〕力玉切(来燭合三)，*「𩺰」〔広〕良倨切(来御開三)，
cf. 定声，集韻
- (35)「𩺰」(148下)〔広〕良偽切(来寘合三)
- (36)「𩺰」(1176上12)〔広〕知庚切(知慶合三)，*「𩺰」?〔広〕中句切(知遇合三)
- (37)「𩺰」(186上)。百衲本は反切下字を「𩺰」に作るが、今補注本に従い「俱」に改む。
- (38)「𩺰」(396上15,403上5,421下5,455上5,555上1)〔広〕七庚切(清慶合四)
- (39)「𩺰」(1090下12)〔広〕鉏加切(崇麻開二)，*「𩺰」〔広〕側魚切(莊魚開二)，
cf. 定声

- (40) 「俞」 (145下) [廣] 羊朱切 (羊虞合四) 又恥呢切
- (41) 「渝」 (410下1) [廣] 羊朱切 (羊虞合四)
- (42) 「俞」 (126上) [廣] cf. (39)
- (43) 「俞」 (221下17, 253上8) [廣] cf. (39), *「愈」 [廣] 以主切 (羊虞合四), cf. 集韻, 外篇
- (44) 「痲」 (80下15) [廣] 餘制切 (羊祭開四), *「痲」 [廣] 以主切 (羊虞合四), cf. 師古注
- (45) 「懼」 (36上3, 644下9, 809上12) [廣] 其遇切 (群遇合三), *「懼」 [廣] 九遇切 (見遇合三), cf. 師古注
- (46) 「拘」 (343下19) [廣] 舉朱切 (見虞合三), *「据」 [廣] 居玉切 (見燭合三), cf. 集韻
- (47) 「鉤」 (256上8, 1146下10) [廣] 古侯切 (見侯開一)
- (48) 「鉤」 (72上19) [廣] cf. (46)
- (49) 「鉤」 (667上13) [廣] 舉朱切 (見虞合三), *「鉤」? [廣] 其俱切 (群虞合三), cf. 師古注
- (50) 「响」 (12上14, 1134上14) [廣] 香句切 (曉遇合三)
- (51) 「响」 (795下4, 809上4) [廣] 呼后切 (曉厚開一) 又香句切
- (52) 「响」 (408上13) [廣] cf. (49)
- (53) 「嘔」 (794下5) [廣] 烏侯切 (影侯開一)
- (54) 「吁」 (1047上8) [廣] 王遇切 (于遇合三) *「于」 [廣] 羽俱切 (于虞合三), cf. 字通

蟹 攝

			廢合	
幫			〔廢〕 袂	
見 疑 曉 影			居刈 許(1) 居× 許(2) 〔刈〕 艾 許穢 喙 於喙 濊 於廢 濊 〔穢〕 濊	

(1) 「許」(419下10)〔広〕居例切(見祭開三)又居列切

(2) 「許」(923下6)〔広〕cf.(1)

臻 攝

	欣	隱	焮	迄
見 溪 群	[勤] 廩 ⁽²⁾	丘隱 蠶 ⁽¹⁾	巨靳 近 其靳 近 鉅靳 近	[訖] 吃 其乞 乞 ⁽³⁾
疑	牛斤 斷 鄞 沂 ⁽⁴⁾	牛隱 听		魚乞 乞 牛乞 乞
曉	[欣] 忻 听			
影	[殷] 灑	於謹 灑 [隱] 殷 ⁽⁵⁾	於靳 隱 灑	

	文	吻	問	物
幫			方問 價	發勿 袂 [弗] 帔 鞞 紱 紉 紉 紉 紉 ⁽⁶⁾
滂	[紛] 芬 零 汾 ⁽⁷⁾ [芬] 鷗 ⁽⁸⁾			敷勿 袂 [拂] 蕒
並	符云 粉 扶云 粉	扶粉 °蚤 ⁽⁹⁾ 粉	扶問 分	[佛] 佛 °蕒 ⁽¹⁰⁾

明	汾 葵 輶 紛 ⁽¹²⁾	墳 文粉 技 舞粉 勿 武粉 勿 〔吻〕 勿	〔問〕 汶	拂 ⁽¹¹⁾ 〔勿〕 芴 勿
見 溪 群			九問 摺 攪	九勿 屈 居勿 屈 丘勿 屈 訕 丘物 訕 其勿 掘 屈 ⁽¹³⁾ 訕 ⁽¹⁴⁾ 鉅勿 屈 ⁽¹⁵⁾ 具勿 屈 ⁽¹⁶⁾ 求勿 屈 ⁽¹⁷⁾
曉 影	〔歟〕 熏 薰 纁 於云 緼 焜 蘊 輶 ⁽¹⁸⁾ 〔雲〕 沄 〔云〕 芸 妘 邛 郎	於粉 憚 緼 於吻 憚	於問 溫 醞 溫 ⁽¹⁹⁾	〔鬱〕 蔚

- (1) 「蠶」(601下5)〔広〕 弃忍切 (溪準開三)
- (2) 「膚」(176下)〔広〕 渠邊切 (群震開三), *「勤」〔広〕 巨斤切 (群欣開三), cf. 段注, 定声, 字通
- (3) 「仡」(1038下5)〔広〕 許訖切 (曉送開三) 又魚迄切。なお王二には巨乙反が見られる。
- (4) 「沂」(1285下9)〔広〕 魚衣切 (疑微開三), *「垠」〔広〕 語斤切 (疑欣開三), cf. 定声, 段注
- (5) 「殷」(712上5)〔広〕 於斤切 (影欣開三), *「礪」〔広〕 於謹切 (影隱開三), cf. 集韻
- (6) 「蕪」(216下1)〔広〕 敷勿切 (滂物合一) 又方昧切
- (7) 「汾」(1047下12)〔広〕 符分切 (並文合三), *「紛」〔広〕 蒲悶切 (滂文合三), cf. 字典
- (8) 「曷」(1071下11)〔広〕 胡葛切 (匣曷開一), *「鴝」〔広〕 符分切 (並文合三), cf. 師古注
- (9) 「盆」, 広韻「蚡」に作る。
- (10) 「弗」, 広韻「𠂔弗」に作る。
- (11) 「拂」(1251下19)〔広〕 敷勿切 (滂物合三), *「剌」〔広〕 符弗切 (並物合二), cf. 句讀
- (12) 「紛」(181下)〔広〕 府文切 (滂文合三)
- (13) 「屈」(69上4, 189上, 250下13, 251上7, 381上12, 482上9, 564下1, 584下16, 607上11・17, 634下10, 668上10, 717上1, 719下16, 723上15, 811下14, 1041下3, 1115下10, 1120上20, 1129下11, 1178上13, 1278下18)〔広〕 區勿切 (溪物合三) 又九勿切
- (14) 「𠂔」(705下16)〔広〕 區勿切 (溪物合三)
- (15) 「屈」(728下6)〔広〕 cf. (13)
- (16) 「屈」(584下2)〔広〕 cf. (13)
- (17) 「屈」(126下)〔広〕 cf. (13)
- (18) 「温」(1078上17)〔広〕 烏渾切 (影魂合一), *「醞」〔広〕 於問切 (影問合三), cf. 段注, 集韻
- (19) 「輻」(1047下14)〔広〕 烏渾切 (影魂合一), *「輓」〔広〕 於云切 (影文合三), cf. 定声

山 攝

	元開	阮開	願開	月開
見	居言 軒(1)	居偃 蹇		居謁 訃
溪	(劇) 軒(1)	蹇(2)		丘列 揭
群	鉅言 捷(3)	其偃 捷		其謁 揭
		捷(4)		(竭) 揭
		鉅偃 捷(5)		揭
疑	(原) 嫵			揭
影		(偃) 蝦		揭
		鄒		揭
		僞(6)		揭
		嫵(7)		揭

	元合	阮合	願合	月合
幫	甫元 幡			
	藩			
	潘(8)	方遠 輓		
滂	(幡) 反			
並	扶元 燔	扶晚 飯		
	蕃			
	躡			
	(煩) 燔			
	蒺			
	躡			
明	武元 楠	(晚) 婉	(萬) 曼	
		輓		

從 心 邪		字阮 雋 ⁽⁹⁾ 先阮 選 ⁽¹⁰⁾ 辭阮 雋 ⁽¹¹⁾		
章 日		章阮 專 ⁽¹²⁾ 人阮 奕 ⁽¹³⁾		
見 群		求遠 圈 其遠 阮 ⁽¹⁴⁾		(厥) 蹇 鉅月 蹇 其月 蹇 。 蹇 ⁽¹⁵⁾
疑	(元) 沅 (原) 愿 ⁽¹⁶⁾		(願) 愿	(月) 別
曉	許元 煖 誼 謹 垣 許爰 謹	許遠 喧 喧 誼 煖 ⁽¹⁷⁾ 誼 ⁽¹⁸⁾		
影	於元 宛 怨 一元 蝻 ⁽¹⁹⁾	虛袁 諼 虛遠 諼 (婉) 宛		
于	(爰) 援 (援) 媛 (袁) 棖 (輦) 垣		于萬 遠	

(1) 「軒」(146下, 147上) [廣] 虛言切 (曉元開三)

(2) 「蹇」(719下13) [廣] 其偃切 (群阮開三), *「蹇」[廣] 居偃切 (見阮開三), cf. 定聲

(3) 「捷」(708下14) [廣] 渠焉切 (群仙開三) 又居偃切

(4) 「健」(576下11) [廣] 渠建切 (群願開三), *「捷」[廣] 其偃切 (群阮開三), cf. 師

古注

- (5) 「捷」(613下8)〔広〕cf.(3), *「捷」?〔広〕cf.(4)
- (6) 「僞」(396下5・13, 416下5)〔広〕於建切(影願開三), *「鄢」〔広〕於臆切(影阮開三), cf. 段注
- (7) 「媯」(477上18, 674下7, 1028上19, 1101上9, 1184上8)〔広〕於蹇切(影彌開三)
又於乾, 於建, 許延, 於遠四切
- (8) 「潘」(403上17)〔広〕普官切(滂桓合一)
- (9) 「雋」(834上8)〔広〕徂兗切(從彌合四)
- (10) 「選」(821上1)〔広〕思兗切(心彌合四)又思絹, 思管二切
- (11) 「雋」(834上8)〔広〕cf.(9)。なお切三には徐兗反が見られる。cf. 校勘記
- (12) 「專」(528上18)〔広〕旨兗切(章彌合三)又之囀切
- (13) 「栗」(765上12)〔広〕而兗切(日彌合三)
- (14) 「元」(97下6)〔広〕虞遠切(疑阮合三)又愚袁切
- (15) 「概」, 広韻「概」に作る。
- (16) 「愿」(129上, 1101下5)〔広〕魚怨切(疑願合三), *「原」?〔広〕愚袁切(疑元開三)
- (17) 「媛」(72下4, 191下, 443上20, 447上4, 670下6)〔広〕況袁切(曉元合三)又乃管切
- (18) 「諠」(1283下8)〔広〕況袁切(曉元合三), *「諠」〔広〕況晚切(曉阮合三), cf. 外篇, 字通
- (19) 「蛸」(441下11)〔広〕於縁切(影仙合四)又狂兗切

宕 攝

	陽開	養開	漾開	業開
幫		甫往 放 方往 放 斧往 放 〔昉〕 放		
並 明	〔方〕 防 〔房〕 方 〔亡〕 芒			
來	力羊 涼		力向 量 掠	
知 徹 澄		〔丈〕 椽 ⁽²⁾	知亮 張 竹亮 張 直亮 杖 ⁽³⁾	竹略 著 丑略 媿 蹠 ⁽¹⁾ 治略 著 直略 著
精 清 從 心 邪	〔將〕 蔣 千羊 槍 ⁽⁴⁾ 踰 七羊 鎗 ⁽⁵⁾ 〔牆〕 戕 〔襄〕 相 〔翔〕 洋 〔祥〕 洋	〔象〕 橡	先向 倡 ⁽⁸⁾	千若 碯 〔鵠〕 苻 才削 嚼 才弱 嚙 ⁽⁶⁾ 澗 ⁽⁷⁾

莊 初 生	初良 創 〔霜〕 爽		初亮 創 初向 創	側略 訢
章 昌 書 常 日 羊	〔章〕 章 尺尚 倡 〔昌〕 倡 〔傷〕 湯 人羊 蕪 穰 穰 穰 穰 穰 穰 〔穰〕 穰 〔穰〕 穰 〔陽〕 錫 〔羊〕 洋	人掌 穰 人養 穰 弋丈 漾 ⁽¹¹⁾	之向 障 之亮 障 充向 倡 赤上 倡 式向 餉 揚 ⁽¹⁰⁾ 弋向 揚 〔恙〕 漾	之若 繳 〔斫〕 繳 〔灼〕 繳 〔酌〕 勺 行 芍 〔綽〕 淖 ⁽⁹⁾ 式葉 燦 上灼 杓 〔若〕 郡 弋灼 敦 ⁽¹²⁾ 〔箭〕 俞
見 溪	居羊 僵 紀良 僵 居良 彊 ⁽¹⁴⁾ 〔疆〕 僵 〔苗〕 僵	居兩 纒		居略 蹻 〔鑼〕 獵 ⁽¹³⁾ 丘略 卻 卻 ⁽¹⁵⁾

群 疑 曉 影	其良 彊	其兩 彊 強(16)	牛向 仰 𠂔(18)	其略 𦉳 鉅縛 𦉳(17)
		[響] 𦉳		
		[央] 𦉳(19)		於縛 𦉳(20)

	陽合	養合	漾合	藥合
並	扶方 防			
見				[鑑] 𦉳 𦉳 𦉳
溪 群 影 于	[匡] 涯	求往 𦉳(2)	于放 王	[約] 葦

- (1) 「𦉳」(720上6) [広] 徒落切 (定鐸開一), *「𦉳」 [広] 丑略切 (徹藥開三), cf. 定声
- (2) 「𦉳」(1207上8) [広] 徐兩切 (邪養開四)
- (3) 「杖」(1146上15, 1151上11, 1162上18) [広] 直兩切 (澄養開三), *「仗」 [広] 直亮切 (澄漾開三), cf. 外篇
- (4) 「槍」(1046下20)。百納本, 反切上字を「子」に作るが今補注本に従い「千」に改む。
- (5) 「鎗」(225上16) [広] 楚庚切 (初庚開二), *「鎗」 [広] 七羊切 (清陽開三), cf. 外篇
- (6) 「𦉳」(721上19) [広] 才笑切 (從笑開四) 又子𦉳, 子由二切, *「𦉳」 [広] 在爵切 (從藥開四), cf. 段注, 字通
- (7) 「𦉳」(708上19) [広] 士角切 (崇覺開二)
- (8) 「倡」(1234下3) [広] 尺良切 (穿陽開三) 又音唱, 反切上字「先」は「充」の誤写か。cf. 「倡」充向反 (416上14)
- (9) 「𦉳」(1036上5) [広] 奴教切 (泥效開二), *「𦉳」 [広] 昌約切 (昌藥開三), cf. 定

声

- (10) 「煬」(179上)〔広〕典章切(羊陽開四)又音恙
- (11) 「漾」(708下5)〔広〕餘亮切(羊漾開四), *「養」*「漢」〔広〕餘兩切(羊養開四), cf. 段注, 定声
- (12) 「敦」(124下). 百衲本, 反切上字を「戈」に作るが, 今補注本に従い「弋」に改む。
- (13) 「獮」, 広韻「獲」に作る。
- (14) 「疆」(500下11)〔広〕巨良切(群陽開三), *「疆」〔広〕居良切(見陽開三), cf. 定声
- (15) 「郤」(27上14, 48上12, 466上3)〔広〕綺戟切(溪陌開三), *「卻」〔広〕去約切(溪藥開三), cf. 正字
- (16) 「強」(248上8, 463上7, 544上11, 545上17, 561下5, 764下16, 972下2, 1120上20, 1136上16, 1184下20)〔広〕巨良切(群陽開三), *「疆」〔広〕其兩切(群養開三), cf. 段注, 集韻
- (17) 「𧰨」(720上2)〔広〕丘縛切(溪藥合三)又其俱, 居縛二切, *「𧰨」?〔広〕具籛切(群藥合三)
- (18) 「印」(268下3, 433上3, 634下1, 729上13, 733下10, 802上14, 1099上11, 1224下3)〔広〕五剛切(疑唐開一)又魚兩切, *「仰」〔広〕魚向切(疑漾開三), cf. 師古注
- (19) 「映」(1038下11)〔広〕於兩切(影養開四), *「央」〔広〕於良切(影陽開三), cf. 定声, 段注
- (20) 「蟻」(719下20)〔広〕烏郭切(影鐸合一)
- (21) 「迓」(369上10)〔広〕俱往切(見養合三)

流 掇

	尤	有	宥	
幫 並 明	(浮) 涪 杲 枹 (桴) 枹 (牟) 侷		[富] 鍤 房富 伏 武又 質(1)	
來	力周 廖(2) (留) 驪 (劉) 瀏 憫		力救 廖 麗 留 雷 力授 廖 力就 留 [廖] 麗	
知 徹 澄 娘	張流 整 丑留 瘳 丑流 瘳 (抽) 紬 直留 稠 網 直流 網 稠 (囀) 構 躊 (籌) 構	(紂) 銅 酎(4)	竹救 味 啄(3) 丈救 酎 直救 酎 籀 [冑] 籀 紬(5) 女救 狙	

精 清 從 心	子由 嚙 湫 啾 〔秋〕 鷺 取(6) 在由 箇 迨 才由 箇 迨 材由 迨 字由 迨(7)	 先誘 諛(8)	子就 儻 先就 宿	
莊 生	側流 菽 撮(10) 〔鄒〕 陬 極 所求 鄒(11) 〔搜〕 鄒(11) 瘦(12)	側九 極(9)	側救 緇	
章 書 常 日 羊	〔柔〕 獠(15) 〔猶〕 輻 蕪	之受 祝(13) 人九 輶 蹂 燠 揉(16) 狃(17) 弋九 輶 〔誘〕 輶	式授 守 式究 首 〔狩〕 守 上究 讎(14) 弋救 袖 弋授 狃	

	(由) 蚤 蟻 蝮 ⁽¹⁸⁾ 蔡 ⁽¹⁹⁾			
見 群	居求 糝 ⁽²⁰⁾ 〔求〕 仇 球 速 豚 俵			
曉	許求 休 〔休〕 僂		許救 畜	
影	〔憂〕 擾 縷			
于	〔尤〕 郵		〔宥〕 囿	

- (1) 「貿」(695上18)〔広〕莫候切(明候開一)
- (2) 「廖」(174下)〔広〕落蕭切(来蕭開四)又力救切, *「𪔐」〔広〕力求切(来尤開三), cf. 鈕考, 鄭考
- (3) 「啄」(800下19)〔広〕竹角切(知覺開二)又丁木切, *「𪔐」〔広〕陟救切(知宥開三) cf. 段注
- (4) 「耐」(801上19)〔広〕直祐切(澄宥開三)
- (5) 「紬」(758下1)〔広〕直由切(澄尤開三)
- (6) 「取」(396上15, 403上5, 421下5, 455上5, 555上1)〔広〕七庚切(清麌合四)又倉苟切
- (7) 「適」(400上12)〔広〕即由切(精尤開四), *「適」〔広〕自秋切(從尤開四), cf. 說文
- (8) 「諛」(59下14)〔広〕先鳥切(心篠開四), *「諛」?〔広〕蘇后切(心厚開一), cf. 鈕考
- (9) 「擻」(371下18)〔広〕側鳩切(莊尤開二)又又苟切。なお補注本は婦字を「擻」に作る。「擻」〔広〕cf. (10)
- (10) 「擻」(180下)〔広〕側九切(莊有開二), *「擻」〔広〕側鳩切(莊尤開二), cf. 補注, 外篇
- (11) 「𪔐」, 広韻「𪔐」に作る。
- (12) 「瘦」(1168下15)〔広〕所祐切(生宥開二)
- (13) 「祝」(1202上7)〔広〕職救切(章宥開三)又音粥

- (14) 「讎」(1284上17)〔広〕市流切(常尤開三), *「售」〔広〕承咒切(常有開三), cf. 師古注(76上20)
- (15) 「𧮮」(711下3)〔広〕奴刀切(泥豪開一), *「𧮮」? 〔広〕耳由切(日尤開三), cf. 說文
- (16) 「𧮮」(726下15)〔広〕耳由切(日尤開三)又汝又切, *「𧮮」〔広〕人九切(日有開三) cf. 義證
- (17) 「𧮮」(188下)〔広〕女久切(娘有開三), *「𧮮」〔広〕人九切(日有開三), cf. 定声義證
- (18) 「𧮮」(795上5)〔広〕自秋切(從尤開四)又即由切, *「𧮮」〔広〕以周切(羊尤開四), cf. 師古注
- (19) 「蔡」(401上8)〔広〕倉大切(清泰開一)
- (20) 「樛」(147上)〔広〕居蚪切(見幽開四)

曾 掇

	蒸開	拯開	證開	職開
幫 滂 並	普冰 礮(2)			布力 諄(1) 〔逼〕 僞 平力 幅(3) 皮逼 幅(4)
來	〔凌〕 轅(5)			〔力〕 劫(6)
徹 澄	〔懲〕 徵(7)			〔敕〕 筋
精				〔即〕 擲
崇				仕力 崩
章 昌 船 書 常 日 羊	〔蒸〕 承(8) 〔烝〕 承(10) 丞(11) 〔仍〕 扔		〔證〕 承(9) 尺孕 稱 尺證 稱 食證 勝 旬(13) 〔孕〕 勝	昌力 漢(12) 〔式〕 拭 常職 植 〔翼〕 漢 〔弋〕 杙
見				己力 亟

群 曉 影				居力 亟 極 ¹⁴ 其力 枋 ¹⁵ 於力 億
			許孕 媿	

				職合
曉 子				許域 洫 〔域〕 蟻 械 減 璽 闕 ¹⁶

- (1) 「諄」(296下11)。百衲本，反切下字を「力」に作るが、今補注本に従い「内」に改む。
- (2) 「秤」(708上20)〔広〕普耕切(滂耕開二)，*「凜」?〔広〕扶冰切(並蒸開三)
- (3) 「幅」(508上16)〔広〕芳逼切(滂職開三)，*「腠」?〔広〕符逼切(並職開三)
- (4) 「幅」(861下7)〔広〕cf. (3)，*「腠」? cf. (3)
- (5) 「輦」(655上10)〔広〕魯登切(來登開一)，*「陵」〔広〕力膺切(來蒸開三)，cf. 定声
- (6) 「扞」(117上)〔広〕處則切(來德開一)
- (7) 「徵」(393上9，427下7)〔広〕陟陵切(知蒸開三)，*「懲」〔広〕直陵切(澄蒸開三)
cf. 段注
- (8) 「承」(1220下4)〔広〕署陵切(常蒸開三)，*「烝」?〔広〕莫仍切(章蒸開三)又諸
應切
- (9) 「承」(128下，969下3)〔広〕cf. (7)，*「烝」?〔広〕諸應切(章證開三)又莫仍切
- (10) 「承」(132上，154上，414上3，1239下7)〔広〕cf. (7)，*「烝」? cf. (7)
- (11) 「丞」(1005上15)〔広〕署陵切(常蒸開三)，*「蒸」?〔広〕莫仍切(章蒸開三)
- (12) 「漢」(395下6)〔広〕與職切(羊職開四)
- (13) 「甸」(404下18)〔広〕堂練切(定微開四)
- (14) 「極」(430下8)〔広〕渠力切(群職開三)，*「極」〔広〕紀力切(見職開三)，cf. 定
声

(15) 「枋」(121上)〔広〕林直切(来職開三)

(16) 「闕」(1221下10)〔広〕況逼切(曉職合三), *「域」?〔広〕兩逼切(于職合三)

咸 攝

	嚴	儼	釅	業
群 影				其業 拾 ⁽¹⁾ 於業 絕

	凡	范	梵	乏
滂			敷劒 汎 汜 泛 ⁽²⁾	
並	[凡] 汜			

(1) 「拾」(1280下11) [広] 是執切 (常緝開三), *「跽」[広] 巨業切 (群業開三), cf. 定声

(2) 「泛」(1100下9) [広] 孚梵切 (並梵合三)

IV 類

蟹 攝

	齊開	齊開	齊開	
幫滂並	「幫」 裨	(陞) 裨	必計 嬖 普計 辟(1)	
端	丁奚 磳 隄 氏 丁兮 隄	丁禮 邸 抵 詆 陴(3) (抵) 砥(4) 氐(5)	丁計 砥 噉 氐(2)	
透定	徒奚 梯 梯 大奚 綈 鶻 隄 隄(7) (題) 鞮 鞮 °題(8) (提) 鞮	他弟 緹 (弟) 弟	(替) 棣(6) 徒系 鞞 徒繼 悌 徒繼 逮 大計 睇 大系 梯 鞞 鞞 締 徒計 鈇 鞞 棣 提(9) (第) 鞞 (弟) 鈇 乃細 泥 乃計 泥	
泥				

來	[黎] 遼	[禮] 禮 蟲	[隸] 荔 [戾] 沴 蠶 淚 ⁽¹⁰⁾
精	子奚 齋 擠 躋	子禮 濟	子詣 濟 霽 擠 躋 子計 擠
清	[妻] 妻 萋	[齊] 蕪	才計 齊 才詣 齊 霽 ⁽¹¹⁾
從			蘇計 壻
心	先奚 嘶 蘇奚 嘶 [捫] 遲 ⁽¹²⁾	先弟 洒 先禮 洒	
見	工奚 稽 古奚 稽 [雞] 稽 苦攏 睽 五奚 兒 鯢 [倪] 鯢 貌 [奚] 僂 僂 蹊 蹊	[啓] 檠	工系 係 [計] 蓊
溪			口計 契 五係 睨 五系 睨 吾計 睨
匣		胡禮 僂 ⁽¹³⁾	胡計 係 ⁽¹⁴⁾ 襖
影	烏奚 繫		烏計 瘞 ⁽¹⁵⁾

	齊合	薺合	霽合	
見	工携 睽 ¹⁰ 〔圭〕 邽		〔桂〕 鷁 炔	
匣	下圭 哇 胡圭 哇 〔攜〕 哇 螭 龜 鄒			

- (1) 「辟」(655下2)〔広〕必益切(幫昔開四), *「脾」〔広〕匹詣切(滂霽開四), cf. 外篇
- (2) 「氾」(399下15, 471上5, 481下1, 158下9)〔広〕直尼切(澄脂開三)又旨夷切
- (3) 「陴」(62下5, 1245下15)〔広〕直尼切(澄脂開三), *「坻」〔広〕當禮切(端霽開四), cf. 集韻, 段注
- (4) 「砥」(389上4)〔広〕旨夷切(章脂開三)又音旨, *「底」〔広〕都禮切(端霽開四), cf. 字通
- (5) 「氾」(471上5)〔広〕cf.(2), cf. 師古注
- (6) 「棣」(194下18)〔広〕特計切(定霽開四), *「替」?〔広〕他計切(透霽開四), cf. 定声
- (7) 「蹠」(253下2)〔広〕特計切(定霽開四), *「麗」〔広〕杜奚切(定齊開四), cf. 定声, 集韻
- (8) 「魁」, 広韻「魁」に作る。
- (9) 「提」(493上20, 546上16, 1098上9, 1264上20, 1273下1)〔広〕杜奚切(定齊開四)
- (10) 「淚」(1186上17)〔広〕力遂切(來至合三), *「戾」〔広〕郎計切(來霽開四), cf. 字典
- (11) 「霽」(429下8, 900上6)〔広〕子計切(精霽開四)
- (12) 「遲」(1040下7)〔広〕直尼切(澄脂開三)又直利切。なお音注字「洒」, 広韻は「洒」に作る。
- (13) 「溪」(125下)〔広〕胡雞切(匣齊開四), *「溪」〔広〕胡禮切(匣霽開四), cf. 定声
- (14) 「係」(50下15)〔広〕古詣切(見霽開四), *「繫」?〔広〕胡計切(匣霽開四)
- (15) 「瘞」, 広韻「瘞」に作る。
- (16) 「睽」(116上13)〔広〕苦圭切(溪齊開四)

山 撰

	先開	銑開	霰開	屑開
幫 並 明	布先 編 〔邊〕 邊 步千 駢 蟪 駢 駢 駢 駢 駢 蚍(5) 便(6) 纏(7) 步田 駢 權(8)	步典 扁 編(2)	莫見 冥(9) 〔眇〕 泯(10)	步結 弊(1) 批(3) 倮(4)
端 透 定	丁賢 滇 〔顛〕 滇 蹟 驛 徒千 窰 窰 閭 大千 窰 閭 填 大賢 閭 徒賢 閭 〔田〕 窰 填	吐典 洪 〔珍〕 涎	丁見 殿 徒見 閭 涎	徒結 跌 眈 迭 迭 迭 誅 誅

泥	佃	乃典 涇		乃結 涇
來			[練] 涇	盧結 整
精 清 從 心	子顛 湔 子千 湔 子先 湔 [先] 媻 ⁽¹³⁾	先典 洗	千見 茜 倩 在見 薦 ⁽¹¹⁾ 先見 霰 思薦 綫 ⁽¹⁴⁾	才結 節 ⁽¹²⁾ [戩] 戩 先結 楔
見 疑 匣 影	一千 燕 咽 [煙] 燃	鳥典 嚶	五見 研 胡電 見 胡眇 炫 ⁽¹⁶⁾ 眩 ⁽¹⁷⁾ [宴] 咽	[結] 結 ⁽¹⁵⁾ 下結 頤 紇 胡結 頤 ◦奧 ⁽¹⁸⁾ [頤] 黎

	先合	銑合	霰合	屑合
見	工玄 洎 泣 ⁽²⁰⁾ [錫] 洎	工犬 霽 ◦剛 ⁽²¹⁾ 吠 綃 ⁽²²⁾	工縣 衙 ⁽¹⁹⁾	[決] 觶 [決] 潘 觶 駮

溪				鳩 口決 關 口穴 關 空穴 關
曉	呼玄 銷 火玄 銷			
匣		下犬 緘	(縣) 胸 銜 眩 炫	
影				一穴 抉

- (1) 「嫫」(713下14) [廣] 普葳切 (滂屑開四)
- (2) 「編」(1144下8) [廣] 方典切 (幫銑開四) 又卑連切, *「辯」[廣] 薄泣切 (並銑合四), cf. 師古注 (792上9)
- (3) 「批」(708上18, 1245下14) [廣] 匹迷切 (滂齊開四), *「檉」[廣] 蒲結切 (並屑開四), cf. 段注
- (4) 「必」(1043下13) [廣] 房密切 (並質開三) 又毗必切
- (5) 「虵」(317上6) [廣] 房脂切 (並脂開四), *「玼」[廣] 部田切 (並先開四), cf. 補注
- (6) 「便」(713下14) [廣] 房連切 (並仙開四), *「躡」[廣] 部田切 (並先開四), cf. 段注
- (7) 「緝」(607上7, 833上6) [廣] 房連切 (並仙開四)
- (8) 「榷」(705上8) [廣] 房連切 (並仙開四) 又符善切
- (9) 「冥」(1038上18) [廣] 莫經切 (明青開四), *「暝」[廣] 莫甸切 (明霰開四), cf. 義證
- (10) 「泯」(721下9) [廣] 彌鄰切 (明真開四) 又亡忍切, *「暝」[廣] 莫甸切 (明霰開四), cf. 義證
- (11) 「薦」(734上20) [廣] 作甸切 (精霰開四), *「荐」[廣] 在甸切 (從霰開四), cf. 師古注
- (12) 「節」(700下12) [廣] 子結切 (精屑開四), *「岳」 *「戳」[廣] 昨結切 (從屑開四), cf. 定声, 字通
- (13) 「嫻」(713下14) [廣] 蘇干切 (心寒開一), *「躡」[廣] 蘇前切 (心先開四), cf. 鄭考
- (14) 「綫」(897上13) [廣] 私箭切 (心線開四)

- (15)「鮎」(403下3)〔広〕巨乙切(群質開三)
- (16)「炫」(1288下16)〔広〕黃練切(匣霰合四), cf. 校勘記
- (17)「眩」(87下15, 91下20)〔広〕黃練切(匣霰合四), cf. 校勘記
- (18)「裏」, 広韻「裏」に作る。
- (19)「銜」(799下7)〔広〕黃練切(匣霰合四)
- (20)「泣」(394下17)〔広〕胡吠切(匣銑合四)
- (21)「剛」, 広韻「剛」に作る。
- (22)「糒」(1044下15)〔広〕吉撻切(見線合四), *「糒」〔広〕姑泣切(見銑合四),
cf. 集韻

效 攝

	蕭	篠	嘯	
端 透	(彫) 鷗 它聊挑 它凋挑 他堯桃 吐堯桃 吐彫庠	吐了 眇 它了 眇 佗了 眇		
定	徒彫跳 (調) 蛸 (條) 蓓 ⁽¹⁾	徒了 挑 窕	徒釣 調 掉 蹕 ⁽²⁾ 篠 ⁽³⁾ 蛸 ⁽⁴⁾	
泥		乃了 嫋 媯 奴了 衰	徒弔 掉 稠 ⁽⁵⁾ 乃釣 溺 ⁽⁶⁾	
來	來彫 瞭 來雕 繚 (僚) 寥 (聊) 繚 蠛 僚 廖 寥 繚 ⁽¹⁰⁾ (遠) 繚 繚 繚 ⁽¹¹⁾	盧釣 繚 ⁽⁷⁾ [了] 繚 繚 ⁽⁸⁾ [寥] 繚 ⁽⁹⁾		

心	[肅] 瀟 [蕭] 蹈	先了 篠		
初	差榮 𪛗 ⁽¹²⁾			
見	工遼 釗 工堯 徽 古堯 邀	公鳥 繖	工鈞 徽 江鈞 噉	
溪	苦 ^么 (13) 鄒 口堯 鄭		口鈞 噉 ⁽¹⁴⁾	
疑	[堯] 嶢			
影		一了 窈 [窈] 𪛗 ⁽¹⁵⁾		

- (1)「篠」(400上6)〔広〕他歷切(透錫開四)，*「篠」〔広〕徒聊切(定蕭開四)，cf. 義證
- (2)「躄」(1044上18)〔広〕敕角切(徹覺合二)，*「跳」?〔広〕徒聊切(定蕭開四)
- (3)「篠」(954上9)〔広〕先鳥切(心篠開四)，*「筱」〔広〕徒弔切(定嘯開四)，cf. 定声、義證
- (4)「嫻」(720上7)〔広〕徒聊切(定蕭開四)
- (5)「稠」(1041下4)〔広〕直由切(澄尤開三)，*「掉」?〔広〕徒弔切(定嘯開四)
- (6)「溺」(562上15)〔広〕奴歷切(泥錫開四)又音弱，*「尿」〔広〕奴弔切(呢嘯開四)，cf. 師古注
- (7)「繆」(720上7)〔広〕力幽切(來幽開四)又翹糾切
- (8)「嫻」(1169上9)〔広〕落蕭切(來蕭開四)又力弔切，*「嫻」?〔広〕盧鳥切(來篠開四)
- (9)「繆」(706上11)〔広〕莫浮切(明尤開三)，*「繆」〔広〕盧鳥切(來篠開四)，cf. 集韻、字通
- (10)「嫻」(148上)〔広〕盧皓切(來皓開一)，*「嫻」〔広〕落蕭切(來蕭開四)，cf. 定声
- (11)「嫻」(294上9, 1082上11)〔広〕cf. (10)，*「嫻」cf. (10)
- (12)「鄒」(399下10)〔広〕苦玄切(溪蕭開四)
- (13)「么」，広韻「么」に作る。
- (14)「噉」(1090上3)〔広〕古弔切(見嘯開四)
- (15)「𪛗」(226下5)〔広〕於糾切(影黠開四)，*「窈」?〔広〕烏咬切(影篠開四)

梗 攝

	青開	迴開	徑開	錫開
幫				(壁) 𦉳(1)
並	步丁 𦉳	步鼎 併		𦉳(2)
明	莫零 冥			避歷 𦉳(3)
	莫經 螟			莫歷 汨
	[冥] 螟			
端	[丁] 釘	[鼎] 釘(4)		丁歷 適
				擗(5)
				[的] 適
				[嫡] 適
				鎗
				鋌(6)
透		吐鼎 挺(7)	吐定 漚(8)	吐歷 侷
				邊
				倣(9)
				擗(10)
				土歷 倣(11)
				它狄 擗(12)
				它歷 擗(13)
				他曆 擗(14)
定	大丁 霆	大鼎 町		徒歷 覲
	[廷] 霆	挺		大歷 迪
	[庭] 霆	挺		[迪] 覲
		[挺] 町		[敵] 荻
				[狄] 荻

				[滌] 洩 ⁽¹⁵⁾
來	來丁 [零] 圉 令 苓 玲 鶴 蛉 泠 矜 輪 唘 [鈴] 令 領 伶 輪 [令] 冷 [靈] 鄰		郎定 令	郎擊 轢 來的 轢 [歷] 轢 礫 礫 礫 礫 鄺
清心				千狄 磧 ⁽¹⁶⁾ 先歷 析 沂 ⁽¹⁷⁾ [錫] 惕
見疑 匣	五經 姪 ⁽¹⁸⁾ [刑] 脛 [邢] 脛 [形] 脛 研 ⁽²⁰⁾	工鼎 劉	下定 脛 胡鑿 濩 ⁽¹⁹⁾	工歷 激 五歷 鷓 鷓 鷓 五狄 鷓 胡歷 檄 下狄 覓

	青合	迴合	徑合	錫合
見 曉	工焚 扇			工覓 溲 呼鶻 ⁽²¹⁾ 洫 {盪}
匣	{禁} 溪 ⁽¹⁹⁾			

- (1) 「壁」 (1036上3) [広] 必益切 (幫昔開四)。音注字, 或は「壁」の誤写か。「壁」
[広] 必益切 (幫昔開四)
- (2) 「辟」 (179下, 523上2, 721下19) [広] 必益切 (幫昔開四) 又芳辟, 房益二切。音注字,
或は「壁」の誤写か。「壁」 [広] cf.(1)
- (3) 「辟」 (1085下14) [広] 房益切 (並昔開四), *「壁」? [広] 扶歷切 (並錫開四)
- (4) 「釘」 (124下) [広] 丁定切 (端徑開四) 又得庭切
- (5) 「擿」 (986上12) [広] 直炙切 (澄昔開三), *「礪」? [広] 都歷切 (端錫開四)
- (6) 「鋸」 (466上6) [広] 都奚切 (端齊開四), *「鋸」 [広] 都歷切 (端錫開四), cf.
師古注
- (7) 「挺」 (939下17) [広] 徒鼎切 (定迴開四), *「挺」 [広] 他鼎切 (透迴開四)
- (8) 「澗」 (1040上2) [広] 都挺切 (端迴開四), *「汀」? [広] 他定切 (透徑開四)
- (9) 「倣」 (707上17, 722下17, 761下19) [広] 昌六切 (昌屋開三), *「倣」 [広] 他歷切
(透錫開四), cf. 鈕考, 通誼
- (10) 「擿」 (508下13) [広] cf.(5), *「擿」 [広] 他歷切 (透錫開四), cf. 義證, 集韻
- (11) 「倣」 (1009上1) [広] cf.(9), *「倣」 cf.(9)
- (12) 「擿」 (82上16, 924下1) [広] cf.(10), *「擿」 cf.(10)
- (13) 「擿」 (945上2, 1017上2) [広] cf.(10), *「擿」 cf.(10)
- (14) 「擿」 (21下2) [広] cf.(10), *「擿」 cf.(10)
- (15) 「液」 (1292下18) [広] 以周切 (羊尤開四)
- (16) 「礪」 (712上12) [広] 七迹切 (清昔開四)
- (17) 「沂」 (392下15) [広] 魚衣切 (疑微開三)
- (18) 「姪」 (1179下9) [広] 五莖切 (疑耕開二) 又戸經切
- (19) 「溪」 (1040上2) [広] 烏迴切 (影迴合四), *「禁」 [広] 戸扇切 (匣青合四), cf. 定声
- (20) 「研」 (394下10) [広] 五堅切 (疑先開四) 又吾甸切
- (21) 「鶻」, 広韻「鶻」に作る。

咸 攝

	添	忝	榛	帖
端			丁念 塾 玷(1) 玷(2) 〔玷〕 玷(3)	
透	它兼 沾			它類 玷
定	他兼 沾 徒兼 恬 大兼 恬			大類 喋 〔牒〕 喋
泥	乃兼 黠			奴協 攝
精				子牒 淡 子僕 淡 〔變〕 摺(4)
心 邪	似兼 燭(5)			
見	〔兼〕 緣 兼			〔類〕 莢 啞 苦類 惡 〔篋〕 惡 下類 俠 於俠 沍(7)
溪		苦簞 嘵		
匣		烏黠 厭(6) 翳(8)		
影		烏簞 繫(9) 一簞 繫(10)		

(1) 「玷」 (892上8) 〔広〕 多忝切 (端忝開四)

(2) 「玷」 (251上3) 〔広〕 余廉切 (羊塩開四)

(3) 「玷」 (42下12) 〔広〕 cf. (2)

(4) 「摺」 (179下) 〔広〕 之涉切 (章葉開三) 又盧合切

- (5) 「燁」 (1092上9) 〔広〕 徐塩切 (邪塩開四)
- (6) 「厭」 (919上5) 〔広〕 於琰切 (影琰開四) 又於豔切
- (7) 「浥」 (708上17) 〔広〕 於業切 (影業開三)
- (8) 「蠶」 (469上2) 〔広〕 於琰切 (影琰開四)
- (9) 「癸」 (388上17) 〔広〕 於琰切 (影琰開四)
- (10) 「聚」 (367下18) 〔広〕 cf.(9)

〔2〕反切上字表

凡 例

1. 本表は漢書に見られる師古の反切上字とその下字、及び帰字との関係を見る為に、切韻(広韻)の体系を基礎として整理、配列したものである。用いる中国語音韻学の名称は通例に従う。
2. 各表の配列の方法、順序は次の通りである。
 - 2.1. 反切上字とその韻母類、Ⅰ、Ⅱ、ⅢA、ⅢB、Ⅳに拠って分類する。ⅢAは更に甲、乙、その他に細分する。⁽¹⁾
 - 2.2. 各類内部で声類に分け先述の順序⁽²⁾に従って並べる。同一声母内は広韻の韻目順、声調の順に依る。
3. 反切上字の韻母は、韻目、開・合、声調に依って記す。例えば「模合上」とは「模韻合口上声(即ち姥韻)」のこと。声調が二つ以上有る場合、主要な読音と思われるもの(一つとは限らない)を記す。なお唇音に就いては開合の別を記さない。
4. 反切下字の声母を字母名に依って示す。なお唇音の帰字を表わす反切に唇音以外の下字が用いられた場合に限り、その開合の別を付記する。
5. 帰字の韻母の記載方法及び配列順序は反切上字韻母のそれに準ずる。
6. 韻母類は上字と帰字のそれが同じではない場合に限り付記する。
7. 反切上字、下字、或は直音は同じ、帰字のみ異なる音注例が二つ以上有る場合に限り、それを延べ回数として付記する。

(1)[1]音注表の凡例2.1.参照。なお「その他」とは声母が舌・齒音のグループであるが本表では特別な符号を付して示すことはしない。

(2)[1]音注表の凡例2.4.参照。

I 類

声母	上 字	下字	婦字	婦字	反切
	上字韻母	声母	韻母	類	延 ^へ 數
幫	補一 模 上	見開	泰 去 耕 平II		
	布一 模 去	溪開 明 匣合 匣合 泥合 見開 明 見開	東 上 東 入 模 平 灰 平 灰 去 2 唐 入 麻 上II 脂 上III AZ		
滂	普一 模 上	明	東 入 2		
		匣合	模 平 2		
		定開	泰 去 2		
		見開	泰 去 3		
		匣合	灰 平		
		端合	魂 去 2		
		匣開	寒 平		
		影開	寒 平		
		幫	桓 去 2		
		匣開	歌 平 4		
		疑開	歌 上		
		來開	唐 平		
		見開	唐 入 2		
		溪開	登 上		
		溪開	侯 上		
幫	皆 去II				
幫	刪 上II				

		見開	肴 平II		
		曉開	肴 去II		
		見開	肴 去II		
		見開	庚 平II 2		
		明	耕 平II 3		
		見開	耕 平II		
		幫	支 上III AZ		
		並	脂 去III AZ		
		影開	脂 去III AZ		
		明	真 入III AZ		
		幫	蒸 平III B		
		見開	齊 去IV		
並	蒲一 模 平	見合	模 去		
		端合	魂 去		
		匣開	歌 平 4		
		見開	侯 入 4		
		幫	登 入		
步一 模 去	明	東 入			
		匣合	模 上		
		曉合	灰 上		
		泥合	灰 去 4		
		端合	魂 去		
		見開	寒 入 2		
		匣開	寒 入 2		
		匣開	唐 平		
		見開	唐 入		
		端開	登 入		
		見開	肴 平II		
		幫	真 入III A甲		
		幫	虞 平III B		
定開	先 平IV				
清開	先 平IV 8				

	端 匣 匣 見 匣 來 端 來 匣 來 端 端 疑 來 端 定 來	魂合平 寒開平 桓合入 豪開平 2 歌開去 2 唐開平 登開入 談開入 覃合入 3 塩開入ⅢA 先開平Ⅳ 蕭開平Ⅳ 蕭開平Ⅳ 蕭開上Ⅳ 青開上Ⅳ 青開去Ⅳ 青開入Ⅳ 4			端 匣 來 明 匣 匣 來 端 來 定 來 見 見	桓合平 桓合入 豪開平 唐開上 覃合入 談開入 蕭開平Ⅳ 蕭開平Ⅳ 蕭開上Ⅳ 青開入Ⅳ 青開入Ⅳ 添開平Ⅳ 添開入Ⅳ	
				佗一 歌開平	見 來	戈合上 蕭開上Ⅳ	
				託一 唐開入	來	唐開平	
他一 歌開平	端 匣 端 匣 匣 見 來 見 定 疑 來 見	治開去 灰合平 2 寒開平 寒開入 桓合入 2 戈合平 唐開上 唐開入 齊開上Ⅳ 蕭開平Ⅳ 青開入Ⅳ 添開上Ⅳ		定	徒一 模合上	溪 東開上 2 冬合平 咍開上 咍開去 泰開去 匣 灰合平 端 灰合去 泥 灰合去 明 魂合平 3 幫 魂合上 匣 寒開上 端 寒開去 3 見 桓合平 見 豪開平 4 匣 歌開平 8	
它一 歌開平	曉 端 匣	灰合上 寒開平 寒開入					

	溪	歌開上	2			匣	覃開平		
	來	唐開去	4			見	談開平		
	端	登開入				來	談開上		
	見	覃開上	2			見	談開上		
	見	談開平				來	談開去		
	見	談開上				匣	齊開平IV	4	
	來	談開去	4			見	齊開去IV		
	來	談開入				匣	齊開去IV		
	影	耕開入II				清	先開平IV	2	
	匣	齊開平IV	2			匣	先開平IV		
	見	齊開去IV	6			見	先開入IV	2	
	匣	齊開去IV				端	青開平IV		
	清	先開平IV	3			端	青開上IV	3	
	匣	先開平IV				來	青開入IV		
	見	先開去IV	2			見	添開平IV		
	見	先開入IV	3			見	添開入IV		
	端	蕭開平IV							
	來	蕭開上IV	2		泥	奴-	定	東開入	
	端	蕭開去IV	7			模合平	定	侯開去	
	端	青開上IV					來	蕭開上IV	
	來	青開入IV					匣	添開入IV	
	見	添開平IV							
大-	端	東開平				乃-	見	東開入	
泰開去	匣	模合平				哈開平	匣	灰合平	
	匣	灰合平					見	桓合平	
	泥	灰合去					端	桓合上	3
	見	垣合平					見	桓合去	2
	見	豪開平					曉	桓合去	2
	匣	歌開平					見	豪開平	3
	溪	歌開上					匣	侯開平	
	來	唐開去					見	侯開去	
	見	唐開入					見	談開平	
	匣	覃開平					見	魚開去III B	
							心	齊開去IV	

		見 端 見 來 端 見	齊開去IV 先開上IV 先開入IV 蕭開上IV 蕭開去IV 添開平IV	2
	能一 登開平	曉	灰合上	2
來	盧一 模合平	定 端 匣 見 端	哈開去 灰合去 覃合入 先開入IV 蕭開去IV	2 3
	來一 哈開平	端 溪 疑 泥 端 端 見 匣 定 溪 見 見 端 溪 見 匣 見 匣 日	東開平 東開上 泰合去 灰合去 魂合去 寒開上 寒開入 寒開入 桓合入 歌開上 戈合上 唐開入 登開平 侯開上 覃開上 覃開入 談開上 談開入 真開上III A	2

		澄 端 端 端	宵開平III A 蕭開平IV 青開平IV 青開入IV	2
	郎一 唐開平	定 泥 見 影 定 見	哈開去 灰合去 戈合上 清開入III A甲 青開去IV 青開入IV	2
	洛一 唐開入	曉 溪	灰合上 歌開上	2
清	倉一 唐開平	見	桓合入	
從	徂一 模合平	于	仙合上III A	
	才一 哈開平	見 匣 疑 見 端 端 匣 見 見 見 見 心 日 心 心	東開平 灰合平 魂合入 寒開入 寒開去 歌開平 歌開平 戈合平 唐開入 侯開上 覃開上 支開平III A 支開上III A 支開去III A 脂開平III A	2 3

	精	脂合去ⅢA			于	尤開平ⅢB 2	
	日	真開上ⅢA			見	先開去Ⅳ	
	心	諄合入ⅢA		心	蘇-	匣 齊開平Ⅳ	
	心	宵開平ⅢA			模合平	見 齊開去Ⅳ	
	心	宵開去ⅢA 3					
	于	麻開去ⅢA 2			素-	匣 戈合平	
	心	清開去ⅢA 4			模合平		
	心	侵開平ⅢA			索-	見 豪開平	
	于	鍾合去ⅢB			唐開入		
	日	魚開上ⅢB 2		見	工-	匣 模合去	
	來	魚開上ⅢB			東開平	定 泰開去	
	于	魚開上ⅢB				疑 泰合去 5	
	心	陽開入ⅢB				來 哈開平	
	日	陽開入ⅢB 2				定 哈開去 2	
	于	尤開平ⅢB 2				泥 灰合去 2	
	見	齊開去Ⅳ				幫 魂合上 3	
	疑	齊開去Ⅳ 2				端 魂合去	
	見	先開入Ⅳ				匣 寒開上 2	
						端 桓合平	
						曉 桓合去 5	
						溪 桓合入	
						來 豪開上 3	
					端 豪開去		
					匣 戈合平		
					來 唐開平 2		
					端 登開平		
					從 登開去		
					匣 侯開平		
					定 侯開去 3		
					匣 侯開去		
					匣 覃開平		
					匣 覃開平		
					影 佳合平Ⅱ		
	材-	疑	魂合入				
	哈開平	匣	歌開平				
		見	唐開入				
		于	仙合上ⅢA				
		心	宵開上ⅢA				
		心	宵開去ⅢA				
		心	清開去ⅢA 3				
		于	鍾合去ⅢB				
		日	魚開上ⅢB				
		于	尤開平ⅢB				
	在-	見	戈合平				
	哈開上	心	宵開平ⅢA 2				
		心	宵開去ⅢA				

	疑	刪合平 II			來	談開入
	匣	刪合去 II			匣	談開入
	匣	山開去 II			曉	肴開去 II
	匣	山開入 II			端	蕭開上 IV
	曉	肴開去 II				
	匣	麻開平 II		古 -	端	冬合去
	疑	麻開上 II		模合上	端	冬合入
	匣	麻開去 II	3		疑	泰合去
	匣	庚開上 II			來	唐開去
	溪	庚開入 II			見	桓合入
	匣	咸開平 II			匣	歌開去
	匣	咸開入 II	2		匣	覃開平
	匣	銜開平 II			匣	談開入
	澄	仙合平 IIIA			匣	山開去 II
	于	仙合去 IIIA			影	幽開去 IIIA甲
	匣	齊開平 IV	2		匣	齊開平 IV
	匣	齊開去 IV			疑	蕭開平 IV
	匣	先合平 IV	2			
	溪	先合上 IV	4	溪	空 - 平	來
	匣	先合去 IV			東開去	日
	來	蕭開平 IV				匣
	疑	蕭開平 IV				
	端	蕭開去 IV			苦 -	幫
	匣	青合平 IV			模合上	匣
	端	青開上 IV				來
	明	青開入 IV				見
	來	青開入 IV				匣
						影
						定
						見
功 -	定	哈開去				
東開平	匣	侯開平				
公 -	匣	模合上			口 -	來
東開平	曉	魂合入			侯開上	匣
						東開去
						模合平

見	泰開去	2		端	蕭開去IV	
定	咍開去		疑	吾一 模合平	見	齊開去IV
匣	灰合平	2				
端	灰合去		五 模合上	見 曉 匣 曉 見 匣 見 匣 端 匣 見 見 溪 匣 見 匣 見 見 溪 影 匣 見 匣 並 影 邪 見 見	模合去 2 灰合平 灰合平 2 灰合上 寒開入 2 寒開入 桓合平 2 桓合平 豪開去 2 歌開平 唐開平 唐開入 2 侯開上 2 覃開入 2 佳開去II 2 皆開上II 刪合去II 刪合入II 肴開上II 肴開上II 脂開平III A Z 齊開平IV 2 齊開去IV 齊開去IV 先開去IV 青開平IV 青開入IV 青開入IV 2	
泥	灰合去					
幫	魂合上					
見	魂合入	2				
匣	寒開上					
端	寒開去	2				
匣	寒開去					
來	豪開上					
匣	歌開去					
見	戈合上	2				
來	唐開上					
來	唐開去	2				
匣	侯開平					
定	侯開去					
見	覃開去					
來	談開去					
匣	談開入					
見	江開入II	2				
匣	皆開上II					
見	皆合上II					
見	肴開平II					
見	庚開平II					
匣	庚開平II					
見	耕開平II					
匣	銜開平II					
並	支開上III A 甲					
影	真開入III A 甲					
邪	仙開去III A					
見	齊開去IV					
見	先合入IV					
疑	蕭開平IV		曉	呼一	泥	灰合去

II 類

声母	上 字	下字	滂字	滂字	反切 延べ 数
	上字韻母	声母	韻母	類	
並	白- 庚開入	見	江開上		
初	差- 麻開平	見	蕭開平IV		
生	山- 山開平	見	江開入	2	
		見	刪開去		
		見	肴開平	3	
		見	麻合上		
		章	支開平III A		
		日	支開上III A	4	
		常	支開去III A	2	
		來	之開去III A		
		日	真開去III A		
		來	仙開入III A		
見	見	侵開去III A乙			
于	虞合上III B				
見	江- 江開平	溪 端	桓合入I 蕭開去IV		
	角- 江開入	常	侵開去III A		
匣	下- 麻開上	見 幫 見 見 見 曉 明	江開平 刪合上 刪開去 刪合去 肴開去 麻合去 庚開去		

見	庚開去		
見	咸開入		
見	銜開入		
端	冬合入I		
見	模合去I		
影	痕開平I	2	
明	魂合平I		
見	魂合平I	3	
影	魂合平I		
幫	魂合上I	3	
溪	魂合去I		
端	魂合去I	2	
影	寒開平I		
端	寒開去I	2	
見	桓合去I		
來	唐開平I	3	
見	唐開入I		
見	覃開去I		
見	談開平I		
于	仙合上III A		
見	齊合平IV		
溪	先合上IV		
見	先開入IV	2	
定	青開去IV		
定	青開入IV		
見	添開入IV		
衡- 庚開平	見	肴開平	

III A 甲 類

声母	上 字 上字韻母	下字 声母	婦字 韻母	婦字 類	反切 延べ 数
幫	必- 真開入	日	支開上		
		明	脂開去	4	
		日	脂開去		
		日	真開去		
		子	宵開平	6	
		子	清開入		
		匣	模合平 I	2	
見	齊開去 IV				
滂	匹- 真開入	來	脂開上		
		日	真開平	2	
		子	仙開平		
		章	宵開平	3	
		子	宵開平	5	
		明	宵開去	5	
		章	宵開去		
		見	江開入 II		
		並	脂開去 III A 乙		
並	避- 支開平	來	青開入 IV		
		于	支開平		
並	頻- 真開入	明	脂開去		
		日	脂開去		
		日	真開上	2	
		日	真開上		
		影	真開入		

		明 子 心 明 子	仙開去 宵開平 宵開上 宵開去 清開入	4
明	彌- 支開平	常	仙開上	2
群	葵- 脂合平	見	脂合去	
		子	諄合入	
影	— 真開入	從	仙合平	
		子	仙合上	
		章	仙開去	
		書	仙開去	
		子	宵開平	
		明	宵開去	
		精	清開上	
		見	幽開上	
		邪	侵開平	
		子	塩開上	
		常	塩開去	
		子	塩開去	2
		常	塩開入	
子	塩開入			
溪	東開上 I			
匣	模合平 I	4		
匣	模合上 I			
見	模合去 I	3		
見	泰開去 I			
匣	灰合平 I			
見	寒開入 I			

匣	寒開入 I	2
見	戈合平 I	
來	唐開去 I	
見	唐合入 I	
見	侯開平 I	4
匣	侯開平 I	
溪	侯開上 I	2
匣	侯開上 I	
見	侯開去 I	
匣	侯開去 I	
見	覃開上 I	
匣	覃開入 I	
見	皆開去 II	
匣	刪開入 II	2
見	肴開平 II	
見	麻合平 II	
疑	元合平 III B	
清	先開平 IV	2
匣	先合入 IV	
來	蕭開上 IV	
定	添開上 IV	

III A 乙 類

声母	上 字	下字 声母	歸字 韻母	歸字 類	反切 延べ 数			
	上字韻母							
幫	彼- 支開上	並 見 明 來 來 疑	支開平 支開平	歸字 類	2 2			
						真開平 庚開去 塩開平 支開去 IIIA甲2		
滂	丕- 脂開平	明 疑	支開上 支開上	歸字 類	2			
並	皮- 支開平	幫 幫 幫 幫 疑	支開上 脂開去 宵開上 蒸開入 支開去 IIIA甲3	歸字 類	3			
						疲- 支開平	幫	支開上
見	己- 之開上	來	蒸開入 III B	歸字 類				
	紀- 之開上	從	陽開平 III B	歸字 類				
溪	欺-			歸字 類				

群	之開平	從	仙合平
	起- 之開上	來	祭開去
群	其- 之開平	見	支開去
		邪	之開上
		影	真開入
		章	仙合平
		來	仙開入
		澄	宵開去
		見	庚開平
		見	庚開去
		見	侵開平 2
		見	侵開上
		來	塩開平
		章	塩開平
		于	塩開平 4
		見	魚開平 III B
		章	魚開去 III B
		于	虞合平 III B 3
		于	虞合上 III B
		見	欣開去 III B
		溪	欣開入 III B
		明	文合入 III B 3
影	元開上 III B 2		
于	元合上 III B		
疑	元合入 III B 2		
影	元開入 III B		
來	陽開平 III B		
來	陽開上 III B 2		
來	陽開入 III B		
來	蒸開入 III B		
疑	敝開入 III B		

疑	魚- 魚開平	影	真開入
曉	許- 魚開上	溪	脂開去
影	伊- 脂開平	于	塩開入
	乙- 真開入	來 見	祭開去 魚開去ⅢB

III A 類

声母	上 字	下字	端字	端字	反切
	上字韻母	声母	韻母	類	延數
知	知- 支開平	來	陽開平	III B	
澄	治- 之開平	來	陽開入	III B	
	持- 之開平	影	清開入	III A 甲2	
娘	尼- 脂開平	見	魚開去	III B	
精	子- 之開上	于	支開平	2	
		心	支開去		
		心	脂開平		
		書	脂合上		
		于	仙開平		
		從	仙合平		
		于	仙合上		
		于	仙合入		
		心	宵開上	4	
		心	宵開去	3	
		于	麻開去		
		澄	侵開去		
		日	侵開去		
		來	塩開平		
		見	東開平 I	3	
		溪	東開上 I		
明	東開入 I				
泥	灰合去 I				
幫	魂合上 I				
端	桓合平 I				

		匣	歌開平 I
		來	唐開上 I
		見	侯開平 I
		見	侵開平 III A Z
		來	東開入 III B 2
		于	東開入 III B 2
		于	鍾合平 III B 2
		于	鍾合上 III B
		于	鍾合去 III B 3
		來	魚開平 III B 3
		日	魚開平 III B
		于	魚開平 III B 6
		于	魚開去 III B 2
		于	虞合平 III B
		于	虞合去 III B
		于	尤開平 III B 3
		從	尤開去 III B
		匣	齊開平 IV 3
		來	齊開上 IV
		見	齊開去 IV
		疑	齊開去 IV 4
		端	先開平 IV
		清	先開平 IV
		心	先開平 IV
		定	添開入 IV
		曉	添開入 IV
清	七- 真開入	邪	諄合平
		端	豪開去 I
		于	鍾合平 III B 4
		于	魚開平 III B
		于	陽開平 III B

從	自- 脂開去	于	仙合上			見	江開入Ⅱ	2	
	字- 之開去	于 疑	尤開平ⅢB 元合上ⅢB			見	佳開去Ⅱ	3	
	疾- 真開入	精	之開平			見	皆開平Ⅱ		
心	思- 之開平	來	魚開上ⅢB			見	庚開平Ⅱ		
		精	先開去Ⅳ			溪	庚開入Ⅱ	2	
邪	辭- 之開平	精	諄合去			見	耕開平Ⅱ		
		心	諄合去			疑	之開平ⅢA乙		
	似- 之開上	于	仙合上			見	侵開平ⅢA乙		
		疑	元合上ⅢB			來	蒸開入ⅢB		
邪	似- 之開上	心	諄合去		章	之- 之開平	日	支開上	
		精	麻開平				來	支合上	
崇	士- 之開上	來	侵開平	2	常	支開去	2		
		見	江開入Ⅱ		常	支合去	2		
	仕- 之開上	疑	刪開平Ⅱ		來	脂開上	2		
		疑	麻開平Ⅱ		于	祭合去			
	仕- 之開上	見	耕開平Ⅱ		日	真開上			
		匣	咸開平Ⅱ	2	日	真開入	2		
	仕- 之開上	匣	銜開平Ⅱ		常	諄合平			
		日	真開平		于	諄合去			
	仕- 之開上	來	仙開平	2	于	仙合上			
		來	侵開平		于	仙開入			
	仕- 之開上	來	侵開平		船	仙合入			
		來	侵開平		書	宵開平			
	仕- 之開上	來	侵開平		于	清開入	2		
		來	侵開平		于	清開入	3		
	仕- 之開上	來	侵開平		來	侵開平	3		
		來	侵開平		常	塩開去			
	仕- 之開上	來	侵開平		常	塩開入	4		
		來	侵開平		于	鍾合平ⅢB	2		
	仕- 之開上	來	侵開平		于	鍾合上ⅢB			
		來	侵開平		于	鍾合入ⅢB			
	仕- 之開上	來	侵開平		來	陽開去ⅢB			
		來	侵開平		來	陽開去ⅢB			

		曉 日 常	陽開去ⅢB 陽開入ⅢB 尤開上ⅢB				
	止- 之開上	章 日	支開平 支合上				
	征- 清開平	來	祭開去				
	執- 侵開入	于	脂開平				
昌	尺- 清開入	于 于 于 常 章 于	脂開平 仙合入 鍾合上ⅢB 陽開平ⅢB 蒸開去ⅢB 蒸開去ⅢB				
	赤- 清開入	常	陽開去ⅢB				
船	神- 真開平	日	魚開上ⅢB				
常	時- 之開平	章	清開去				
	十- 侵開入	于	脂開平				
日	而- 之開平	于 于 于 于 于 章 溪	祭合去 仙合平 仙合上 仙合去 仙合入 麻開平 東開上 I				
	人-	章	脂合平				
				真開平	于 于 于 書 章 常 章 常 見 見 于 于 章 于 章 于 疑 常 于 章 于 見	祭合去 仙合平 仙合上 3 仙合入 宵開上 侵開上 塩開平 塩開入 侵開平ⅢA Z 2 侵開去ⅢA Z 2 鍾合平ⅢB 鍾合上ⅢB 2 魚開平ⅢB 魚開平ⅢB 魚開去ⅢB 2 魚合去ⅢB 2 元開上ⅢB 陽開平ⅢB 陽開平ⅢB 4 陽開上ⅢB 陽開上ⅢB 尤開上ⅢB 5	
羊	亦- 清開入	常 章 常	支開去 仙開去 清開入				

III B 類

声母	上 字	下字	歸字	歸字類	反切延べ数
	上字韻母				
幫	甫- 虞合上	明 疑 于	虞合平 元合平 陽合上		3
	斧- 虞合上	于	陽合上		
	府- 虞合上	幫	刪合上II		
	發- 元合入	明	文合入		
	方- 陽開平	明	東開入		2
于		鍾合上			
于		虞合平		2	
	明	文合去			
	于	元合上			
	于	陽合上			
	明	庚開去II			
滂	敷- 虞合平	幫	東開入		
		明	微合上		
		明	文合入		
		見	凡合去		3
	芳- 陽開平	並	東開去		
		幫	東開入		2
		明	東開入		
		來	東開入		
		幫	微合平		
		于	虞合上		

並	扶- 虞合平	幫	東開入		
		明	東開入		
		明	微合去		7
		于	文合平		5
		幫	文合上		3
		明	文合去		
		疑	元合平		3
		明	元合上		
		幫	陽開平		
	符- 虞合平	于	文合平		
	房- 陽開平	幫	東開入		
		幫	東開入		
		幫	尤開去		
	防- 陽開平	明	東開入		
明	未- 微開去	影	寒開平I		
	武- 虞合上	幫	文合上		
		疑	元合平		
		于	尤開去		
		知	江合入II		
並		支開平III A乙			
	見	真開平III A乙 2			
	來	仙開平III A			
	舞- 虞合上	幫	文合上		
	文- 文合平	幫	虞合上		
		幫	文合上		
	亡-	幫	支開上III A		

	陽開平	群	幽開平ⅢA			常	清開平ⅢA
來	良— 陽開平	心	宵開去ⅢA			影	幽開平ⅢA
						見	幽開上ⅢA 2
						常	塩開去ⅢA
	力— 蒸開入	影	魚開平 2	知	竹— 東開入	澄	東開去 2
		章	虞合平			精	鍾合入
		群	虞合平			來	魚開上 2
		于	虞合平			澄	魚開去
		章	虞合上			崇	魚開去
		知	虞合去			章	魚開去
		于	陽開平			幫	虞合上
		曉	陽開去 2			于	虞合上 2
		章	尤開平			群	虞合去
		從	尤開去			來	陽開去
		常	尤開去			來	陽開入
		見	尤開去 4			見	尤開去
		幫	灰合去Ⅰ			見	江開入Ⅱ
		見	耕開平Ⅱ			匣	江開入Ⅱ
		匣	耕開平Ⅱ			匣	山合入Ⅱ
		日	支開上ⅢA 3			見	肴開平Ⅱ 2
		知	支開去ⅢA			見	麻開去Ⅱ
		常	支合去ⅢA 2			溪	庚開入Ⅱ
		知	脂合平ⅢA 3			書	脂開平ⅢA
		澄	脂開平ⅢA			章	脂開上ⅢA
		章	脂合平ⅢA			日	脂開去ⅢA
		書	脂合上ⅢA 2			來	之開上ⅢA
		昌	諄合入ⅢA			日	祭合去ⅢA
		從	仙合平ⅢA			章	眞開平ⅢA
		章	仙合平ⅢA			日	眞開平ⅢA
		知	仙開上ⅢA			日	眞開去ⅢA
		常	仙開上ⅢA			影	眞開入ⅢA 2
		心	宵開去ⅢA			來	諄合入ⅢA
		章	清開平ⅢA				

		昌 來 于 來 來 章	諄合入ⅢA 仙開平ⅢA 仙開平ⅢA 仙合入ⅢA 侵開平ⅢA 塩開平ⅢA			影 來	清開入ⅢA乙 侵開平ⅢA	
	張一 陽開平	來 來 見 來 來	魚開上 2 尤開平 耕開入Ⅱ 諄合入ⅢA 仙合去ⅢA		澄	丈一 陽開上	于 來 于 見 見 見 見 見 見 見 見 見 日 日 來 日 章	鍾合入 魚開上 魚開上 尤開去 江開平Ⅱ 2 皆開去Ⅱ 麻開平Ⅱ 庚開平Ⅱ 麻開平Ⅱ 耕開平Ⅱ 耕開平Ⅱ 銜開入Ⅱ 2 支開上ⅢA 脂開去ⅢA 之開去ⅢA 真開去ⅢA 宵開平ⅢA
	陟一 蒸開入	影	耕開入Ⅱ					
徹	丑一 尤開上	來 見 影 來 來 見 見 曉 知 章 章 日 書 日 影 來 昌 影 章	東開入 魚開平 魚開平 陽開入 2 尤開平 2 江開平Ⅱ 皆開去Ⅱ 3 肴開去Ⅱ 支開平ⅢA 支開平ⅢA 祭開去ⅢA 真開平ⅢA 真開入ⅢA 真開入ⅢA 真開入ⅢA乙 諄合平ⅢA 2 諄合入ⅢA 麻開去ⅢA乙 清開去ⅢA			直一 蒸開入	來 來 章 見 來 來 來 見 來 見 曉 見 見	魚開平 魚開上 魚開去 2 虞合平 陽開去 陽開入 尤開平 4 尤開去 2 唐開入Ⅰ 江開入Ⅱ 肴開去Ⅱ 2 麻開平Ⅱ 咸開上Ⅱ

		常 常 常 知 章 昌 書 于 來 日 來 來 來 來 于 影 來	支合平ⅢA 支開上ⅢA 支合去ⅢA 2 脂合平ⅢA 脂合平ⅢA 脂合平ⅢA 脂開平ⅢA 脂開平ⅢA 脂合去ⅢA 4 脂開去ⅢA 2 之開去ⅢA 仙開平ⅢA 2 仙合去ⅢA 宵開平ⅢA 清開入ⅢA甲 侵開平ⅢA	精	將一 陽開平	書	脂合上ⅢA
				清	趨一 虞合平	于	清開入ⅢA
				心	相一 陽開平 平去	于 邪 見 邪 清 常 于 來	鍾合上 支合平ⅢA 支合平ⅢA甲 之開去ⅢA 仙開上ⅢA 仙開上ⅢA 仙合上ⅢA 仙開入ⅢA 3
				莊	莊一 陽開平	見 溪 影	肴開平Ⅱ 庚開入Ⅱ 麻開去ⅢA乙
娘	女一 魚開上	來 見 見 見 見 見 曉 見 見 章 溪 常 知 來 常	東開入 魚開平 尤開上 尤開去 江開入Ⅱ 肴開平Ⅱ 2 肴開去Ⅱ 3 肴開去Ⅱ 庚開平Ⅱ 耕開入Ⅱ 支開平ⅢA 支開上ⅢA乙 支合去ⅢA 仙開上ⅢA 侵開平ⅢA 塩開入ⅢA 3	壯一 陽開去	匣 見 溪	山開入Ⅱ 麻開平Ⅱ 庚開入Ⅱ	
				側一 蒸開入	影 見 于 來 見 見 見 見 見 群 莊 見	魚開平 魚開去 虞合平 尤開平 2 尤開上 尤開去 佳開去Ⅱ 皆開去Ⅱ 麻開平Ⅱ 2 之開平ⅢA 之開去ⅢA 真開平ⅢA	

初	初一 魚開平	來	陽開平	疑	支開平ⅢA乙2
		來	陽開去		
		曉	陽開去	見	支開去ⅢA乙
		見	江開平Ⅱ	來	脂合去ⅢA
		見	江開入Ⅱ 2	來	之開去ⅢA
		匣	山開上Ⅱ	來	祭開去ⅢA
		見	肴開去Ⅱ	見	真開平ⅢA乙
		匣	庚開平Ⅱ 4	來	仙合入ⅢA
		匣	咸開平Ⅱ	來	侵開平ⅢA
		于	支合平ⅢA		
		影	支合上ⅢA乙	數一 虞合上去	群
		來	侵開平ⅢA		虞合去
		見	侵開去ⅢA乙		
	楚一 魚開上	見	江開平Ⅱ	章一 陽開平	疑
		疑	支合平ⅢA乙		元合上
		疑	之開平ⅢA乙		支開去ⅢA
		日	真開平ⅢA		支合去ⅢA
		日	真開去ⅢA		仙開上ⅢA乙
生	所一 魚開上	來	魚開去	昌	充一 東開平
		見	魚開去		
		群	虞合去	章	祭開去ⅢA
		群	尤開平	日	真開平ⅢA
		見	唐開入Ⅰ	常	仙開上ⅢA
		匣	江開上Ⅱ		
		見	江開入Ⅱ	昌一 陽開平	于
		見	佳開去Ⅱ		來
		見	刪開平Ⅱ 2		章
		見	刪開去Ⅱ 2		于
		見	肴開平Ⅱ 4		于
		匣	銜開平Ⅱ		于
		見	銜開入Ⅱ		章
					常
					常
				船	食一 蒸開入
					章
					日
					魚開平
					魚開上 2

		章 于	蒸開去 2 清開入ⅢA			于 于 章 書 來 于 來 日	仙開平ⅢA 仙合上ⅢA 仙開去ⅢA 3 仙開去ⅢA 2 仙開入ⅢA 宵開平ⅢA 侵開平ⅢA 塩開上ⅢA
書	戌一 虞合去	日	之開去ⅢA		日	汝一 魚開上	見 魚開去
	式一 蒸開入	來 于 曉 于 常 見 日 于 日 來 章 于 日 于 日 于 日 常	東開入 虞合平 陽開去 2 陽開入 尤開去 尤開去 支開上ⅢA 4 脂開平ⅢA 脂開去ⅢA 之開去ⅢA 之開去ⅢA 2 之開去ⅢA 2 祭合去ⅢA 2 祭開去ⅢA 真開去ⅢA 清開入ⅢA 2 塩開上ⅢA 塩開入ⅢA			如一 魚開去	于 澄 于 于 常
常	常一 陽開平	章	蒸開入		羊	余一 魚開平	昌 清開入ⅢA
	上一 陽開上去	于 章 見 章 書 于 章	鍾合上 陽開入 尤開去 支開平ⅢA 2 脂開平ⅢA 脂開平ⅢA 仙開平ⅢA			羊一 陽開平 弋一 蒸開入	常 常 知 來 來 影 章 澄 曉 章 見 常 見 邪 日 心

		常	支開去ⅢA 3
		見	脂合上ⅢA甲
		船	脂開去ⅢA
		見	脂合去ⅢA甲
		日	脂開去ⅢA
		章	之開平ⅢA
		章	祭開去ⅢA 2
		日	真開平ⅢA
		邪	諄合平ⅢA
		昌	諄合平ⅢA
		見	諄合平ⅢA甲
		從	仙合平ⅢA 4
		來	仙合上ⅢA
		常	仙開上ⅢA
		章	仙開去ⅢA 2
		書	仙開去ⅢA
		章	宵開平ⅢA 2
		書	宵開上ⅢA
		書	麻開平ⅢA 2
		書	麻開去ⅢA
		精	清開上ⅢA
		昌	清開入ⅢA 2
		章	塩開平ⅢA
		日	塩開上ⅢA
		常	塩開去ⅢA 2
		常	塩開入ⅢA
見	居- 魚開平	群	鍾合去
		于	鍾合去
		精	鍾合入 3
		影	微開平 2
		溪	微開上
		章	魚開去

	精	虞合去	
	群	虞合去	
	疑	廢合去	2
	明	文合入	
	疑	元開平	
	影	元開上	2
	影	元開入	
	來	陽開平	
	于	陽開平	
	來	陽開上	
	來	陽開入	
	來	蒸開入	3
	群	尤開平	
	匣	江開入Ⅱ	
	匣	山開去Ⅱ	
	匣	山開入Ⅱ	2
	匣	咸開平Ⅱ	
	疑	支開平ⅢAZ4	
	溪	支開上ⅢAZ	
	疑	支開上ⅢAZ	
	日	支開上ⅢA	
	來	祭開去ⅢA	
	于	祭合去ⅢA 2	
	群	仙開入ⅢAZ	
	澄	宵開去ⅢA	
	幫	清開入ⅢAZ	
	群	幽開平ⅢA甲6	
	群	塩開上ⅢAZ	
俱-	虞合平	幫	清開入ⅢAZ
九-	尤開上	于	虞合上
		明	文合去 2

		明	文合入
	久- 尤開上	于	鍾合上
溪	去- 魚開去	來 群 章	諄合平ⅢA 仙合平ⅢAZ 宵開平ⅢA
	丘- 尤開平	于 見 明 來 見 見 見 疑 曉 于 來 來 來 章 澄	鍾合上 欣開上 文合入 3 陽開入 2 江開入Ⅱ 皆合去Ⅱ 耕開平Ⅱ 支開平ⅢAZ 支合上ⅢAZ 脂合去ⅢA 之開去ⅢA 祭開去ⅢA 仙開入ⅢA 宵開平ⅢA 宵開去ⅢA
群	巨- 魚合上	影 見 見 見 于 日 影 來	微開平 2 虞合平 欣開去 庚開平 脂開平ⅢA 真開去ⅢA 真開入ⅢA 仙開入ⅢA

鉅- 魚開上	影	微開平 4
	于	虞合平
	見	虞合去
	見	欣開去
具- 虞合去	明	文合入
	疑	元開平
	影	元開上
	疑	元合入 2
	並	陽開入
	于	脂開平ⅢA
	見	脂開去ⅢAZ
	見	之開上ⅢA
	日	真開去ⅢA
	章	宵開平ⅢA
	見	宵開平ⅢAZ 3
	見	侵開上ⅢAZ
疑	求- 尤開平	明 于 于 明
明	文合入 元合上 陽合上 真開上ⅢAZ 2	
疑	魚- 魚開平	來 影 溪 溪 來 群 來 見
	來	鍾合平
	影	微開平
	溪	欣開入
	溪	支開上ⅢAZ
	來	之開去ⅢA
	群	真開去ⅢAZ
來	仙開入ⅢA 3	
見	侵開上ⅢAZ	

	牛一 尤開平	影	微開平	2			影	真開入ⅢAZ	
		來	魚開上				章	宵開平ⅢA	
		崇	魚開去				見	宵開平ⅢAZ	
		見	欣開平	3			群	幽開平ⅢA甲2	
		影	欣開上				群	侵開入ⅢAZ	
		溪	欣開入						
		曉	陽開去	2	虛一 魚開上		于	元合平	
		曉	侯開上I				于	元合上	
		日	支開上ⅢA				群	幽開平ⅢA甲	
		見	脂開去ⅢAZ				香一 陽開平		于
		見	真開平ⅢAZ						于
		來	仙開入ⅢA	2			況一 陽合去		于
		來	侵開平ⅢA						見
		曉	許一 魚開上	于			鍾合上		朽一 尤開上
于	微合平				影	於一 魚開平	來	東開入	
		明	微合上						來
		見	微開去	3	曉	微合上			
		溪	微開去				見	微開去	
		于	虞合平	6			章	魚開去	4
		于	虞合上	3			見	魚開去	2
		影	廢合去				幫	虞合去	
		疑	元合平	4			幫	廢合去	
		于	元合平				曉	廢合去	
		于	元合上	5			見	欣開上	
		于	蒸開去				見	欣開去	2
		于	蒸開入				于	文合平	4
		群	尤開平				幫	文合上	3
		見	尤開去				明	文合上	
		疑	支開平ⅢAZ				明	文合去	3
		見	脂開去ⅢAZ2				疑	元合平	2
		群	之開平ⅢAZ4						
		來	之開去ⅢA	2					
		明	真開入ⅢAZ						

		並 來 疑 定 匣 匣 見 見 匣 匣 見 匣 匣 見 匣 見 疑 溪 疑 疑 群 溪 見 來 來 來 于 見 見 見 匣	陽開入 蒸開入 敝開入 模合去 I 唐開入 I 侯開平 I 佳開平 II 佳開去 II 山開入 II 2 庚開平 II 耕開平 II 耕合平 II 銜開入 II 支開平 IIIAZ 支合平 IIIAZ 支開上 IIIAZ.5 支開去 IIIA甲 支合去 IIIAZ 之開平 IIIAZ.2 之開上 IIIAZ 之開去 IIIAZ 祭開去 IIIA 諄合平 IIIA 仙開平 IIIA 仙合平 IIIA 宵開平 IIIAZ 侵開平 IIIAZ 侵開去 IIIAZ.2 添開入 IV			並 見 見 來 幫 明 群 見 群 群 知	山合入 II 支合上 IIIAZ 脂合上 IIIAZ 祭開去 IIIA 真開入 IIIAZ 真開入 IIIAZ 仙合平 IIIAZ.2 宵開平 IIIAZ 幽開平 IIIA甲.2 侵開入 IIIAZ 鹽開入 IIIA 2
				羽 - 虞合平	見 見	虞合平 宵開平 IIIAZ	
于	于 - 虞合平	幫 群 明 幫	微合上 虞合去 2 元合去 陽開去				

IV 類

声母	上 字	下字	婦字	婦字	反切 延べ 数
	上字韻母				
並	並- 青開上	見	庚開平 II		
端	丁- 青開平	匣	齊開平	4	
		來	齊開上	4	
		見	齊開去	3	
		匣	先開平		
		見	先開去		
		來	青開入	2	
		泥	添開去	3	
		見	模合去 I	3	
		匣	模合去 I		
		疑	泰合去 I		
		曉	灰合平 I	3	
		見	魂合入 I		
		曉	魂合入 I		
		匣	寒開平 I		
		影	寒開平 I		
		匣	寒開入 I	2	
曉	桓合去 I	3			
匣	桓合入 I	2			
見	談開平 I	2			
來	談開去 I				
匣	覃開平 I				
清	千- 先開平	見	先開去	2	
		定	青開入		
		見	模合去 I	3	
		從	治開平 I		

匣	灰合平 I	3
曉	灰合上 I	3
泥	灰合去 I	3
幫	魂合上 I	2
曉	魂合入 I	2
影	寒開平 I	
匣	寒開入 I	
見	桓合入 I	
匣	桓合入 I	
見	豪開平 I	
端	豪開去 I	3
匣	歌開平 I	2
見	唐開入 I	2
定	侯開去 I	3
匣	侯開去 I	2
見	覃開上 I	2
見	談開上 I	
于	支開平 IIIA	
心	支開去 IIIA	
心	脂開平 IIIA	
邪	諄合平 IIIA	4
從	仙合平 IIIA	2
來	仙合入 IIIA	
心	宵開上 IIIA	
心	宵開去 IIIA	
精	侵開去 IIIA	
來	東開入 IIIB	
邪	鍾合平 IIIB	
于	鍾合平 IIIB	5
于	鍾合入 IIIB	
于	魚開平 IIIB	4
于	魚開去 IIIB	
心	魚開去 IIIB	

		于	陽開平 ⅢB 2			澄	宵開去 ⅢA		
		日	陽開入 ⅢB			于	清合平 ⅢA		
心	先- 先開平	匣	齊開平			于	鍾合上 ⅢB		
		定	齊開上			影	魚開平 ⅢB		
		來	齊開上			于	魚開平 ⅢB 2		
		端	先開上			來	魚開上 ⅢB		
		見	先開去			疑	元合上 ⅢB		
		見	先開入			曉	陽開去 ⅢB		
		來	蕭開上			于	尤開上 ⅢB		
		來	青開入	2		從	尤開去 ⅢB		
		從	咍開平 I						
		定	咍開去 I			見	吉- 真開入	于	仙開平 ⅢA
		曉	魂合入 I						
		影	寒開平 I	2					
		來	豪開上 I						
		精	豪開上 I						
		端	豪開去 I	2					
		匣	歌開平 I						
		匣	戈合平 I						
		端	登開入 I						
		匣	覃開入 I	2					
		日	支合上 ⅢA	2					
		邪	支合平 ⅢA						
		邪	脂合去 ⅢA						
		邪	之開上 ⅢA						
		邪	之開去 ⅢA	2					
		來	諄合入 ⅢA						
		于	諄合入 ⅢA						
		清	仙開上 ⅢA	2					
		從	仙開上 ⅢA	2					
		精	仙開去 ⅢA						
		章	仙開去 ⅢA						
來	仙開入 ⅢA	6							

〔後記〕 本稿は元、1962年12月東京大学大学院人文科学研究科に提出した修士論文に手を加えたものである。当時論文執筆に当り御指導いただいた服部四郎先生、三谷根徹先生に、又、漢書の研究をお勧め下さり有益な助言を賜わった河野六郎博士、修士論文を通読され注意すべき点など指摘して下さいました藤堂明保博士に厚く御礼申し上げます。